

ISSN 1344 7920

名古屋大学医学部保健学科

# 教 育 ・ 研 究 年 報

第12卷



*Annual Report  
of  
Nagoya University School of Health Sciences*

2009

名古屋大学医学部保健学科

教育・研究年報

第十二卷（二〇〇九）

## 目 次

1 . 各専攻の教育・研究活動.....	1
2 . 公開講座.....	25
3 . 業績.....	29
看護学専攻.....	31
放射線技術科学専攻.....	63
検査技術科学専攻.....	83
理学療法学専攻.....	105
作業療法学専攻.....	121



1 . 各専攻の教育・研究活動  
(平成20年度)



## 看護学専攻

看護学専攻における教育の目標は、学部教育では看護専門職を総合的に理解し、教育・指導できる幅広い教養と知識を身につけた人材の育成である。看護学教育内容においては看護教育学や看護研究法を充実し、将来を担う教育・研究者の育成を目指している。大学院医学系研究科博士前期課程では、専門看護師認定制度も視野にいれた高度専門職業人の育成、国際的視野で教育・研究できる実践活動の蓄積と修了後はさらに専門職として社会に寄与できる人材の育成を目標としている。さらに、博士後期課程では、教育・研究・実践活動で得た新規性を備えた創造的かつ先駆的な研究者の育成と様々な看護課題について多角的な問題解決法を看護モデルに基づいた視点と立場で解明できることを目指している。平成16年度より、国立大学法人における中部地区唯一の看護学博士前期・後期課程教育システムを備えた大学として、その責務を果たすために、看護学専攻における重点課題の明確化、看護学研究課題の共有化・独自性の確保、他専攻、他分野との合同研究推進（トータルヘルスプランナー育成や高度専門医療の実践家養成）に取り組んでいる。

### 1. 運営

#### 1) 教員の構成

専攻は4講座（基礎看護学、臨床看護学、発達看護学、地域・在宅看護学）で構成、運営している。教員数は基礎看護学講座10名、臨床看護学講座8名、発達看護学講座9名、地域・在宅看護学講座8名の35名である。教育内容や教育方法の向上及び研究の活性化は教員の責務である。教育・研究の円滑な推進のために看護学専攻会議（全教員）は定例で月1回開催し、教育に関連する諸課題や学生指導に関する諸問題、予算措置などについて検討している。また、効果的な実習を行うために附属病院看護部との専門委員会を年数回、また、地域看護学領域、在宅看護学領域、助産学領域においても各実習施設との委員会を適宜開催、運営を行っている。

### 2. 教育活動

#### 1) 学生について

平成20年3月、保健学科第7期生の卒業式が行われ、看護学専攻卒業生90名が社会人として巣立っていき、同年4月、新入生79名と編入生10名が入学した。更に、医学系研究科前期課程18名（基礎看護学分野7名、臨床看護学分野5名、発達看護学分野6名）が入学し、平成21年3月には19名の修了生を送り出した。同時に平成20年度後期課程8名（健康障害看護学分野3名、健康発達看護学分野5名）入学した。

#### 2) ガイダンスについて

平成20年4月5～11日に、学部新入生（1年、編入生）および新2～4年生に対してガイダンスを行った。ガイダンスの内容は学習関係、学生生活および諸手続、図書・情報関係などである。同様に、大学院前期・後期新入生に対しては入学式後に学修関係、図書・情報関係についてガイダンスを行い、その後教員や在学生を交えて意見交換会を行った。

#### 3) 新入生合宿研修

新入生に対する合宿研修は4月18日（土）～19日（日）の期間に愛知県青年の家（岡崎市）において実施し、新1年生、編入3年生、上級生、合宿担当教員等が参加した。合宿を契機に教員や上級生と交流をもち、看護学に関する事柄や学生生活での内容について意見交換や質疑応答を行った。

#### 4) 感染対策

看護学専攻として専攻内感染対策委員を中心に学生ガイダンスをはじめとして、感染予防における検査やワクチン接種等の指導・実践を行っている。また、実習における感染予防対策についても、看護部や病院の感染対策窓口と有機的連携のもと、感染予防に努めている。

#### 5) 博士前期課程（平成20年4月～平成21年3月まで）

平成20年度は17名が修士論文を提出し、学位を取得した。以下に学生名と論文題目を記す。

がん看護 CNS 教育においては平成19年3月に看護系大学協議会からコース認可され、臨床看護学分野の教員が中

心になり教育を推進している。

氏名	修士論文テーマ
安藤 典子	ICU 看護師のスピリチュアリティに関する認識
井戸 陽子	乳幼児を持つ母親の QOL に関連する要因の検討
今井 美香	排泄体位によるいきみの変化が、直腸内圧および心循環系に及ぼす影響
内田 絵里子	呼吸音聴取能力に関する要因の検討
岡田 武	血液透析患者の食事・水分自己管理行動と家族からの手段的・情緒的支援との関係およびその背景因子に関する検討
岡村 雪子	就労女性の子宮頸がん検診受診行動に関連する要因
志賀 朋美	CCU における患者重症度と医療関連感染に関する研究
社本 生衣	洗髪における「すすぎ」の技術習得と学習曲線からみた演習方法の研究
鈴木 洋子	高血圧有病者の自覚と血圧管理状況及び生活習慣との関連性
西尾 亜理砂	病棟看護師におけるがん患者の治療方法の意思決定に対する支援の実態と影響要因の検討
平川 憲子	模擬 ICU 環境において、夜間看護介入が健康成人女性の睡眠に及ぼす影響
平村 梓	運輸業従事者の身体的・精神的ストレス反応
守田 恵理子	看護退院サマリーの送付の実態と他施設への情報提供に対する看護師の意識
八木 友美	産褥期の乳頭痛に対するアロエ湿布の効果
山下 恵	背部温電法が褥婦の乳房うっ積および気分にあぼす効果
籠 玲子	患者に対する新人看護師の共感的態度についての現状と課題
渡邊 祥子	訪問看護ステーションにおける在宅緩和ケア実践の現状と訪問看護師の学習ニーズ

#### 6) 博士後期課程 (平成20年4月～平成21年3月まで)

博士後期課程完成に向けて、院生が研究に取り組んでいる。平成21年3月には3期生2名が修了している。

氏名	博士論文テーマ
星野 純子	女性介護者の高血圧に関する疫学的検討
哀澤 尚代	配食ボランティアの活動満足感に影響を与える関連要因

#### 3. 研究活動

各教員が現在取り組んでいる研究課題の一部を紹介する。

##### 《基礎看護学》

- 太田 勝正 教授：患者情報の共有における情報プライバシーの問題  
緊急被ばく医療における看護のあり方に関する研究  
地理情報システムを利用した地域保健データベースの構築に関する研究
- 河津 芳子 教授：教育評価に関する研究
- 玉腰 浩司 教授：肥満をはじめとする生活習慣病の疫学的病態解明、胎内環境と成人期生活習慣病との関連
- 山内 豊明 教授：看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究  
医療事故防止対策に関する学際的探索研究  
訪問看護実践に必要とされるアセスメント技能に関する研究
- 堀 容子 准教授：笑いが心身に及ぼす影響に関する研究、在宅における家族介護者の心身の健康に関する研究、スーパーマーケットにおけるヘルスプロモーション活動に関する研究
- 河野 由理 准教授：精神障害者の退院支援や地域ケアに関する研究  
精神看護の技術および評価に関する研究
- 藤井 徹也 准教授：看護技術教育における専門基礎知識に関する研究  
看護技術の検証に関する研究



- 新實夕香理 助 教：患者情報プライバシーに関する研究  
 岡本明子 助 教：途上国のへき地の看護師に対するフィジカルアセスメント教育の検討に関する調査研究  
 永谷幸子 助 教：体位変換時の判断と実施方法に関する研究

#### 《臨床看護学》

- 安藤詳子 教授：緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅ホスピスに関連する研究、がんの集学的治療及び高度先端医療における看護に関連する研究  
 池松裕子 教授：心タンポナーデ患者の Dysphoria  
 水溪雅子 教授：看護師の看護活動における感情に関する研究  
 総合失調症の2人の息子を持つ家族システム面接の試みと課題  
 横内光子 准教授：救急看護、周手術期看護、災害看護に関するケアの方法論、医療システムシミュレーション  
 国府浩子 准教授：がん患者の意思決定支援に関する研究  
 乳がん看護領域に関する研究  
 會田信子 准教授：老年者のリハビリテーションと介護予防  
 模擬患者役市民の負担尺度開発と教育  
 竹井留美 助 教：ストーマ保有者とその家族に関する研究  
 永井邦芳 助 教：精神障がい者家族に関する研究  
 黄田美香 助 教：がん患者とその家族の支援に関する研究

#### 《発達看護学》

- 浅野みどり 教授：アレルギーをもつ子どもと家族の QOL 向上（食物アレルギー，AD）  
 予防的育児支援に関する研究（広汎性発達障害の子どもを養育する家族への育児ライフスキルの促進，多胎児をもつ家族への支援）  
 鈴木和代 教授：ライフサイクルにおける性教育に関する研究  
 奈良間美保 教授：家族を主体とした医療者との協働による小児在宅ケアプランの実践とガイドライン作成  
 立岡弓子 准教授：女性のドメスティックバイオレンスに関する研究  
 田辺圭子 准教授：二世代間の母子健康手帳による妊娠出産経過の関連  
 IUGR 児の発育発達のフォローアップ研究  
 高橋由紀 助 教：出生直後の気道吸引が健康な正期産児に及ぼす影響に関する研究  
 清水三紀子 助 教：妊産婦のエンパワーメントを刺激する出産準備教育に関する研究  
 村上泰子 助 教：小児がんの子ども・家族と看護師の関係性の研究  
 山口香苗 助 教：断乳が母子に及ぼす影響  
 赤尾さく美 助 教：途上国のへき地の看護師に対するフィジカルアセスメント教育の検討に関する調査研究

#### 《地域・在宅看護学》

- 梶田悦子 教授：地域高齢者の大腿骨頸部骨折予防のための地域看護モデルの構築  
 エビデンスに基づいた骨粗鬆症予防対策の有効性評価  
 榊原久孝 教授：生活習慣病予防支援プログラムの開発  
 肥満と産業ストレスとに関する研究  
 生活習慣病予防の保健活動に関する研究  
 平井真理 教授：在宅医療におけるインターネット活用に関する研究  
 - インターネット対応心電計による伝送心電図等の応用 -  
 前川厚子 教授：ストーマ保有者の生きる意欲に及ぼす WOC 看護の国際比較研究  
 小児炎症性腸疾患の発症に関与する因子の疫学的検討

吉田久美子 准教授 : 子ども虐待予防ネットワーク構築の検討  
桜井志保美 助 教 : 在宅における主介護者の睡眠と循環器機能に関する研究  
志澤美保助 教 : 子どもの生活習慣病と保健対策に関する研究  
伊藤尚子 助 教 : 地域高齢者の健康管理に関する看護社会学的研究

#### 4. 対外的な活動

##### 1) 附属病院看護部との関係

教員による臨床指導者研修講師を派遣し、有機的な連携をはかっている。

##### ユニフィケーション委員会

看護の質の向上推進のため、看護部との円滑な協力関係をはかることを目的に、主任および基礎看護、臨床看護、発達看護、地域在宅看護各講座長、看護部からは看護部長、教育担当副看護部長、実習調整師長等が中心となり、隔月1回程度の委員会をもっている。

主な内容は病院における効果的な実習体制や方法、学生実習に対する感染対策、就職に関連すること等である。

##### 実習委員会

学部における実習全般に関する事項を取り扱い、学内外の調整を行っている。また、感染対策委員と協力して、学生の感染対策を強化するとともに、「事故発生時の対応経路」「事故、ヒヤリ・ハット報告書」の検討などを進め、事故対策の整備をすすめた。最近では個人情報保護に関連して検討を加えている。

##### 2) 日本看護系大学協議会開催の研修会への出席

日本看護系協議会総会、看護教育ワークショップに看護教員が持ち回りで参加した。

#### 5. 今後に向けての課題

1) 名古屋大学法人の一員として保健学科看護学専攻の果たす役割と自覚を新たにする。

2) 看護学博士前期・後期課程一貫教育の下に、新たな時代にふさわしい人材の育成と名古屋大学ブランドにおける新規性、独自性に富む研究成果を生み出す。

3) そのためには、看護学専攻全体が志を一つとして教育研究体制の大幅な改善を図っていきたい。

(副主任：梶田 悦子)

## 放射線技術科学専攻

### はじめに

放射線技術科学専攻、並びに、大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野における教育と研究の目標は、医療現場で使われている放射線を利用した種々の医療機器の原理や特性をよく理解し、その能力を最大限引き出すとともに、診断画像からの確な情報を取り出したり、治療のため人体に的確に放射線を照射したり、また、医療放射線が人体に及ぼすかも知れない影響についての幅広い知識と応用力、さらには専門知識ばかりでなく豊かな人間性を合わせ持つ人材の育成、また、これらの人々を指導していく人材の育成である。一方、研究活動を通しては、将来、医療技術者、研究者、教育者として、日進月歩する医療分野の進歩を理解し、それに適応できるばかりでなく、自ら医療の進歩を創生することが出来る科学者の育成を教育・研究の目標としている。

### 1. 運営

放射線技術科学専攻（大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野を含む）は、基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの講座より構成されている。教育・研究の目標を達成するためには講座単位ではなく専攻全体としての運営が必要であり、教育に関するさまざまな問題、教育研究費の予算配分等の運営は、毎月1回の専攻会議、並びに専攻教授会の合議に基づいて行われている。

### 2. 教育活動

#### 学部教育：

平成20年度の新入学生は、新1年生が40名、3年次編入者は5名であった。2年生は41名、3年生は47名（編入生5名を含む）、4年生は49名（編入生5名を含む）で、4年生は12名の教員のもと、それぞれの研究室で卒業研究を行った。また、3年生以下の学生も、12名の教員が指導教員となり、勉学、生活の両面で指導を行っている。

診療放射線技師国家試験は卒業生42名（中途卒業2名を含む）が受験し、そのうち41名が合格した。編入生を含む卒業生47名の進路は、医療機関に33名、企業に3名、大学院進学が11名であった。

学部教育は、専任教員による授業の他に、非常勤講師を招いた特別講義、臨床実習、臨床現場の見学（名古屋大学医学部附属病院をはじめ、学生の出身地や学生の希望就職病院など）、放射線管理に関連して原子力発電所の見学（中部電力浜岡原子力発電所）など、将来、医療あるいは生産現場で役に立つと思われる教育活動が行われている。

#### 大学院教育：

平成14年に大学院医学系研究科・医療技術学専攻が創設され、平成20年度は、博士課程前期課程1年11名、2年11名（休学1名を含む）、博士課程後期課程1年6名、2年3名、3年8名の計39名であった。前期課程の最終年度にあたる学生8名が修士論文を提出し、修士の学位を取得した。以下、学生名と修士論文題目を記す。

赤木 信裕	閉域 IP 網を活用した地域画像配信システム構築に関する研究
大島 隆嗣	乳癌の術中電子線照射に使用する減弱プレートの改良と基礎的検討
木田 浩介	放射線治療における植込型心臓ペースメーカーの電磁干渉に関する研究
柴田 洋希	蛍光ガラス線量計を用いた陽子線線量測定の基礎的検討
中川 拓哉	モンテカルロシミュレーションによる人体ファントム内臓器線量測定時の線量計配置に関する基礎的検討
藤田 尚利	医用画像における非線形性を考慮した物理的画像特性の計測に関する研究
宮本 真衣	ホールボディカウンタの校正に用いる密封シート線源の作製法の開発
渡辺 洋平	画像誘導手術におけるナビゲーションシステムの精度に関する研究

後期課程の最終学年にあたる8名のうち2名および19年度の満期退学者1名は博士論文を提出し、博士の学位を取

得した。以下、学生名と博士論文題目を記す。

小口 宏 強度変調放射線治療のための三次元配列線減弱係数比を用いた黄銅モジュレータの線量評価  
加藤 貴弘 限局性前立腺癌の外部放射線治療におけるリスク臓器線量を低減させる技術に関する研究  
広藤 喜章 人体ファントム内線量計測に基づいた各種消化管 X 線検査における被検者の被ばく線量評価

### 3. 研究活動

当専攻の教員は幅広い専門分野を研究領域としているため、個々の教員が独自の研究活動を行っている。一部にグループによる研究活動、専攻以外との共同の研究活動も行っている。以下には各教員の研究領域を示し、外部と協力して実施している研究活動の一部を示す。

青山 隆彦 教授：独自開発の小型・電子式線量計を多数組み込んだ人体等価ファントム被ばく線量計測システムを使用した、各種の医学診断 X 線による成人および小児の被ばく線量の測定・評価。

池田 充 教授：モニタ診断精度に対するモニタの解像度の影響に関する研究。胸部単純 X 線画像における結節の検出能に対する「解剖学的雑音」の影響に関する研究。コンピュータ診断支援システムに対する画像撮影系の特性と雑音が与える影響に関する研究。ROC 解析の手法に関する研究。

石博 信人 教授：PET 施設における職業被ばくの実態とその低減法。内部被ばく線量評価手法の開発：(a) 体外計測装置の校正方法、(b) 種々の経路により摂取された放射性核種の体内挙動の計算シミュレーション。

伊藤 茂樹 教授：マルチスライス CT を用いた画像診断技法の開発とその臨床応用。腹部（特に肝胆膵領域）の画像診断。胸部（特に肺癌）の画像診断。心血管系の画像診断。vascular interventional radiology。

今井 國治 准教授：数理統計学及び情報理論を用いた CAD のための画質評価法の構築。高電圧下における誘電・絶縁材料の放電劣化・破壊現象に関する研究。

緒方 良至 助教（学部内講師）：水素同位体分離に関する研究。環境放射能の測定 - 特に環境レベルのトリチウムの測定に関する研究。放射線取扱施設の安全管理に関する研究。PET サイクロトロン周辺の放射化に関する研究。PET サイクロトロン室内外の中性子束の測定に関する研究。

小幡 康範 教授：原体照射法。生物学的線量評価法・治療領域線量測定法

川浦 稚代 助教（学部内講師）：人体ファントム計測システムを用いた医療被ばくの測定・評価。放射線が生体へ及ぼす影響に関する研究。線虫の動態解析システムの開発。線虫を用いた放射線の生物影響評価に関する研究。

加藤 克彦 教授：脈絡膜悪性黒色腫および皮膚原発悪性黒色腫における<sup>18</sup>F-dopa PET/CT、<sup>123</sup>I-IMP SPECT、<sup>18</sup>F-FDG PET/CT の診断能の比較に関する研究。<sup>18</sup>F-FDG PET/CT における膵癌、腫瘤形成性膵炎の鑑別に関する研究。<sup>123</sup>I-IMP を使用した SPECT 検査における新しい低侵襲性脳血流定量測定法の確立に関する研究。<sup>11</sup>C-choline PET/CT による動脈のアテローム硬化病変の予測診断に関する研究。

小寺 吉衛 教授：医用画像の評価法の開発。検出器、表示系を含む医用画像の解析・評価。画質の向上と被曝線量の低減を目的としたデジタル画像処理。3次元画像表示システムの開発。

小森 雅孝 准教授：放射線治療における線量分布評価に関する研究。粒子線治療における照射野形成法に関する研究。

小山 修司 講師：診断領域 X 線の計測法の研究。医学における知能情報学の応用。X 線 CT の患者・術者の被ばく線量計測。診断領域 X 線のエネルギー計測。マンモグラフィにおける線量計測。

島本 佳寿広 教授：乳腺・甲状腺の画像診断における、特に超音波による悪性腫瘍の診断に関する研究。フィルムレス読影の診断能に与える因子を明らかにし、診断能に悪影響を与えないモニタの基準、読影

環境、端末の操作性等を確立する研究。画像診断をすすめる際の診断論理過程を明らかにするとともに、診断医の判断の再現性と一致度を解析することにより、その診断論理の妥当性を検証する研究。

下郷 智弘 特任助教：放射線治療領域の放射線計測法に関する研究。治療領域 X 線スペクトルの数値解析算出法に関する研究。

津坂 昌利 准教授：術中 MRI を用いた脳外科手術ナビゲーションシステムの精度に関する研究。医療用液晶モニタの画質評価。診断用 X 線スペクトル測定とその応用に関する研究。IT 活用による医療技術者教育システムの開発。高速画像ネットワークの技術開発と応用。暗号化通信技術の遠隔医療への応用。

成田 憲彦 助教：骨密度測定に関する研究。放射線被ばく線量評価に関する研究。

福山 篤司 助教：脳血管疾患の画像診断において、MRI を用いた血管内血流速度の研究。CR 装置を応用したデジタル化技術の開発とその有用性に関する研究。

本間 光彦 助教（学部内講師）：放射線治療領域における放射線計測法に関する研究。CR の応用利用法。人体解剖実習前の X 線撮影に関する研究。放射線カウンセリング。

#### 4. 対外的な、または社会に関わりある活動

- 1) 社団法人日本原子力産業協会中部原子力懇談会の放射線専門部会委員として、大垣工業高等学校（平成20年10月15日）および静岡県立科学技術高等学校（平成20年10月30日）において、放射線について理解を深めるための講義と実験による「出張授業」を行った（青山）。
- 2) 国際放射線防護委員会（ICRP）第2専門委員会委員および内部被ばく線量評価に関するタスクグループ「INDOS」委員として、サンクトペテルブルグでの ICRP 第2専門委員会会議、ウィーンでの INDOS2008年会議に出席する等、第2専門委員会の刊行物の原稿執筆に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 3) 経済産業省原子力安全・保安院総合資源エネルギー調査会臨時委員として、経済産業大臣より当調査会への「今後の原子力安全確保及び電力の保安のあり方」に関する諮問についての審議に参画した（石樽）。
- 4) 文部科学省放射線審議会委員、および基本部会委員として、関係府省における放射線障害の防止に関する技術的基準の斉一化に関する審議に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 5) 内閣府原子力安全委員会専門委員として、原子力の安全確保に関する専門の事項の審議に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 6) 放射線医学総合研究所物理学的線量評価ネットワーク会議委員として、原子力災害・放射線被ばく事故時における国としての迅速な線量評価体制の整備および技術上の指針に関する審議に内部被ばく線量評価の専門家の立場から参画した（石樽）。
- 7) 日本保健物理学会専門研究会「ICRP 新消化管モデル専門研究会」主査として、当専門研究会の活動を主宰した（石樽）。
- 8) 国際原子力機関（IAEA）における教育訓練を通して医学物理士の強化を図るプロジェクトの「診断医学物理士のための能力開発に関する運営会議」に専門家として参画し、平成20年7月7日から7月11日まで韓国、ウォンジュ市で開催された会議に出席した（小寺）。
- 9) 社団法人日本放射線技術学会会長として春（横浜市）と秋（軽井沢）の学術大会ならびに3回の市民公開シンポジウム「暮らしの中での放射線、医療放射線を考える - 知って、学んで、理解しよう！」（平成20年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費補助事業）：東京都、乳がん検診関係：軽井沢、大腸がん関係：京都市などを企画、開催した（小寺）。
- 10) 有限責任中間法人日本ラジオロジー協会（JRC）の副理事長として、横浜市で開催された JRC2008の企画・運営に関わった（小寺）。
- 11) 社団法人日本生体医工学学会の実施する第2種 ME 技術実力検定試験・試験委員長として、試験問題の作成、試験を実施した（津坂）。



- 12) 有限責任中間法人日本医療情報学会の実施する医療情報技師検定試験において、試験委員として問題作成と試験の運用を行った(津坂)。
- 13) 平成20年4月～12月、平成20年度放射線取扱主任者年次大会実行委員として、大会の企画・運営にあたった(緒方)。
- 14) 平成20年5月より放射線取扱主任者中部支部委員として、支部活動の企画・運営にあたった(緒方)。
- 15) 平成20年5月より応用物理学会プログラム編集委員として春期および秋季に行われる応用物理学会の放射線分科会のプログラム編集に従事した(緒方)。
- 16) 平成20年5月9日、日本アイソトープ協会主催の第20回教育訓練講習会講師として非密封RIの安全取扱、放射線の安全管理と測定技術に関する講義を担当した(緒方)。
- 17) 平成20年12月26日、静岡県立榛原高校にて高校生のための放射線実習セミナーで放射線に関する講義および実験の指導を行った(緒方)。

(主任：石樽信人)

## 検査技術科学専攻・病態解析分野

本専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追及する教育・研究者を育成することを目的としている。病態解析分野は、環境病因解析学、病態化学解析学、病因病態解析学、生体生理解析学、形態情報解析学、分子病態解析学の6領域からなり、先端的の研究、学際的な病態解析、技術開発を進めるとともに、先端医学につながる病態解析学研究を遂行できる能力の育成、指導的立場に立つのに必要な高度な専門知識・技術を有する人材を育成することを目的としている。

### 1. 学部構成・運営

本専攻は2つの大講座（基礎検査学講座と病因・病態検査学講座）によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営している。専攻の運営は全教員が参加する専攻会議の決定に従って行われた。専攻会議は第1水曜日の12時と第2および第4水曜日の17時から開催された。

### 2. 教育

- 1) 4月に第11期の入学生40名（推薦入学生16名、前期日程入学生24名、後期日程入学生0名、私費留学生0名）を迎えた。
- 2) 4月の新入生ガイダンスには専攻主任、学生生活委員、教育委員、教員と1年生全員が参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンス、教員の紹介、指導教員の紹介、学生の自己紹介などが行われた。
- 3) 4月の第9期編入生（入学生5名）ガイダンスには専攻主任、学生生活委員、教育委員が授業と学生生活、教員紹介、研究室紹介、研究指導教員などについて説明した。
- 4) 4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教員と共に新入生歓迎会を大幸厚生会館にて開催した。
- 5) 8月27日に第7回大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野（博士前期課程）の入学試験を実施し、6名の合格者を決定した。また8月28日には第5回の大学院同分野（博士後期課程）の入学試験を実施し、1名の合格者を決定した。
- 6) 8月に第10回の3年次編入試験を行い、4名の合格者を決定した。
- 7) 4月に第7期生の臨地実習を充実させることを目的に医学部附属病院検査部の教員および技師との合同会議（臨床検査専門委員会）を開催した。
- 8) 平成21年3月には本専攻の第8期生の卒業生として、編入生を含め47名を社会に輩出した。そのうち4名が大学院博士前期課程へ進学し、就職希望の42名は主に国公立大学病院、公私立病院等の検査部に就職し、就職率は100%であった。1名は他大学への進学準備中。
- 9) 第8期生の第55回臨床検査技師国家試験（平成21年2月25日）の準備として全教員による教育指導と4回の模擬試験を実施した。8期生の第55回臨床検査技師国家試験合格率は90.2%であった。

### 3. 研究

本専攻では4月5日に14名の博士前期課程第7期生を迎えた。第5期博士後期課程に4名を迎えた。9月16日に1名のD3院生による第2回大学院医療技術学専攻病態解析学分野博士後期課程研究発表会（予備審査会）を行った。平成21年1月13日に第1回の病態解析学分野博士前期課程研究発表会（いわゆる修論発表会）を開催し、前期課程・第5期生15名が発表した。学部関係では11月23日に第8期生による卒業研究発表が開催された。以下に各講座における卒業研究発表内容を示す。

#### 【免疫・微生物系（病因病態解析学）】

担当教員：長瀬文彦、川村久美子、松島充代子

1. LPSによって誘導される誘導型NO合成酵素とヘムオキシゲナーゼ発現のレスヴェラトロールとナイアシンに

よる調節

2. 多剤耐性緑膿菌 (multi-drug-resistant *Pseudomonas aeruginosa*, MDRP) 迅速検出法の構築
3. 尿路病原性大腸菌 (uropathogenic *Escherichia coli*, UPEC) における病原因子保有率とキノロン耐性との関係

【病理系 (形態情報解析学)】

担当教員: 横井豊治、川部 勤、橋本克訓

1. 中間径フィラメントの発現をもとにした肺癌細胞の組織型鑑別法の検討
2. 肺癌患者の気道粘膜に対するフドステインの作用の病理組織学的解析
3. 肺腺癌および背景病変の病理組織学的、免疫組織化学的解析 - 喫煙の影響に焦点をあてて -

【生理系 (生体生理解析学)】

担当教員: 古池保雄、永田浩三、野田明子

1. アルドステロン誘発高血圧・心臓リモデリングに対する食塩濃度の影響の検討
2. グルココルチコイド過剰によって誘発される高血圧と心血管傷害のメカニズムの検討
3. Dahl 食塩感受性ラットの高血圧性心不全におけるロサルタンとヒドロクロロチアジドの併用療法の降圧及び心筋保護効果の検討
4. 健常人における睡眠時の自律神経活動解析
5. ComplexSAS の病態生理に関する検討
6. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における血管機能評価

【血液系 (分子病態解析学)】

担当教員: 村手隆、小嶋哲人、高木明

1. NSMase 1 のプロモーター領域のクローニングと発現調節機序の解析
2. BCR/ABL 過剰発現株作成とアポトーシス、細胞周期調節タンパク群の変動について
3. フレンド細胞の分化と SPHK 1 の発現量の変化
4. TGW 細胞における GDNF 誘導性の GAP - 43発現調節機序の解析
5. 先天性第 VII 因子欠損症の分子病態解析
6. エストロゲンによるプロテイン S 発現抑制の分子機構解析
7. ワルファリン維持量と CYP 2C9、VKROC 1 遺伝子多型
8. 先天性アンチトロンビン欠損症の遺伝子解析
9. プロテイン S 欠乏症の遺伝子解析

【分析系 (病態化学解析学・環境病因解析学)】

担当教員: 高木健三、涌澤伸哉、高木健次、近藤高明、上山純

1. 鉄の酸化ストレスに対する茶葉カテキン EGCG の抑制作用
2. フラボノイドの構造によるアレルギー作用の検討
3. ピレスロイド系殺虫剤代謝産物の体内動態
4. 殺虫剤散布作業における尿中殺虫剤代謝産物レベルと睡眠に関するアンケート結果との関連性 (予備的検討)
5. 若年健常人の strain-gauge plethysmograph による前腕血流変化率に歩行運動負荷が与える影響
6. 健常成人での血清 carotenoid 値の分布と野菜ジュース飲料効果

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

A) 国際交流

小嶋哲人教授は、外国人研究者招へい事業にて Harvard 大、Dr.Chauhan のセミナーを11月10日に名古屋大学医学部臨床研究棟 7F にて企画した。

川部勤教授は、5月に米国胸部疾患学会 (American Lung Association/American Thoracic Society, Toronto, Canada) で共同演者として2演題を発表した。

永田浩三准教授は5月に第1回国際アルドステロンフォーラム (東京) で演題を発表した。11月に米国心臓協年会



次学術集会（AHA2008、Louisiana）で演題を発表した。

上山純助教は9月に北京での第七回国際職業・環境衛生バイオロジカルモニタリングシンポジウムで発表した。またKim Heon教授（国立忠北大学；韓国）および上島通浩准教授（名古屋大学医学部衛生学教室）との共同研究で韓国の農業従事者に対する労働衛生的な指導および研究に貢献し、韓国側共同研究グループの研究者に測定法の技術指導を行った。

#### B) 大学間交流 国立大学臨床検査技師教育協議会 -

平成20年度は鳥取大学医学部保健学科を会長校として、6月6日(金)に第45回国立大学臨床検査技師教育協議会が開催された（出席者：村手教授）。主な議題：1) 役員の選出、2) 平成20年度予算案、3) 国家試験の早期合格発表の要望、4) 超音波検査士の受験資格の変更、5) 臨床検査技師養成校における教員の基準定員などを審議した。

承合事項として、1) 実習経費の学生負担、2) 大学院修了後の進路と専攻内での対策、取り組み、3) 3年次編入の状況、4) 国家試験問題基準検討委員会の報告を受けて試験問題全体の傾向などを話し合った。

川部勤教授は、大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻フォトニック情報工学

領域西澤典彦准教授ならびにHOYA(株)と医工産の共同でOCTの呼吸器へ応用するための研究を前年に引き続き行った。

#### C) 地域との連携

古池保雄教授は、野田助教とともに平成11年から睡眠外来を継続し、学会認定技師の資格取得を可能にすべく、本学の検査技術科学の教育研究の向上への努力を継続している。また、東海地区の検査技師技術向上を目指して脳波検討会（中部脳波検討会）を定期的開催し、さらに、「名古屋臨床脳波検討会」、「東海パーキンソン病研究会」、「自律神経懇話会」などの研究会継続に努力している。

高木健三教授は、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会の代表世話人として活動した。愛知・岐阜在宅酸素療法研究会では、会長として「NSTからスタートした慢性呼吸不全の栄養管理」を主なテーマとして取り上げた。また、日本アレルギー協会理事（東海支部長）として、東海4県のアレルギー週間行事を統括するとともに、愛知県のアレルギー週間行事を実施責任者として担当するなど地域社会への啓発活動を推進している。

村手 隆教授は、愛知県特定疾患認定審査会議委員として申請書類の審査に関わった。12月10日に愛知県医師会難病相談室主催の講演会で再生不良性貧血/骨髄異形成症候群の最近の治療について講演した。

小嶋哲人教授は、医師、臨床検査技師を対象とするバイエル・血友病セミナーの世話人として活動し、佐賀血栓凝固懇話会セミナーの講師として講演した。また、愛知県特定疾患研究協議会では血液凝固異常症調査研究を行った。

さらに、日本臨床血液学会の中部地区幹事として活動した。

川部勤教授は、文部科学省先端融合領域イノベーション創出拠点「分析・診断医工学による予防早期医療の創成」に研究員として活動した。アレルギー診断用ペプチドアレイを作成するチームの医学部側代表として医療のニーズと基礎免疫学的な考え方を工業製品に結び付けるための模索を行った。また名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノシステム工学専攻の式田光宏准教授と局所での肺機能検査測定を目標とし微小気流計の開発を前年に引き続き共同研究した。3月に第4回名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナーのプログラム委員として、喘息・アレルギー領域のセミナーを企画実行した。また名古屋市ならびに愛知県の公害健康被害認定審査会委員として申請書類の審査に関わった。さらに、東海分子呼吸器研究会、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会などの世話人として活動した。

高木健次准教授は、名古屋市を中心とした愛知県下にある殺虫剤、殺鼠剤、シロアリ防除剤などの薬剤を取り扱う作業集団の薬剤曝露による健康影響の調査研究を平成20年8月および平成21年2月に行った。本研究は中小企業の産業保健のあり方及び労働衛生管理において有用な成果を提供した。三重県地区を中心とした医療従事者（理学療法士・作業療法士）を対象として「臨床検査の基礎知識」と題して、平成21年2月に、教育講演をし、医療職に従事されている方々の卒後教育の一旦を担った。

近藤高明准教授は、犬山市健康プラン推進委員会の学識者委員として犬山市の健康づくりに貢献した、また愛知県職員の健康管理アドバイザーとして2回の講演を行った他、岩倉市や尾張旭市での市民向けの講演会、愛知県老人クラブ連合会での講演会に講師として招かれた。愛知県内の防虫作業従事者を対象とした撒布作業に関連する特殊検診に2月と8月に調査員として参加した。北海道八雲町での生活習慣病リスク調査のフィールド調査に参加し、結果を

学術的にまとめるとともに地域住民の健康増進に還元した。学内では、大幸医療センターで自由診療外来を担当し、ピロリ菌検査希望者に対する除菌治療を行い、除菌薬代謝酵素に関連する遺伝子多型の判定結果を用いた除菌効果の向上に努めた。ライフトピア関係では大幸キャンパスでの多施設共同がんコホート研究に参加し、協力いただいた市民への結果の還元に努めた。さらに専攻のホームページ管理者として、広報担当の上山とともに情報発信に努めた。

永田浩三准教授は2月に第111回健康運動指導士養成講習会（愛知会場）において実習を担当した。3月に第73回日本循環器学会総会・学術集会のプレナリーセッションにおいて講演を行った。

川村久美子准教授は、愛知県下の総合病院7施設との共同研究で院内感染起因菌の薬剤耐性遺伝子の保有調査と消毒薬耐性遺伝子について調査研究した。その成果は各施設の院内感染防止対策に有効に利用された。

野田明子助教は、日本睡眠学会第33回定期学術集会における"PSG 標準化に向けて"のシンポジストとして発表した。また、睡眠と心臓血管研究会、中部睡眠循環呼吸研究会、東海 PSG 研究会の世話人として活動した。7月に甚目寺町の生涯学習講座「婦人会委託講座」で“快適睡眠を考える”の講演を行い、地域市民の健康増進に努めた。9月に宇都宮市で開催された睡眠医療戦略研究会および11月に高槻市で開催された高槻マルチプルリスクファクター研究会で講演を行った。

上山純助教は愛知県内防虫作業従事者の特殊検診に2月と8月に参加し、高感度に尿中殺虫剤代謝物を測定した。その情報は作業環境の改善指導に役立てられた。北海道八雲町での生活習慣病リスク調査のフィールド調査に参加し、結果を学術的にまとめるとともに地域住民の健康増進に還元した。また、八雲町の広報誌である「広報 やくも2008年10月号」にて化学物質曝露に関する最近のトピック等の情報提供を行った。

（主任：村手 隆）

## 理学療法学専攻

### 1) 前文

本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつある健康医科学領域への道を拓き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法学を実証的学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指すものである。

本専攻は、東海地区では唯一の博士課程を有する理学療法士の教育・研究機関である。博士課程の専攻はリハビリテーション療法学専攻であり前期と後期課程からなる。前期課程は理学療法学分野と作業療法学分野に分かれるが、後期課程は2分野には分かれずリハビリテーション療法学専攻のみである。前期、後期課程とも大学院生が活発な研究活動を展開している。

### 2) 運営

本専攻は基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座から構成されているが、専攻運営は、講座の壁をはずし全教員（総数10名）による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議・決定にしたいが進められている。さらに、学部運営では関係の深い作業療法学専攻との両専攻会議（毎月第3水曜日）を行い、また大学院の運営に関しては関係教員によるリハビリテーション療法学教員会議（毎月第1水曜日）を行っている。

(1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能を関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。

(2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りかちな生体反応の認識を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法の適用との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療法・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

### 3) 教育活動

学部生としては、4月に保健学科理学療法学専攻第11期生として20名の学部学生を迎え入れた。選抜方法による内訳は、推薦入学7名、前期日程試験入学13名、性別では男子学生11名、女子学生9名であった。また、昨年度から国立大学としては初めての試みである2年次編入に合格した学生3名が加わった。大学院には、前期課程に10名（一般選抜8名）、後期課程に2名が入学した。こうして、理学療法学専攻としての学生数は、1年生20名、2年生23名、3年生24名、4年生23名、大学院博士前期課程リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野の1年生10名、2年生10名、後期課程のリハビリテーション療法学専攻理学療法学関係は1年生2名（一般選抜1名）、2年生1名（一般選抜1名）、3年生5名（一般選別2名、社会人特別選抜3名）となった。

新学期には4月5日(土)に入学式、編入2年生に対する編入ガイダンス、大学院生ガイダンス、7日(月)に新入生、編入3年生および在校生（各学年）ガイダンスをおこなった。また、作業療法学専攻と共同で、全教員との顔合わせと新入生に対して学生生活のガイダンスを行った。在校生ガイダンスでは、共通科目については理学療法学専攻・作業療法学専攻合同で、専門科目については理学療法学専攻単独で、各学年別に1時間ずつを使い、本年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。これらにより、本専攻に所属する学部学生、大学院生のすべてに

対して、カリキュラムの説明、学生生活のルールの説明・再確認がおこなわれた。説明は主任、教育委員、学生生活委員、授業担当教員が担当した。

4月19日(土)には、専攻内での新入生歓迎会を行った。新2年生が幹事となり、土曜日半日を使い、在校生、新入生、教員が全員参加し、全員の自己紹介、懇親会(大幸厚生会館)を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。

4月中旬から臨床実習、が始まる4年生に対し、各教員が臨床実習に必要な項目についての学内実習をおこなった。4月21日(月)から実際の医療機関での臨床実習が始まった。この実習は各種疾患を観察し、臨床実習指導者のもとに基本的評価および理学療法プログラムの作成を目的としている。学生は多くの不安を抱きながら、実習先に向かったが、5週ごとの反省会で、種々の問題点などが指摘されながらも、全員無事この実習を終えることが出来た。3年前から開始した臨床実習前の学内実習もあって、各学生とも実りの多い臨床実習を経験できたものと思われた。臨床実習は7月3日(木)に終了した。4年生は7月4日(金)に臨床実習反省会とともに、地域理学療法実習のガイダンスをおこなった。地域理学療法実習は訪問理学療法の実際を見学できる貴重な実習である。

医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖されたご遺体が提供された。学生にとっては人体構造と機能の理解を深めるとともに、ご遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

8月26日(火)には平成21年度2年次編入学、27日(水)には大学院博士前期課程、28日(木)には同、後期課程の入試を実施し、2年次編入に3名、リハビリテーション療法学専攻博士前期課程理学療法学分野に10名(一般選抜7名、社会人特別選抜3名)、博士後期課程理学療法学関係に3名(一般選抜1名、社会人特別選抜2名)が合格した。

10月7日(火)には博士後期課程の論文発表会(予備審査会)が本館第5講義室で行われ、理学療法関係からは5名の学生が発表した。

一昨年度より継続している大学院FDは全体1回、各専攻ごとに1回開催された。大学院全体のFDである第5回は9月10日(水)東館大講義室で、保健学科教員62名、学生31名の参加者を得て、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科長・井上智子先生が「国際的リーダーとしての研究者の取り組み」をテーマに講演された。第6回FDは3つの専攻ごとに行われ、リハビリテーション療法学専攻では、前期課程の研究成果に関する大学院卒業生および、指導教員から回収したアンケート結果をまとめ、今後の大学院教育に関する活発な討論がなされた。これには対象教員21名全員が参加した。

後期授業では4年生の卒業研究の後半部分が再開され、11月26日(水)に本館第1講義室において最終発表会が開催された。23題の発表があり、教員ならびに在学生との活発な討論が交わされた。1、2年生にとっては将来の自身の研究の参考になったと思われる。また、3年生の卒業研究中間発表会は平成20年3月6日(金)に本館第2講義室で行われた。合計24題の発表があり、1、2年生からの質問も多く、活発な発表会となった。中間発表会終了後に、3年生に対し大学院ガイダンスと就職ガイダンスがおこなわれた。

大学院では、平成20年2月12日(木)に作業療法学専攻を含むリハビリテーション療法学専攻理学療法分野(博士前期課程)2期生の修士論文ならびに博士後期課程博士論文発表会が行われ、前期課程10題、後期課程5題、合計15題の発表があった。また、3月14日(土)には前期課程1年生(8期生)の中間報告会が行われ、理学療法分野から10題の発表があった。博士前期課程修了者は10名で、就職5名、博士後期課程進学者4名、大学院研究生1名であった。就職者の内1名は本邦の理学療法関係では初めての厚生労働省への入職であった。博士後期課程修了者のうち、1名が学位を取得した。

3月1日(日)には理学療法士国家試験が施行され、本専攻学部平成20年度卒業生23名が受験し22名が合格した。3月25日(水)には保健学科第7期生の卒業式が執り行われた。本専攻は編入学生を含め23名の新卒業者を世に送り出した。そのうち16名が病院に就職し、3名が大学院へ進学、その他4名であった。

#### 4) 研究活動

本専攻では、宮津真寿美助教が平成20年3月末で退職した。また、4月から半年間、石田和人講師が、米国アーカンソー大学医学部に出張し、研究活動に専念した。

前述の通り本専攻は、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的に併せ持つように努力し、研究を進めている。



各教員の研究テーマは、以下の通りである。

河村守雄 教授：実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係、骨形成因子の特性と臨床応用、脊髄損傷モデルマウスの病態、慢性腰痛症状保有者の再発予防対策

鈴木重行 教授：培養筋細胞を用いた機械的刺激の影響、筋ストレッチングと疼痛抑制法の臨床的効果、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法、糖尿病と関節拘縮モデルラットを用いた理学療法効果の検証

山田純生 教授：循環器疾患の運動介入・疾病管理、骨格筋パワーを用いた運動処方、運動習慣化を促進する指導方策、電気刺激療法と運動耐容能、運動中の換気様式に関する研究

鳥橋茂子 教授：マウス ES 細胞を用いた骨格筋形成機構の研究、間葉系幹細胞の研究、消化管の発生研究

内山 靖 教授：姿勢・運動の制御と運動学習に関する研究、動作の観察と分析、症候障害学、理学療法学教育に関する実践的研究

河上 敬介 准教授：機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム、筋・筋膜連結の形態と臨床的意義

石田和人 講師：脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化と運動療法の効果に関する研究、ニューロン障害の最初期像の解析とその予後に関する研究、糖尿病モデルラットを用いた理学療法効果の検証

加藤智香子 助教：高齢者の身体活動量・筋力・バランス・QOL など、転倒予防、ヒッププロテクター

太田 進 助教：バイオメカニクス的手法を用いたスポーツ傷害・変形性関節症の予防及び高齢者の運動機能向上に関する研究

林 久 恵 助教：末梢循環障害に対する理学療法、重症虚血肢に対する物理療法、過熱水蒸気を用いた物理療法機器の開発、糖尿病足病変の予防に関する研究

現在上記の研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築し、それぞれの研究室を整備・充実させているところである。

#### 5) 対外的な、または社会と関わりのある活動

臨床実習指導者連絡協議会（スーパーバイザー会議）は7月30日(水)に行った。内容は、臨床実習全般（理学療法イントロダクション、同コミュニケーション、a、b、）についての報告と反省、臨床実習前の学内実習である技能実習試験の実際とその学習効果、さらに臨床実習、について本学の理念や目的と実習施設における実習目的との差などについて協議した。更に、後期より始まる臨床実習 a、理学療法コミュニケーション、同イントロダクションについて協議した。

専攻代表が出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会（平成20年7月13日(日)、会場：中部大学技術医療専門学校）、全国理学療法士・作業療法士学校養成施設連絡協議会（6月7日(土)、横浜リハビリテーション専門学校）、第11回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会（9月25日(木)-26日(金)、担当：北海道大学）である。

毎年夏に催される名古屋大学・大学説明会（オープンキャンパス）は8月8日(金)に行われた。昨年度より保健学科は大幸キャンパスを主会場とし、保健学科全体の説明がなされた後、参加した高校生に本専攻の特徴などについて鈴木教授が説明した。その後、本専攻主催の説明会には162名が参加し、教員と学生が施設を案内し、質問に答えた。質問も多く、高校生の興味の深さが伺われた。

鳥橋教授、河上准教授が中心となり、保健学科解剖実習室を使用して、東海地区の理学作業療法学を含む14施設から延べ489名の学生が解剖標本見学の受託実習を行なった。

10月10日(水)には防災訓練が行われ、保健学科全体で、教職員、学生が多数参加し、救助袋による避難訓練、初期消火訓練として消火器の取扱説明、消化栓による放水などがおこなわれた。

また、8月2日(日)にはウィル愛知（愛知県女性総合センター）において、大学院教育改革支援プログラム「専攻

横断型の包括的保健医療職の育成」の一環として、本専攻鈴木教授が主体となり、THP 市民公開講座が「尿失禁を知ってはつつ人生」をテーマに行われた。参加者は一般市民を中心に約300名で、非常に盛況であった。

全国 PT・OT 学校連絡協議会のもとに、東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）の理学療法・作業療法に関する各養成校の教員及び関連する教育に関わる専門職の資質向上を目的とした東海地区教育部会主催の研修会が平成20年7月13日(日)日本医療福祉専門学校珪山ホールで「高齢者維持期リハビリテーションの方策」をテーマに開催された。

以上とは別に、本専攻は名大理学療法研究会の事務局を置き、短期大学部理学療法学科と保健学科理学療法学専攻の卒業生の研究活動を支援している。当年度は、平成20年8月9日(土)第1部「膝、肩関節のリハビリテーション」第2部「症例報告」、平成21年1月25日(日)「小児リハビリテーションの七不思議！？～治療室でのセラピーから子育て・学生指導に役立つヒント～」をテーマとして研究会が開催され、毎回50名ほどが参加した。

その他、大幸医療センターでの相談外来は、河村教授の腰痛相談室、加藤助教の転倒予防教室（転ばん大幸教室、名古屋市との共同主催）、鈴木教授の女性尿失禁相談外来が引き続き行われた。

以上

(主任：鈴木重行)

## 作業療法学専攻

作業療法学専攻は、作業療法に関する学問的体系の確立と高度専門職業人の育成、および教育者、研究者の育成を目的として設置された。本専攻は、作業療法士専門職教員と医師教員から構成され、それぞれの専門を活かした教育・研究活動を通して作業療法学の発展に努めている。

### 1. 運営

平成20年度の本専攻は、寶珠山教授（主任）ほか3名の教授、准教授2名、講師1名、助教3名より構成され、保健学科の他の専攻と同様に大講座制である。専攻の運営については、全教員が参加する作業療法学専攻会議（毎週水曜日開催）によって教育および研究活動の具体的な方針を決定している。名古屋大学の学年歴および保健学科の諸行事に合わせて専攻の年間行事、事業についての計画とその計画進行状況の確認をはじめとして、予算に関する事案、学生の教育に関する事案（成績関連、単位認定、進級関連、卒後進路など）、学生生活に関する事案、臨床実習に関する事案（実習計画、臨床実習施設との連携など）、その他保健学科全体の抱える諸問題について専攻としての方針や考え方を討議決定している。

また、専攻会議の他に人事など教授専任事項については月1回の専攻教授会議にて審議を行っている。この会議は構成メンバー全員の意見の一致を原則として運営されている。

リハビリテーション領域で密接な連携関係にある理学療法学専攻と共に毎月両専攻会議を設け、作業療法学・理学療法学の全教員が参加し、両専攻共通の課題に取り組み、連携・協力を図っている。

大学院運営の機構としては、作業療法分野は理学療法分野とともにリハビリテーション療法学専攻を構成し、両分野の大学院担当教員によって月1回の大学院・リハビリテーション療法学専攻会議を開いている。

### 2. 教育活動

平成20年4月に保健学科作業療法学専攻第10期生として21名の学部学生が入学した。選抜方法による内訳は、推薦入学8名、前期日程試験入学13名、性別では男子学生2名、女子学生19名であった。また平成19年度より募集を開始した2年次編入生は2名（男女各1名）の入学者を受け入れ、2年次からのカリキュラムを受けている。

平成20年度の大学院博士課程前期課程作業療法学分野には7名（一般選抜2名、社会人入学5名）、博士課程後期課程作業療法学分野に2名が入学した。また、ブラジルからの国費留学生在が研究生として引き続き在籍した。

#### 平成20年度の教育活動

- 1) 平成20年4月5日の入学式以後、6日～：新入生・編入生および学年別ガイダンス。新入生および編入生のみならず在校生各学年別に毎年実施している年度当初ガイダンスにて当該年度における教育内容、学生生活に関する説明と確認を行った。大学における学修と生活の基本的内容については作業療法学専攻および理学療法学専攻と合同で行い、個別の内容について専攻別にガイダンスを行っている。この時期4年生については臨床実習が既に始まっているために、ガイダンスは前年度末までに行われている（下記）。
- 2) 平成20年4月12日～13日：犬山ガイダンス。通称犬山ガイダンスは、一泊二日の日程で行われる学部と大学院の新入生・在校生合同（学部4年生を除く）の年度当初ガイダンスである。本年度も昨年と同じく愛知県犬山市犬山国際ユースホテルで開催した。新入の学部学生および大学院生が円滑に快適で充実した学生生活を送るという目的で開催され、本専攻の教員や2年生3年生先輩からの公私的な示唆や助言などを通して行われた。同時に学年相互の交流・親睦を目的として種々のイベントを開催した。
- 3) 平成20年4月1日から8月上旬：4年生臨床実習実施。学部4年生を対象とし最終年次前期期間中、学内外の臨床施設（名古屋大学医学部附属病院を含め50施設）にて臨床実習を行った。実習期間を3期に分けて身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野および老年期障害分野の医療機関・施設で臨床実習を行なった。総計18週間の実習を行った。4年生の学外臨床実習に際しては、各施設に担当教員を配置し、実習学生の学修状況や体調、実習の進捗状況を把握するように努めた。学生の実習進捗状況はメールおよび毎週の専攻会議で報告され、問題

の生じた事例については、全教員で検討し、指導教員、実習担当教授、施設担当教員、実習担当教員が対応に努めた。

- 4) 平成20年6月25日：博士課程後期課程大学院生研究課題中間発表会。リハビリテーション療法学専攻作業療法学分野2年生に在籍する大学院生(2名)が研究テーマについての進捗状況を報告した。研究発表会では今後の研究方針について教員からアドバイスやなされた。
- 5) 平成20年8月8日：オープンキャンパス開催。大幸キャンパスにおいて保健学科全体および作業療法学専攻の大学説明会を実施した。説明会参加者に対して、講義室や実習室等を案内し、本学における本専攻の教育理念、方針、具体的教育内容について説明した。
- 6) 平成20年8月26日：学部2年次編入生入学試験。
- 7) 平成20年8月27日：大学院博士課程前期課程入学試験。
- 8) 平成20年8月28日：大学院博士課程後期課程入学試験。
- 9) 平成20年9月19日：卒業研究中間発表会(学部4年生)。卒業研究の途中経過の報告と教員による指導の機会として行われた。
- 10) 平成20年9月中旬：作業療法入門実習(学部1年生)。本専攻に入学してから最初の臨床実習である。作業療法における主要な分野(身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野、老年期障害分野)の関連の機関・施設6ヶ所の見学実習を行なった。
- 11) 平成20年9月下旬から12月下旬：作業療法基礎学実習(学部2年生)。作業療法の対象となる施設や対象者を理解する目的で2年後期に実施している。学生は、身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野の医療機関・施設それぞれ1ヶ所、計3ヶ所で3日間の実習を体験した。
- 12) 愛知県豊田西高校から大学説明会の以来があり教授を派遣した。
- 13) 平成20年12月5日：卒業研究発表会(学部4年生)。卒業研究の最終発表会であり、続いて論文の作成が行われた。
- 14) 平成21年2月10日：学部の推薦入学試験。
- 15) 平成21年2月12日：大学院博士課程前期課程および後期課程学位論文発表会。本専攻からは博士課程前期課程8名、後期課程1名が発表を行なった。
- 15) 平成21年2月12日：臨床実習指導者会議。4年次に行われる臨床実習での実習協力施設の実習指導者を招いて、臨床実習指導者会議を開催した。議題は主として平成20年度臨床実習報告、21年度実習計画であり、学外の実習指導者と本専攻教員の意見交換等を行なった。
- 16) 平成21年2月25 - 26日：一般選抜前期日程入学試験。
- 17) 平成21年3月1日：理学療法士作業療法士国家試験実施。本専攻から卒業予定者16名が合格した。
- 18) 平成21年3月14日：博士課程前期課程中間発表会。前期課程1年在籍の7名が現在の研究状況を報告した。
- 19) 平成21年3月25日：学部および大学院卒業式。本年度は学部学生18名(男性3名、女性15名)が卒業した。大学院リハビリテーション療法学専攻作業療法学分野では修士号9名、博士号1名の取得があった。

### 3. 研究活動

本専攻では作業療法各分野および基礎的研究各分野における研究が大学院教育とともに行われている。研究は教員による個人研究が中心であるが、企業や他施設との共同研究も行われている。

#### (1) 共同研究

- 1) 厚生労働省難治性疾患克服事業(スモン患者のQOLに関する研究：寶珠山・美和・清水・伊藤・上村・後藤)
- 2) 青年期の精神病理学的研究(学生相談総合センターと共同研究)(鈴木)
- 3) 重度心身障害者のポジショニングと情動を表す表情についての研究(京都：花ノ木医療福祉センター・辛島)
- 4) 中高年者の高次脳機能と筋・運動機能及び生活習慣との関連に関する研究(環境学研究科、医学系研究科・整形外科)(伊藤)
- 5) 総合人間学の構築(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、寶珠山)



- 6) 大学共同利用施設磁気計測装置(生理学研究所)における感覚運動連関に関する研究(寶珠山)
- 7) うたせ湯の効能に関する研究(美和)
- 8) 精神科作業療法システムに関する研究(総合心療センターひなが)(美和)
- 9) 温泉の効能に関する研究(小山田記念温泉病院)(美和)

(2) 個人研究

- 1) 統合失調症の精神病理学的研究(鈴木)
- 2) 神経症の精神分析学的研究(鈴木)
- 3) 発達障害の青年期に関する研究(鈴木)
- 4) 介護老人保健施設等における作業療法介入の効果に関する研究(田川)
- 5) 認知症高齢者の問題処理能力等の定量的評価法の開発(田川)
- 6) 自閉症スペクトラム児の情動的コミュニケーションを基盤とした作業療法の効果(辛島)
- 7) 最重度知的障害者へのサービスの質を「幸福の表情」で測定する方法の開発(辛島)
- 8) 知的障害者のノーマライゼーションの具現化と作業療法(辛島)
- 9) 運動と体性感覚誘発脳反応に関する研究(寶珠山)
- 10) 意識と感覚情報処理能力に関する研究(寶珠山)
- 11) 作業療法と自律神経機能に関する研究(美和)
- 12) 精神障害に対する作業療法介入効果に関する研究(美和)
- 13) 作業療法と自律神経機能に与える影響に関する研究(美和)
- 14) 認知機能と情動の関係に関する研究(清水)
- 15) 自己関連情報に関する心理的処理特性に関する研究(清水)
- 16) 生活習慣と健康との関連に関する研究(伊藤)
- 17) 前頭葉機能検査に関する研究(伊藤)
- 18) 自己効力感と高次脳機能の関連に関する研究(伊藤)
- 19) 統合失調症に対する作業療法介入効果に関する研究(向)
- 20) 作業療法学専攻学生の職業レディネスに関する研究(向)
- 21) 精神障害者の就労支援に関する研究(星野)
- 22) 精神障害領域における作業療法士の専門性と役割に関する研究(星野)
- 23) うつ病女性の家庭復帰における作業療法介入に関する研究(星野)
- 24) 介護保険下の通所サービス利用者の特徴に関する研究(後藤)
- 25) 人の脳における言語情報処理能力に関する研究(上村)

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

- 1) 平成20年10月~12月 愛知県作業療法士会新人教育プログラム(美和、上村)
- 2) 平成20年10月~12月 第1~7回愛知県作業療法士会現職者共通研修(美和、上村)名古屋市介護保険認定審査会(伊藤・清水)

(平成20年度主任: 寶珠山)



## 2 . 公 開 講 座

(平成20年度)



## 平成20年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座

### テーマ：サクセスフル・エイジング 健康で豊かに年を重ねるために

平成20年度の市民公開講座は、10月4日土曜日に、「サクセスフル・エイジング 健康で豊かに年を重ねるために」をテーマとして開催しました。

本講座は、昭和58年以来、一般市民を対象にして、心と身体の健康を中心に生活に深く関わるテーマで毎年実施しています。多くの方々に参加していただけるよう18年度から受講料を無料としました。日程は、昨年に引き続き、土曜日の午後の3時間とコンパクトにしました。

昨年度、「健やかに過ごすためのリハビリテーション」のテーマで実施したところ、高齢者の参加者が多数あり、また、アンケートにおいても高齢者と介護に関することの要望がありました。この結果をうけて、今年度は、健康で豊かに年を重ねるために、今できることを主題として、看護学専攻が担当しました。ポスター配付や名古屋大学及び医学部保健学科のホームページで広く参加者を募集しました。その結果、100名を超える申し込みをいただきました。

平成20年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座の実施要項は以下のとおりです。

#### テーマ：サクセスフル・エイジング

健康で豊かに年を重ねるために

開催時期：平成20年10月4日

開催場所：名古屋大学医学部保健学科 東館大講義室（東館4階）

募集人員：100名 受講料：無料

後援：愛知県、名古屋市、名古屋大学医師会、愛知県医師会、名古屋市医師会、愛知県看護協会、愛知県放射線技師会、愛知県臨床衛生検査技師会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会

テーマ説明文：高齢社会の現在、だれもが健康でいきいきと暮らしたいと望んでいます。高齢期になると、動脈硬化や骨粗鬆症、認知症などの病気により、健康な生活バランスを崩すことも多くなります。これからの病気は、食事や運動など日常の生活習慣を見直すことで予防ができます。また、高齢にとって医療に関わる制度がめまぐるしく変化していきます。

本講座では、サクセスフル・エイジングを達成するために、老化とそれに伴う健康や生活の変化、健康で豊かな高齢期を過ごすための様々な知識、医療資源についてお話しします。

#### 開講時間・題目・講師

第1講	13:00～13:50	生活習慣病とその予防 看護学専攻 玉腰 浩司教授
第2講	14:00～14:50	江戸時代の翁に学ぶ能老人 <small>いいおれ</small> の生活 看護学専攻 會田 信子准教授
第3講	15:10～16:00	介護予防とサクセスフル・エイジング 看護学専攻 榊原 久孝教授

当日参加人数：75名

講座実施五の参加者へのアンケート結果は以下のとおりです。

アンケート結果

性別 年齢構成 (名)

	男	女	計
20代	4	3	7
30代	2	3	5
40代	0	5	5
50代	2	7	9
60代	8	14	22
70代	7	17	24
80代	1	2	3
計	24	51	75

職業 (名)

	男	女	計
学生	5	3	8
会社員	4	3	7
自営業	1	0	1
専門職	0	25	25
主婦	1	9	10
無職	13	11	24
未記入	0	0	0
計	24	51	75

本講座を何で知りましたか (名)

	男	女	計
新聞、TV	8	14	22
区役所	2	5	7
社教センター	1	2	3
図書館	0	0	0
友人情報	2	8	10
その他	4	3	7
未記入	7	19	26
計	24	51	75

実施方法について

A 全体の時間について

	計
長い	12
丁度よい	63
短い	0
未記入	0
計	75

B テーマ毎の時間について

	計
長い	3
丁度よい	71
短い	1
未記入	0
計	75

C 講演形式について

	計
講演形式	50
参加型セミナー	16
その他	5
未記入	4
計	75

感想を聴かせてください (名)

	男	女	計
訳に立った	14	37	51
まあ訳に立った	8	14	22
あまり参考にならな かった	0	0	0
その他	0	0	0
未記入	2	0	2
計	24	51	75

今後、希望するテーマ

- ・高齢者の健康的なコミュニティづくり
- ・糖尿病について
- ・心臓尿について
- ・腰椎椎間板ヘルニアについて
- ・食生活について
- ・便通について
- ・高齢者向きの運動と継続方法

- ・心の健康、うつ病、統合失調症について
- ・高血圧、認知症の対応の仕方
- ・脳梗塞のリハビリの仕方
- ・心の持ち方、おだやかな生活充実した人生について
- ・家庭や近所との環境衛生について
- ・医師、看護師不足から起こる医療体制の変化について
- ・免疫とストレスについて
- ・良い生活習慣とは
- ・死亡率の高い格病気の予防法について
- ・老人の性的問題
- ・死について（介護をしていて、あわてないための準備、心構え）

アンケート結果では、今回の公開講座の内容について、ほとんどの参加者が訳に立ったと満足していただけるものとなりました。高齢者の参加が多いことを予測し、負担の軽減のために、講演時間を昨年度より1時間短縮しました。そのため、丁度良いと答えた方が、95%を超えました。また、休憩時間に簡単なストレッチを実施したところ、「休憩時間の運動は、とても良かった。」「体操後、気持ちよく話をきくことができた。」という意見が多数きかれました。高齢者の参加が多いので、講演だけでなく、休憩時間を使って簡単にできるストレッチなどをとりいれることによって、気分転換もでき、集中して講演をきくことができるようです。今後の運営の中でも、このような方法を取り入れていくことはよいと考えます。次年度もアンケートで寄せられた希望テーマを参考に、公開講座の内容を検討していくことになりました。

（平成20年度公開講座委員 吉田久美子）



### 3 . 業 績 ( 2 0 0 8 年 )

#### 凡 例

業績の収録期間は2007(平成19)年1月～12月とした。

業績は下記の種別に分類した。

- \* 著書
- \* 原著論文
- \* 総説・解説・その他
- \* 科研費・班研究等
- \* その他の印刷物等
- \* 学会発表
- \* 公開講座・講演会

掲載順位は 専攻， 業績種別， 著者のアルファベット順 とした。



看護学専攻



# 1 看護学専攻

〔著書〕

會田信子

慢性心不全，うつ血性心不全患者の看護

『病期・病態・重症度からみた疾患別看護課程＋病態関連図』医学書院，2008. pp 195-208

會田信子

不整脈患者の看護

『病期・病態・重症度からみた疾患別看護課程＋病態関連図』医学書院，2008. pp 219-235

安藤祥子

第4章．慢性疼痛の治療における医療連携—7．看護師の立場から

『慢性疼痛の理解と医療連携』（宮崎東洋ほか編）真興交易医書出版部，2008. pp 321-327

浅野みどり

第12章 子どもの性的虐待における医学的問題

『マルトリートメント 子ども虐待対応ガイド』（小木曾宏）明石書店，2008. pp 349-367

浅野みどり

第13章 身体的虐待—子どもの事故と故意による怪我

『マルトリートメント 子ども虐待対応ガイド』（小木曾宏）明石書店，2008. pp 368-394

浅野みどり

第15章 子どもの死亡

『マルトリートメント 子ども虐待対応ガイド』（小木曾宏）明石書店，2008. pp 431-446

浅野みどり

幼児期の特徴とケアのポイント

『発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図』（石黒彩子／浅野みどり）医学書院，2008. p 163

浅野みどり

乳児期の特徴とケアのポイント

『発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図』（石黒彩子／浅野みどり）医学書院，2008. p 3

浅野みどり

麻疹患児の看護

『発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図』（石黒彩子／浅野みどり）医学書院，2008. pp 150-161

浅野みどり

フォロー四徴症患児の看護

『発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図』（石黒彩子／浅野みどり）医学書院，2008. pp 187-202

國府浩子

乳癌患者の看護

『病期・病態・重症度からみた疾患別看護課程＋病態関連図』医学書院，2008. pp 767-777

村上泰子，浅野みどり

胆道閉鎖症患児の看護

『発達段階からみた小児看護過程 + 病態関連図』(石黒彩子 / 浅野みどり) 医学書院, 2008. pp 63-72

永井邦芳

症状・徴候別 アセスメントと看護ケア

『症状・徴候別 アセスメントと看護ケア』(山内豊明, 池松裕子) 医学芸術新社, 2008. pp 318-333

永井邦芳

症状・徴候別 アセスメントと看護ケア

『症状・徴候別 アセスメントと看護ケア』(山内豊明, 池松裕子) 医学芸術新社, 2008. pp 908-921

奈良間美保

二分脊椎でキャリアオーバーした人の成育看護; 小児期からの継続的にケアに焦点をあてて

『キャリアオーバーと成育医療』(駒松仁子編集) へるす出版, 2008. pp 152-156

新實夕香理, 山内豊明

全身の症候 痙攣

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』メヂカルフレンド社, 2008. pp 1344-1347

新實夕香理

第3部口頭問題ならびに解説 IV. 看護学

『日本口腔ケア学会認定資格 標準テキスト下巻』(日本口腔ケア学会) 日総研出版, 2008. pp 384-394

新實夕香理

第4章 特徴的な症状をもつ高齢者への看護技術 3. 感染に対する看護技術

『老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠 [第2版]』(奥野茂代・大西和子) ニューヴェルヒロカワ, 2008.  
pp 129-141

新實夕香理

38 掻痒

『症状・徴候別 アセスメントと看護ケア』(池松裕子, 山内豊明) 医学書院, 2008.  
pp 558-569

新實夕香理

62 めまい

『症状・徴候別 アセスメントと看護ケア』(池松裕子, 山内豊明) 医学書院, 2008.  
pp 898-907

太田勝正

ナーシングミニマムセット

『看護情報学』(太田勝正・猫田泰敏) 医学書院, 2008. pp 107-115

太田勝正

看護情報学

『看護情報学』(太田勝正・猫田泰敏) 医学書院, 2008. pp 12-21

太田勝正, 井口弘子

看護情報と倫理

『看護情報学』(太田勝正・猫田泰敏) 医学書院, 2008. pp 149-165

太田勝正

看護の定義

『看護情報学』(太田勝正・猫田泰敏)医学書院,2008. pp3-11

太田勝正,井口弘子

もう一つの視点:実際の看護における情報の収集と活用例

『看護情報学』(太田勝正・猫田泰敏)医学書院,2008. pp62-70

小島照子,濱松加寸子,鈴木和代,坂上明子,玉里八重子,唐沢 泉,三宅恵美,木村千里,篠原ひとみ,泉川孝子  
3章 性と生殖に関する機構

『看護系標準教科書 母性看護学』 オーム社,2008. pp34-53

高橋由紀,山内豊明

全身の症候 浮腫

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』 メヂカルフレンド社,2008. pp1355-1365

高橋由紀,山内豊明

全身の症候 脱水

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』 メヂカルフレンド社,2008. pp1375-1384

高橋由紀 山内豊明

浮腫

『看護に役立つ疾患・症候辞典』(水井良三監修分担任執筆担当)メヂカルフレンド社,2008. pp1355-1364

高橋由紀 山内豊明

脱水

『看護に役立つ疾患・症候辞典』(水井良三監修分担任執筆担当)メヂカルフレンド社,2008. pp1375-1384

高橋由紀

出血傾向

『症状徴候別アセスメントと看護ケア』(池松裕子・山内豊明編集分担任執筆担当)医学芸術社,2008. pp472-475

竹井留美

嘔声

『症状・徴候別 アセスメントと看護ケア』(池松裕子,山内豊明編)医学芸術社,2008. pp414-429

竹井留美,前川厚子

便失禁

『症状・徴候別 アセスメントと看護ケア』(池松裕子,山内豊明編)医学芸術社,2008. pp858-871

竹井留美,前川厚子

大腸癌患者の看護

『病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程』(井上智子,佐藤千史編)医学書院,2008. pp382-394

竹井留美,前川厚子

潰瘍性大腸炎患者の看護

『病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程』(井上智子,佐藤千史編)医学書院,2008. pp416-428

新井陽子，及川美穂，香取洋子，立岡弓子，高橋真理，村本淳子，中山美由紀

ライフサイクルと女性の身体

『ウィメンズヘルスナーシング 女性のライフサイクルとナーシング』(高橋真理，村本淳子編集) NOUVELLE HIROKAWA, 2008. pp 11-38

山内豊明

『イラストでわかる病態生理—なぜ症状が現れるのか—』(監訳/山内豊明) 総合医学社，2008. 1冊

山内豊明

救急場面でのバイタルサインの有用性は？

『ケアの根拠 看護の疑問に答える 151 のエビデンス』(監修/道又元裕) 日本看護協会出版会，2008. p 42

山内豊明

腕のポジションによって血圧値に違いはあるか？

『ケアの根拠 看護の疑問に答える 151 のエビデンス』(監修/道又元裕) 日本看護協会出版会，2008. p 43

山内豊明

聴力のスクリーニング検査はどのくらい有用か？

『ケアの根拠 看護の疑問に答える 151 のエビデンス』(監修/道又元裕) 日本看護協会出版会，2008. p 44

山内豊明

無症候性心筋梗塞はどの程度存在するか？

『ケアの根拠 看護の疑問に答える 151 のエビデンス』(監修/道又元裕) 日本看護協会出版会，2008. p 45

山内豊明

静脈確保時に患者の手を温めることは有用か？

『ケアの根拠 看護の疑問に答える 151 のエビデンス』(監修/道又元裕) 日本看護協会出版会，2008. p 47

千本美紀，山内豊明

グリセリン浣腸実施における留意点とは？

『ケアの根拠 看護の疑問に答える 151 のエビデンス』(監修/道又元裕) 日本看護協会出版会，2008. p 69

山内豊明

循環器疾患-1 狭心症

『ナーシンググラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明) メディカ出版，2008. pp 24-26

山内豊明

循環器疾患-2 急性心筋梗塞 (AMI)

『ナーシンググラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明) メディカ出版，2008. pp 27-30

山内豊明

循環器疾患-3 心臓弁膜症

『ナーシンググラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明) メディカ出版，2008. pp 31-33

山内豊明

循環器疾患-4 心筋症

『ナーシンググラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明) メディカ出版，2008. pp 34-35

山内豊明



循環器疾患-5 心不全

『ナースングラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明)メディカ出版, 2008. pp 36-37

山内豊明

循環器疾患-6 大動脈解離

『ナースングラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明)メディカ出版, 2008. pp 38-40

山内豊明

循環器疾患-7 ファロー四徴症 (TOF)

『ナースングラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明)メディカ出版, 2008. pp 41-42

山内豊明

循環器疾患-8 心房中隔欠損症 (ASD)

『ナースングラフィカ Ex②疾病と治療』(編集/林正健二・山内豊明)メディカ出版, 2008. pp 43-44

庄山由美, 竹森香織, 佐々木雅史, 渋谷多佳子, 三浦博美, 高橋芙由子, 佐藤千雪, 深谷智恵子, 山口庸子, 横井咲子, 平尾明美, 原武麻里

『ペーパーバイシエントから学ぶ機能障害別看護ベーシックトレーニング』(監修/林正健二・山内豊明・明石恵子, 編集/深谷智恵子・明石恵子・前田ひとみ・南川貴子・富重佐智子・林正健二)メディカ出版, 2008. 1冊

今磯純子, 山内豊明

全身の症候 倦怠感

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』メヂカルフレンド社, 2008. pp 1347-1351

篠崎恵美子, 山内豊明

全身の症候 貧血

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』メヂカルフレンド社, 2008. pp 1351-1354

平良美栄子, 山内豊明

全身の症候 黄疸

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』メヂカルフレンド社, 2008. pp 1365-1370

相原優子, 山内豊明

全身の症候 出血傾向

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』メヂカルフレンド社, 2008. pp 1370-1375

佐伯香織, 山内豊明

全身の症候 易感染性

『看護に役立つ疾患・症候事典 病態がわかる ケアがわかる』メヂカルフレンド社, 2008. pp 1385-1393

山内豊明, 筒井孝子, 田中彰子, 秋山智哉, 看護必要度アセスメント項目評価基準検討委員会

「看護必要度」を評価するための項目-II「看護必要度」(Ver.4)のチェック項目とその選択肢

『看護必要度第3版-看護サービスの新たな評価基準』(監修/岩澤和子・筒井孝子)日本看護協会出版会, 2008. p 36

山内豊明

「看護必要度」を評価するための項目-I アセスメントにおける「看護必要度」の考え方

『看護必要度第3版-看護サービスの新たな評価基準』(監修/岩澤和子・筒井孝子)日本看護協会出版会, 2008. pp 21-35

山内豊明, 筒井孝子, 田中彰子, 秋山智哉, 看護必要度アセスメント項目評価基準検討委員会

「看護必要度」を評価するための項目-III「看護必要度 (Ver.4) チェック票」記入の手引き  
『看護必要度第3版-看護サービスの新たな評価基準』(監修/岩澤和子・筒井孝子) 日本看護協会出版会, 2008. pp 37-89

山内豊明, 筒井孝子, 田中彰子, 秋山智哉, 看護必要度アセスメント項目評価基準検討委員会  
「看護必要度」を評価するための項目-IV 例題  
『看護必要度第3版-看護サービスの新たな評価基準』(監修/岩澤和子・筒井孝子) 日本看護協会出版会, 2008. pp 90-114

〔原著論文〕

松波 香, 會田信子, 佐藤紀子  
看護師と医師の終末期ケア遂行に伴う心理的葛藤と他職種への期待: 大学病院呼吸器専門病棟におけるチーム・アプローチに関する一考察  
東京女子医科大学看護学会誌 3 (1): 19-26, 2008

光行多佳子, 安藤詳子, 深谷陽子, 高木仁美, 水野敏子  
患者参加型アセスメントツール「痛み計」の取り組み  
看護学雑誌 72 (1): 80-86, 2008

澤井美穂, 安藤詳子, 國府浩子  
臨床看護実践におけるホスピス・ケア認定看護師の役割認識  
死の臨床 31 (1): 97-104, 2008

工藤慎太郎, 藤井徹也, 浅本 憲, 中野 隆  
コ・メディカル養成校における『解剖画像教材』を用いた授業とその効果  
形態・機能 6: 135-141, 2008

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, YOSHIDA Naoki, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yuki-hiko, TSUBOI Naoya, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki  
Plasma brain natriuretic peptide level after hybrid therapy with pulmonary vein isolation and antiarrhythmic drugs for atrial fibrillation  
Int Heart J 49: 143-151, 2008

山内正樹, 因田恭也, 鈴木博彦, 吉田直樹, 神谷裕美, 北村倫也, 北村和久, 内川智浩, 平敷安希博, 室原豊明, 平井眞理, 辻 幸臣  
Substrate-based VT Ablation が有用であった不整脈源性右室心筋症 (ARVC) の1例.  
Therapeutic Research 29: 1596-1598, 2008

内川智浩, 因田恭也, 神谷裕美, 嶋野祐之, 北村和久, 平敷安希博, 原田修治, 高木克昌, 山内正樹, 辻 幸臣, 築瀬正伸, 井澤英夫, 近藤隆久, 平井眞理, 室原豊明  
EnSite により心室頻拍中の緩徐伝導路を同定しえた拡張型心筋症の1例  
臨床心臓電気生理 31: 257-264, 2008

**IKEMATSU Yuko**, WILLIAMS Ged  
Research brief: A multinational survey of critical care nursing certification  
CONNECT WORLD CRIT CARE NURS 6 (4): 73-76, 2008

ABE Kiyoko, TAMAKI Junko, KADOWAKI Eiko, SATO Yuho, MORITA Akemi, KOMATSU Misa, TAKEUCHI Sayaka, **KAJITA Etsuko**, IKI Masayuki  
Use of anthropometric indicators in screening for undiagnosed vertebral fractures: a cross-sectional analysis of the

Fukui Osteoporosis Cohort (FOC) study  
BMC Musculoskelet Disord 9: 157, 2008

小松美砂, 梶田悦子, 玉置淳子, 中谷芳美, 由良晶子, 伊木雅之  
全国市区町村におけるエビデンスに基づく骨粗鬆症予防対策の実施状況と関連要因  
民族衛生 74: 164-177, 2008

#### KAWANO Yuri

Association of Job-related Stress Factors with Psychological and Somatic Symptoms among Japanese Hospital Nurses  
: Effect of Departmental Environment in Acute Care Hospitals  
J Occup Health 50: 79-85, 2008

河野由理, 大森ゆみ子, 増田美登里, 河野美智子  
看護ケアの中で患者が満足したと感じたケア内容—急性期病院の看護師の認識—  
第 38 回日本看護学会論文集 看護管理 175-177, 2008

#### 國府浩子

初期治療を選択する患者が経験する困難  
日本がん看護学会誌 22: 14-22, 2008

KONDO Takaaki, YAMAMOTO Kanami, KIMATA Akiko, UHEYAMA Jun, **HORI Yoko**, TAKAGI Kenji  
Association of glycemic profiles with whole blood polyamine among middle-aged Japanese men: colorimetric assay  
using oat and barley seedling polyamine oxidase  
Environ health prev med 13 (1): 43-51, 2008

松永侑美, 奈良間美保, 鈴木信子, 鈴木正利  
1 歳児を持つ母親のこどもの事故防止に関する支援の現状・満足度・周囲のサポートの特徴  
外来小児科 11: 552-553, 2008

#### 奈良間美保

二分脊椎をもつ子ども・家族とのパートナーシップを基盤とした支援  
小児看護 31: 141-145, 2008

茂本咲子, 奈良間美保, 堀 妙子, 立岡弓子, 高橋由紀, 村上泰子, 浜島信之  
葉酸摂取に対する性成熟期の女性の反応とその促進に向けた支援  
小児看護 31: 173-179, 2008

#### 田中千代, 奈良間美保

思春期の健康にかかわる情報の入手とその関連要因  
日本小児看護学会誌 17 (2): 16-23, 2008

#### 奈良間美保, 村上泰子, 堀 妙子

小児在宅ケアの包括的支援に向けたコーディネーター教育プログラムの開発  
日本農村医学会雑誌 57: 242-243, 2008

#### 夏目美貴子, 太田勝正

自己情報コントロール権に関する入院患者の認識についての調査  
医療情報学 27 (6): 501-510, 2008

伊藤千晴，太田勝正

新人看護師が直面する倫理上のジレンマと看護論理教育のニーズ —A 病院における事例を通して—  
日本看護学教育学会誌 18 (2): 41-49 , 2008

NISHIDA Tomoko, **SAKAKIBARA Hisataka**

Low lymphocyte count in underweight Japanese women  
Environ health prev med 13 (6): 345-348 , 2008

MITSUI Takahiro, SHIMAOKA Kiyoshi, TSUZUKU Shigeki, KAJIOKA Taeko, **SAKAKIBARA Hisataka**

Gentle exercise of 40 minutes with dietary counseling is effective in treating metabolic syndrome  
Tohoku exp med 215 (4): 355-361 , 2008

YANAGISAWA Ikuyo, **SAKAKIBARA Hisataka**

Factors affecting satisfaction levels of Japanese volunteers in meal delivery services for the elderly  
Public health nurs 25 (5): 471-479 , 2008

MITSUI Takahiro, SHIMAOKA Kiyoshi, TSUZUKU Shigeki, KAJIOKA Taeko, **SAKAKIBARA Hisataka**

Relationship between pedometer-determined physical activity and obesity in Japanese adults  
J physiol anthropol 27 (4): 179-184 , 2008

MAEDA Setsuo, YU Xiaozhong, WANG Rui-Sheng, **SAKAKIBARA Hisataka**

A pilot study of gene expression analysis in workers with hand-arm vibration syndrome  
Ind health 46 (2): 188-193 , 2008

TSUKADA Tsukimi, **SAKAKIBARA Hisataka**

A trial of individual education for hearing protection with an instrument that measures the noise attenuation effect of wearing earplugs  
Ind health 46 (4): 393-396 , 2008

HIRATA Mamoru, **SAKAKIBARA Hisataka**

Visually-evoked P300 and NOGO potentials as indicators of central nervous system function in patients with vibration syndrome  
Int arch occup environ health 82 (1): 79-85 , 2008

桜井志保美，平井眞理，前川厚子，堀 容子

65 歳未満の介護者における睡眠と高血圧，脈圧増大との関連  
日本看護医療学会雑誌 10: 11-18 , 2008

兼松有加，佐藤恵美，井出萌子，根来麻美，志賀朋美，今井美香，桜井志保美，前川厚子，平井眞理

大学生の一次救命処置に対する意識の現状と今後の課題 医学部保健学科看護学専攻生と他学部生における比較検討  
日本看護医療学会雑誌 10: 44-52 , 2008

中村佳世，清水三紀子，鈴木和代

高齢者の性に対する大学生の性意識  
愛知母性衛生学会誌 72-82 , 2008

SUZUKI Sadao, KOJIMA Masayo, TOKUDOME Sinkan, MORI Mitsuru, SAKAUCHI Fumio, FUJINO Yoshihisa, WAKAI Kenji, LIN Yingsong, KIKUCHI Shogo, **TAMAKOSHI Koji**, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Akiko;  
Japan Collaborative Cohort Study Group

Effect of physical activity on breast cancer risk: findings of the Japan collaborative cohort study  
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 17: 3396-3401 , 2008

WADA Keiko, **TAMAKOSHI Koji**, OUYANG Pei, OTSUKA Rei, MITSUHASHI Hirotsugu, TAKEFUJI Seiko, MATSUSHITA Kunihiro, SUGIURA Kaichiro, HOTTA Yo, TOYOSHIMA Hideaki, YATSUYA Hiroshi  
Association between low birth weight and elevated white blood cell count in adulthood within a Japanese population  
Circ J 72: 757-763 , 2008

HOTTA Yo, YATSUYA Hiroshi, TOYOSHIMA Hideaki, MATSUSHITA Kunihiro, MITSUHASHI Hirotsugu, TAKEFUJI Seiko, OISO Yutaka, **TAMAKOSHI Koji**  
Low leptin but high insulin resistance of smokers in Japanese men  
Diabetes Res Clin Pract 81: 358-364 , 2008

OTSUKA Rei, **TAMAKOSHI Koji**, WADA Keiko, MATSUSHITA Kunihiro, OUYANG Pei, HOTTA Yo, TAKEFUJI Seiko, MITSUHASHI Hirotsugu, TOYOSHIMA Hideaki, SHIMOKATA Hiroshi, YATSUYA Hiroshi  
Having more healthy practice was associated with low white blood cell counts in middle-aged Japanese male and female workers  
Ind Health 46: 341-347 , 2008

MATSUSHITA Kunihiro, **TAMAKOSHI Koji**, YATSUYA Hiroshi, WADA Keiko, OTSUKA Rei, TAKEFUJI Seiko, HOTTA Yo, KONDO Takahisa, MUROHARA Toyoaki, TOYOSHIMA Hideaki  
Further inflammatory information on metabolic syndrome by adiponectin evaluation  
Int J Cardiol 124: 339-344 , 2008

SUGIURA Kaichiro, **TAMAKOSHI Koji**, YATSUYA Hiroshi, OTSUKA Rei, WADA Keiko, MATSUSHITA Kunihiro, KONDO Takahisa, HOTTA Yo, MITSUHASHI Hirotsugu, MUROHARA Toyoaki, TOYOSHIMA Hiroshi  
Contribution of adipocytokines to low-grade inflammatory state as expressed by circulating C-reactive protein in Japanese men: comparison of leptin and adiponectin  
Int J Cardiol 130: 159-164 , 2008

NAGASAWA Ken, **TAMAKOSHI Koji**, MATSUSHITA Kunihiro, TOYOSHIMA Hideaki, YATSUYA Hiroshi  
Development and validity of the Japanese version of body shape silhouette: relationship between self-rating silhouette and measured body mass index  
Nagoya J Med Sci 70: 89-96 , 2008

OTSUKA Rei, **TAMAKOSHI Koji**, YATSUYA Hiroshi, WADA Keiko, MATSUSHITA Kunihiro, OUYANG Pei, HOTTA Yo, TAKEFUJI Seiko, MITSUHASHI Hirotsugu, SUGIURA Kaichiro, SASAKI Satoshi, KRAL John G, TOYOSHIMA Hideaki  
Eating fast leads to insulin resistance: findings in middle-aged Japanese men and women  
Prev Med 46: 154-159 , 2008

山内豊明

科学的根拠に基づいたケアを目指して

インターナショナルナーシングレビュー 31 (1): 18-21 , 2008

山内豊明

シミュレーション教育への注目と期待

インターナショナルナーシングレビュー 31 (4): 14-18 , 2008

山内豊明

特定疾患の生活の質の向上に資するケアの在り方 人工呼吸器装着 ALS 在宅療養者への安全な気管内吸引実施能力に関する検討

愛知県特定疾患研究協議会 84-85, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント—考え方・教育方略—

日本看護医療学会雑誌 10 (2): 54, 2008

山内豊明

医療安全と安心の確保—医療事故節の探求—看護教育の立場より

日本看護研究学会雑誌 31 (1): 34-35, 2008

新貝夫弥子, 横内光子, 國府浩子

FEC 療法と DOC 療法併用による術前科学療法を受ける乳がん患者の栄養状態の変化

日本がん看護学会誌 22: 43-54, 2008

江川幸二, 吉永喜久恵, 横内光子, 北川 恵, 山本かよ, 大釜徳政, 鷺田万帆

医療機関における心疾患患者家族を対象とした心肺脳蘇生法の指導に関する実態調査

日本救急看護学会誌 9: 36-46, 2008

〔総説・解説・その他〕

浅野みどり

「ツインマザースクラブ」の多胎児育児支援活動—愛知ネットワーク集会 6 年間の活動を振り返って—

現代医学 56: 427-431, 2008

浅野みどり

気管支喘息児とその家族を取り巻く療養環境の変化と看護

小児看護 31: 1347-1351, 2008

平井眞理

看護に役立つ心電図の知識

日本看護医療学会雑誌 10: 1-10, 2008

堀 容子

ライフコースアプローチとしての学童期の生活習慣病予防

社団法人 全国学校栄養士協議会 (10): 62-65, 2008

河野由理

性的虐待の現状と課題-性的虐待に関する文献検討から-

性被害からの回復へのあゆみ 34-37, 2008

増井麻依子, 河野由理, 森 雅美

回復者主導型の薬物依存症回復施設 (DARC) を巡る研究の動向

創造都市研究 4: 109-118, 2008

茂本咲子, 奈良間美保, 堀 妙子, 立岡弓子, 高橋由紀, 村上泰子, 浜島信之

実践報告 葉酸摂取に対する性成熟期女性の反応とその促進に向けた支援

小児看護 31: 173-179, 2008

太白奈々子, 蜂須賀麻衣, 新實夕香理, 太田勝正  
臨地実習において学生が記録する患者情報の保護と匿名化について  
第 38 回日本看護学会論文集 (1): 407-409, 2008

佐藤真也, 太田勝正, 新實夕香理, 井口弘子  
看護師が患者から情報収集する際の患者への利用目的の通知の現状について  
医療情報 28 (suppl): 1277-1280, 2008

太田勝正  
医療と情報-患者情報は誰のものか?  
日本赤十字看護学会誌 8 (1): 117-178, 2008

高橋由紀, 大橋幸美, 山口香苗, 立岡弓子  
フリードマン曲線はいつ日本にやってきたのか 教科書の掲載内容の変遷から  
助産雑誌 62: 367-371, 2008

渡邊浩子, 高橋由紀, 立岡弓子  
諸外国の研究報告のなかのフリードマン曲線  
助産雑誌 62: 552-567, 2008

玉腰浩司, 八谷 寛  
労働者の肥満と高血圧  
血圧 15 (6): 51-54, 2008

立岡弓子, 八木友美, 高橋由紀, 清水三紀子, 大橋幸美, 山下 恵, 山口香苗, 山口江利子, 野田みや子, 内山綾子,  
伊藤久美子, 小栗季里子, 川村彩嘉, 平井里加, 山田安希子, 吉崎 綾, 藤田まり子, 濱田由美  
初産婦を対象とした自然分娩症例の分娩経過曲線の作成②  
助産雑誌 62: 1086-1092, 2008

立岡弓子, 高橋由紀, 八木友美, 清水三紀子, 山下 恵, 山口江利子, 大橋幸美, 伊藤久美子, 山口香苗, 内山綾子,  
野田みや子, 小栗季里子, 川村彩嘉, 平井里加, 山田安希子, 吉崎 綾, 藤田まり子, 鈴木心佳子, 仲井千晶, 山田歩  
美, 濱田由美  
経産婦を対象とした自然分娩症例の分娩経過曲線の作成  
助産雑誌 62: 1185-1189, 2008

立岡弓子, 山口香苗, 清水三紀子  
フリードマン曲線はなぜ当たらない? ②フリードマン曲線はどのように作られたのか  
助産雑誌 62: 164-170, 2008

立岡弓子, 高橋由紀, 山口香苗, 大橋幸美  
フリードマン曲線はなぜ当たらない? ③分娩開始の定義は曖昧だった  
助産雑誌 62: 260-265, 2008

立岡弓子, 大橋幸美  
分娩経過曲線のヒミツ フリードマン曲線はいつ日本にやってきたのか 教科書の掲載内容の変遷から  
助産雑誌 62: 367-371, 2008



渡邊浩子，立岡弓子  
分娩経過曲線のヒミツ 諸外国の研究報告のなかのフリードマン曲線  
助産雑誌 62: 552-559, 2008

伊藤久美子，立岡弓子  
分娩経過曲線のヒミツ 中南米で活用されている分娩経過曲線と伝統的産婆の現状  
助産雑誌 62: 642-649, 2008

立岡弓子  
分娩経過曲線のヒミツ フリードマン曲線は、なぜ当たらないI (1) フリードマンが分娩経過曲線を作った理由  
助産雑誌 62: 66-70, 2008

伊藤久美子，立岡弓子，山口江利子，山下 恵  
分娩経過曲線のヒミツ WHO の推奨するパルトグラムはどのように作られたのか  
助産雑誌 62: 751-757, 2008

伊藤久美子，立岡弓子  
分娩経過曲線のヒミツ ヘンドリックスが作成した「曲線」の功績  
助産雑誌 62: 860-864, 2008

立岡弓子，清水三紀子，高橋由紀，八木友美，山下 恵，山口香苗，山口江利子，野田みや子，内山綾子，伊藤久美子，  
小栗季里子，川村彩嘉，平井里加，山田安希子，吉崎 綾，藤田まり子，濱田由美  
初産婦を対象とした自然分娩症例の分娩経過曲線の作成  
助産雑誌 62: 992-996, 2008

立岡弓子，山下 恵，山口江利子，高橋由紀  
日本の研究報告のなかのフリードマン曲線  
助産雑誌 62: 468-473, 2008

立岡弓子  
【乳房ケア成功事例&トラブル解決事例】 エビデンスに基づいた乳房トラブル解決の知恵  
日総研出版 1: 4-14, 2008

山内豊明  
フィジカルアセスメントの意義と考え方  
Nutrition Care 1 (1): 18-21, 2008

山内豊明  
一歩進んだベッドサイドのハテナ? Q&A フィジカルアセスメント①呼吸  
Smiley Nurse (12): 4-7, 2008

山内豊明  
一歩進んだベッドサイドのハテナ Q&A フィジカルアセスメント②腹部  
Smiley Nurse (13): 4-7, 2008

山内豊明  
フィジカルアセスメント テクニック編 連載 15 皮膚知覚「皮膚の感覚がおかしい」患者さんのアセスメント  
ナース専科 28 (1): 84-87, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 16 深部知覚・アセスメントを糖尿病ケアに役立てよう  
ナース専科 28 (2): 88-91, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 17 運動機能—歩行動作からわかること  
ナース専科 28 (3): 84-87, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 18 運動機能—筋力をスクリーニングして看護に活かす  
ナース専科 28 (4): 84-87, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 19 運動機能—MMT を看護に活かす  
ナース専科 28 (5): 88-91, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 20 運動機能—関節可動域を測定し ADL の程度を見極める  
ナース専科 28 (6): 90-93, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 21 中枢神経系—意識状態を評価し原因を探る  
ナース専科 28 (7): 90-93, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 22 中枢神経系—どこが障害されているかを確認する  
ナース専科 28 (8): 94-97, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 23 高次脳機能—働きと評価の仕方を知ろう  
ナース専科 28 (9): 92-95, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 24 高次脳機能—認知症のアセスメント  
ナース専科 28 (10): 88-91, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載 1 頭痛  
ナース専科 28 (11): 84-87, 2008

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載 2 胸痛  
ナース専科 28 (12): 84-87, 2008

山内豊明, 平林大輔

(対談) 看護師と医師のあいだで  
週刊医学界新聞 (2770): 1-2, 2008

山内豊明

医療「マネジメント」学会である意義  
日本医療マネジメント学会雑誌 8: 487, 2008

〔科研費・班研究等〕

安藤詳子  
がん性疼痛マネジメントに役立つ「痛み計」の製品化に向けた開発  
健康長寿産業育成のための地域連携実証事業事業報告書, 2008

葛谷雅文, 植村和正, 平川仁尚, 安藤詳子, 飯島 節, 小坂陽一, 水川真二郎  
高齢者の終末期ケアに関する研究  
厚生労働科学研究費補助金 長寿科学研究事業平成 19 年度総括分担研究報告書 14-15, 2008

國府浩子  
乳がん患者の初期治療に対する意思決定プロセス支援モデルの構築と評価  
平成 17-19 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書, 2008

勝田仁美, 内田雅代, 鈴木真知子, 奈良間美保, 二宮啓子, 宮内 環  
特別支援学校において医療的ケアを実施する看護師の機能と専門性の明確化  
特別支援学校看護師のためのガイドライン 58-66, 2008

高橋由紀  
出生直後の well-being 新生児の呼吸確立援助についての科学的検証  
2007-2008 年度科学研究費補助金 (科学研究費若手 B) 研究成果報告書, 2008

高橋由紀  
出生直後の新生児への気道吸引に関する研究  
愛知県看護研究助成報告論文集愛知県看護協会 55-69, 2008

立岡弓子, 高橋由紀, 山口江利子, 山下 恵  
近年の自然分娩の分娩時間の再考と新しい分娩予測指標の作成  
日本助産学会研究助成金報告, 2008

山内豊明, 角間辰之, 三笠里香, 篠崎恵美子, 山内香奈  
看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究  
看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価基準の作成平成 16 年度-平成 19 年度科学研究費補助金  
(基盤研究 (C) 研究成果報告書), 2008

山内豊明, 角間辰之  
看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究  
看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価基準の作成平成 19 年度科学研究費補助金実績報告書,  
2008

山内豊明, 今磯純子, 佐々木詩子, 野崎加世子, 三笠里香  
人工呼吸器装着 ALS 在宅療養者への安全な気管内吸引実施能力に関する検討  
研究報告書 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 平成 19 年度総括・分担研究報告書 182-183,  
2008

山内豊明, 山内香奈

シミュレーターを用いたフィジカルアセスメント教育の効果の検討  
厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業 平成 19 年度総括・分担研究報告書 12-34, 2008

山内豊明, 今磯純子, 佐々木詩子, 野崎加世子, 三笠里香, 志賀たずよ  
人工呼吸器装着 ALS 在宅療養者への安全な気管内吸引実施能力に関する検討  
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 平成 17 年度-平成 19 年度総合研究報告書 158-162, 2008

山内豊明, 三笠里香  
シミュレーターを用いたフィジカルアセスメントに関する継続教育プログラムの効果の検討  
特定疾患患者の生活の質 (Quality of Life, OL) の向上に関する研究厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業 平成 19 年度総括・分担研究報告書 1-11, 2008

山内豊明  
看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価基準の作成  
特定疾患患者の生活の質 (Quality of Life, OL) の向上に関する研究厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業 平成 19 年度総括・分担研究報告書 i-v, 2008

筒井孝子, 嶋森好子, 田中彰子, 山内豊明, 斎藤訓子, 東野定律, 秋山智弥  
急性期入院医療における看護職員配置と看護必要度に関する実態調査  
平成 19 年度厚生労働省保健局医療課委託事業 急性期入院医療における看護職員配置と看護必要度に関する実態調査報告書, 2008

横内光子, 新貝夫弥子, 後藤萌美, 江坂真理  
UML を用いた外来化学療法部門機能のモデル化の試み  
厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業 タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援の在り方に関する研究 平成 19 年度総括・分担研究報告書 119-132, 2008

〔その他の印刷物等〕

安藤詳子  
よりよい緩和ケアの実践を目指して  
unite2008 赤崎記念産学連携推進事業, p 57-58 unite2008 赤崎記念産学連携推進事業 57-58, 2008

安藤詳子  
名声会会報第 38 号発刊に当たり  
H20 名声会会報 38: 11-12, 2008

池松裕子  
クリティカルケア看護の専門性  
日本集中治療医学会 ICU-CCU 看護教育セミナー中級コーステキスト 3-11, 2008

伊木雅之, 梶田悦子, 玉置淳子  
エビデンスに基づく骨折予防ガイドラインの有効性評価と効率的なエビデンスコミュニケーションの実施方法に関する研究  
抄録集 p 422, 2008

梶田悦子  
15 年間の長期追跡研究による骨粗鬆症予防効果の評価と看護指導指針の策定  
平成 18 年度-平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業成果報告書, 2008

勝田仁美, 二宮啓子, 宮内 環, 奈良間美保, 鈴木真知子, 内田雅代  
VII. 教諭への支援  
講演集 p169, 2008 22-23, 2008

榊原久孝  
「トータルヘルスプランナー（THP）養成コース」に携わって  
健康文化 43: 51-54, 2008

桜井志保美, 濱本律子, 前川厚子  
介護による睡眠障害が介護者の心血管系に及ぼす影響  
看護研究報告集録（木村看護教育振興財団）15: 39-52, 2008

立岡弓子, 高橋真理  
暴力を受けた女性のメンタルヘルスにむけた看護介入の実践モデルの開発  
財団法人社会安全研究財団助成研究報告書, 2008

山内豊明  
医療は文化背景とともに  
21世紀に誇れる医学医療交流 9, 1899

山内豊明  
看護特別セミナー「看護師におけるリーダーシップ」  
JANAMEF NEWS 32: 6, 2008

山内豊明  
適正な浣腸処置のために【DVD】  
テイコクメディックス株式会社, 2008

山内豊明  
排痰・吸引のお役立ちポケットカード  
ナース専科 28 (11):, 2008

山内豊明  
(書評) 母乳育児支援スタンダード  
週刊医学界新聞 (2782): 7, 2008

〔学会発表〕

星野純子, 堀 容子  
在宅要介護者を介護する女性介護者における高血圧関連要員の検討（第2報）（抄録集 P133）  
第18回日本疫学会学術総会, 2008.1

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 粥川久美子, 長澤伸江, 丹羽さゆり, 岡本和土,  
前川厚子, 榊原久孝  
在宅要介護者を介護する女性介護者における高血圧関連要因の検討（第2報）（講演集 18 (1): p133）  
第18回日本疫学会学術総会, 2008.1 (東京)

近藤高明, 堀 容子, 西尾和子, 上山 純, 木全明子, 山本佳奈実, 平井眞理, 榊原久孝, 浜島信之

運動前後の血圧変化に与える要因と NOS3 遺伝子型との交互作用 (講演集 18 (1): p62)  
第 18 回日本疫学会学術総会, 2008.1 (東京)

永井邦芳, 堀 容子, 近藤高明, 星野純子, 前川厚子, 榊原久孝, 丹羽さゆり  
在宅療養を支える男性主介護者の健康状態と生活習慣に関する研究 (第 1 報) (講演集 18 (1): p 132)  
第 18 回日本疫学会学術総会, 2008.1 (東京)

安藤詳子, 光行多佳子, 澤井美穂, 國府浩子, 前川厚子  
終末期がん患者の退院調整において病棟看護師に求められる実践 (講演集 p 187)  
第 22 回日本がん看護学会, 2008.2 (名古屋)

澤井美穂, 安藤詳子, 國府浩子, 前川厚子  
ホスピスケア認定看護師の看護師に対する指導と相談の活動における視点 (講演集 p 132)  
第 22 回日本がん看護学会, 2008.2 (名古屋)

赤川陽子, 藤田 烈, 藤井徹也  
死後処置の実際と感染予防の認識 (第 7 回学術集会講演抄録集 23: p 258)  
第 23 回日本環境感染学会, 2008.2 (長崎)

#### IKEMATSU Yuko

International perspectives of certification in critical care  
37th Critical Care Congress, 2008.2 (Honolulu, Hawaii)

酒井幸子, 國府浩子, 竹井留美, 牧野雅子, 吉田和枝, 堀井直子, 藤田紀見, 祖父江正代, 岡部美幸, 前川厚子  
喉頭摘出者のがんの診断を受けてから現在までの体験 (講演集 p 226)  
第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

堀井直子, 藤田紀見, 牧野雅子, 國府浩子, 竹井留美, 祖父江正代, 吉田和枝, 酒井幸子, 岡部美幸, 前川厚子  
喉頭摘出者のソーシャルサポートの現状とニーズ (講演集 p 207)  
第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

牧野雅子, 國府浩子, 竹井留美, 岡部美幸, 堀井直子, 藤田紀見, 吉田和枝, 祖父江正代, 酒井幸子, 前川厚子  
がんによる喉頭摘出者の QOL と生活困難感の関連性 (講演集 p 147)  
第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

牧野雅子, 國府浩子, 竹井留美, 岡部美幸, 堀井直子, 藤田紀見, 廣畑加代子, 吉田和枝, 祖父江正代, 酒井幸子, 前川厚子  
がんによる喉頭摘出者の QOL と生活困難感の関連性 (日本がん看護学会誌 22 (Suppl), 147, 2008)  
第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

酒井幸子, 國府浩子, 竹井留美, 牧野雅子, 吉田和枝, 廣畑加代子, 藤田紀見, 堀井直子, 祖父江正代, 岡部美幸, 前川厚子  
喉頭摘出者のがんの診断を受けてから現在までの体験 (日本がん看護学会誌 22 (Suppl), 226, 2008)  
第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

祖父江正代, 堀井直子, 吉田和枝, 前川厚子, 牧野雅子, 國府浩子, 竹井留美, 藤田紀見, 酒井幸子, 岡部美幸  
喉頭摘出者のケア満足度とニーズ (講演集 p 110)  
第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

前川厚子, 竹井留美, 祖父江正代, 伊藤美智子, 小林文子, 渡辺登美子, 作間久美, 平井 孝, 丸田守人, 中里博昭  
ストーマ保有者の自己適応とSF-8にみるQOLの関連性 (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 24 (1), 125, 2009)

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 2008.2 (札幌)

祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美

ストーマケアにおける患者と看護師間の相互行為と自己適応との関連性 (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 24 (1), 148, 2008)

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 2008.2 (札幌)

祖父江正代, 堀井直子, 吉田和枝, 前川厚子, 牧野雅子, 國府浩子, 竹井留美, 藤田紀見, 酒井幸子, 廣畑加代子, 岡部美幸

喉頭摘出者のケア満足度とニーズ (日本がん看護学会誌 22 (Suppl), 110, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

竹井留美, 前川厚子, 國府浩子, 澤井美穂, 安藤詳子, 牧野雅子, 祖父江正代, 堀井直子, 藤田紀見, 酒井幸子, 吉田和枝, 岡部美幸

がん体験者の語る「がんを生き抜く秘訣」(講演集 p226)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

竹井留美, 前川厚子, 祖父江正代

K オストミークラブ会員における人生の満足度の縦断的検討 (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 24 (1), 149, 2008)

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 2008.2 (札幌)

堀井直子, 藤田紀見, 廣畑加代子, 牧野雅子, 国分浩子, 竹井留美, 祖父江正代, 吉田和枝, 酒井幸子, 岡部美幸, 前川厚子

喉頭摘出者のソーシャルサポートの現状とニーズ (日本がん看護学会誌 22 (Suppl), 207, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

竹井留美, 前川厚子, 國府浩子, 澤井美穂, 安藤詳子, 牧野雅子, 祖父江正代, 堀井直子, 藤田紀見, 吉田和枝, 廣畑加代子, 酒井幸子, 岡部美幸

がん体験者の語る「がんを生き抜く秘訣」(日本がん看護学会誌 22 (Suppl), 226, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

横内光子, 新貝夫弥子

術前化学療法を受ける乳がん患者の栄養状態の変化 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p151, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

光行多佳子, 安藤詳子, 深谷陽子, 新田都子, 高橋容子, 高木仁美

緩和ケア病棟におけるアセスメントツール「痛み計」の試行 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

渡邊祥子, 安藤詳子, 加藤元美, 水野敏子

在宅連携における緩和ケア病棟の役割 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

安藤詳子, 光行多佳子, 澤井美穂, 國府浩子, 前川厚子

終末期がん患者の退院調整において病棟看護師に求められる実践 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)



第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

井上佳代, 澤井美穂, 安藤詳子, 水野敏子

ホスピス・緩和ケア病棟に勤務する看護師の実践に関する調査 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

澤井美穂, 安藤詳子, 國府浩子, 前川厚子

ホスピス・ケア認定看護師の看護師に対する指導と相談の活動における視点 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

林亜希子, 中村みゆき, 安藤詳子

終末期がん患者の家族ニーズに対するカンファレンスのあり方 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

竹井留美, 前川厚子, 國府浩子, 澤井美穂, 安藤詳子, 他 7 名

がん体験者の語る「がんを生き抜く秘訣」 (日本がん看護学会誌 第 22 巻 特別号 p126, 2008)

第 22 回日本がん看護学会学術集会, 2008.2 (名古屋)

小澤由紀, 藤井徹也, 佐藤好恵, 太田慶一, 林 省吾, 佐伯香織, 浅本 憲, 中野 隆

フィジカルアセスメント教育における解剖学の重要性 (第 7 回学術集会講演抄録集 83: p252)

第 113 回日本解剖学会, 2008.3 (湯布)

佐藤好恵, 藤井徹也, 篠田貢一, 酒井一由, 小澤由紀, 木村 勝, 浅本 憲, 中野 隆

殿部への筋肉内注射の適切な部位の検討—第 6 報「クラークの点」とホッホシュテッターの部位」を比較して— (第 7 回学術集会講演抄録集 83: p171)

第 113 回日本解剖学会, 2008.3 (湯布)

志賀朋美, 平井眞理, 中西苗子

CCU における尿路感染

第 72 回日本循環器学会, 2008.3

神谷裕美, 因田恭也, 吉田直樹, 北村倫也, 北村和久, 嶋野祐之, 山内正樹, 原田修治, 内川智浩, 辻 幸臣, 平井眞理, 室原豊明

ブルガダ様心電図に持続性心室頻拍を呈した一例

第 72 回日本循環器学会, 2008.3

山内正樹, 因田恭也, 鈴木博彦, 吉田直樹, 神谷裕美, 北村倫也, 嶋野祐之, 内川智浩, 北村和久, 室原豊明, 平井眞理, 辻 幸臣

右室伝導遅延部位隔離が有用であった不整脈源性右室心筋症の 1 例

第 72 回日本循環器学会, 2008.3

内川智浩, 因田恭也, 吉田直樹, 鈴木博彦, 神谷裕美, 北村倫也, 山内正樹, 嶋野祐之, 辻 幸臣, 平井眞理, 室原豊明

当院における心臓再同期療法の responder と non-responder の検討

第 72 回日本循環器学会, 2008.3

大園洋美, 岡村美雪, 河路なおみ, 永谷幸子

経験年数別にみた臨床看護師の仕事のストレスについて (第 12 回日本看護研究学会東海地方海)

, 2008.3 (名古屋)



亀井治香, 丹羽智恵子, 加藤結理, 永谷幸子

胎児カウントの実施と分娩時に感じるメリットとの関係 (第12回日本看護研究学会東海地方会)  
, 2008.3 (名古屋)

西田友子, 榊原久孝, 島岡 清, 都竹茂樹, 梶岡多恵子, 上原江美, 釣佳代子, 水谷真美, 吉川 薫, 須藤陽子  
生活習慣病予防を目的とした運動教室の効果とその持続性

第12回日本体力医学会東海地方会, 2008.3 (知多郡阿久比町)

清水三紀子, 立岡弓子, 高橋由紀, 山下 恵, 山口香苗, 八木友美, 山口江利子

初産婦の新しい分娩経過曲線の作成を試みて 遷延分娩症例より (収録集 21: p129)

第22回日本助産学会学術集会, 2008.3 (神戸)

山下 恵, 立岡弓子, 高橋由紀, 山口香苗, 清水三紀子, 八木友美, 山口江利子

初産婦の新しい分娩経過曲線の作成を試みて 前期破水症例より (収録集 21: p128)

第22回日本助産学会学術集会, 2008.3 (神戸)

八木友美, 立岡弓子, 高橋由紀, 山下 恵, 山口香苗, 清水三紀子, 山口江利子

初産婦の新しい分娩経過曲線の作成を試みて 急産症例より (収録集 21: p127)

第22回日本助産学会学術集会, 2008.3 (神戸)

立岡弓子, 山下 恵, 清水三紀子, 八木友美, 山口江利子

初産婦の新しい分娩経過曲線の作成を試みて 自然分娩例より・フリードマン曲線と比較して (収録集 21: p125)

第22回日本助産学会学術集会, 2008.3 (神戸)

山口香苗, 立岡弓子, 高橋由紀, 山下 恵, 清水三紀子, 八木友美, 山口江利子

初産婦の新しい分娩経過曲線の作成を試みて 誘発分娩症例より (収録集 21: p126)

第22回日本助産学会学術集会, 2008.3 (神戸)

内川智浩, 因田恭也, 神谷裕美, 嶋野祐之, 北村和久, 原田修治, 山内正樹, 室原豊明, 平井眞理, 辻 幸臣, 石木良治  
Non-contact mapping system を用いて心室頻拍の緩徐伝導路を同定し得た僧帽弁峡部心室頻拍の1例

第23回日本不整脈学会, 2008.4

立松 康, 吉田幸彦, 金村則良, 橋本踏青, 松本正弥, 山本崇之, 青山 豊, 石川清猛, 小椋康弘, 鈴木博彦, 井上夏夫, 七里 守, 平山治雄, 坪井直哉, 伊藤昭男, 平井眞理, 因田恭也, 室原豊明

透析患者における心房細動に対するカテーテル・アブレーション治療の初期および慢性期成績

第23回日本不整脈学会, 2008.4

吉田幸彦, 青山 豊, 石川清猛, 小椋康弘, 鈴木博彦, 井上夏夫, 立松 康, 七里 守, 平山治雄, 坪井直哉, 伊藤昭男, 岡田太郎, 村上善正, 吉田直樹, 山田 功, 因田恭也, 室原豊明, 平井眞理, 外山淳治

術前基本調律時とCRT開始直後の左室dP/dt maxの絶対値はCRTの長期効果を予測する

第23回日本不整脈学会, 2008.4

鈴木晴子, 堀 容子, 松野飛鳥, 野々垣晶代, 星野純子, 今川良枝, 鈴木洋子

民間施設健康づくり事業の地域保健における役割と課題の検討 (日本循環器病予防学会誌 43 (1): p48)

日本循環器病予防学会, 2008.4 (秋田)

松野飛鳥, 鈴木晴子, 野々垣晶代, 堀 容子, 星野純子, 今川良枝, 鈴木洋子

スーパーマーケットでの健康推進事業活動の意義についての検討 (日本循環器病予防学会誌 43 (1): p49)

日本循環器病予防学会，2008.4 (秋田)

鈴木洋子，堀 容子，星野純子，榊原久孝，近藤高明，長澤伸江  
女性家族介護者の生活習慣病罹患の認知状況による食習慣の特徴 (日本循環器病予防学会誌 43 (1): p50)  
日本循環器病予防学会，2008.4 (秋田)

會田信子，浦野真理，齋藤加代子，千代豪昭，柳 修平，久米美代子，尾岸恵三子，佐伯晴子  
市民との協働作業による遺伝カウンセリング演習を試みて—模擬患者導入の検討  
，2008.5 (仙台)

佐合真紀，浅野みどり，伊藤浩明，二村昌樹，杉浦太一，篠田紳司，松井永子，近藤直美  
食物アレルギー児の母親の食生活管理の現状と負担の関係  
第 25 回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会，2008.5 (天理)

中村佳世，清水三紀子，鈴木和代  
高齢者の性に対する大学生の性意識 (病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程 + 病態関連図 26: )  
第 26 回愛知母性衛生学会，2008.5 (名古屋)

太田勝正  
看護学生の「ヒバク」という言葉のとらえ方とイメージ (第 2 報)  
日本保健物理学会第 42 回研究発表会，2008.6 (沖縄)

SUZUKI Kazuyo, TAKAHASHI Satoi, TAKAHASHI Tsuyako, TOKUDA Junko, IWAMOTO Misako, OGISO  
Miyoko

The Childbirth and the roles of Japanese midwives in 100 years  
International Confederation of Midwives 28th Triennial Congress, 2008.6 (Glasgow)

伊藤尚子  
在日コリアン介護における相互扶助機能—NPO 法人コリアンネット愛知を事例として— (抄録集 p62p1)  
福祉社会学会，2008.6 (東京)

安藤祥子，加藤元美，渡邊祥子，水野敏子，澤井美穂  
ホスピスケア実践の経験から「緩和ケア支援センター」に求める機能 (第 13 回日本緩和医療学会 講演抄録集 p199 ,  
2008)  
第 13 回日本緩和医療学会，2008.7 (静岡)

佐合真紀，浅野みどり  
食物アレルギー反応のある幼児を養育する母親の食生活管理における負担，養育態度，QOL の特徴  
日本小児看護学会第 18 回学術集会，2008.7 (名古屋)

太田由香，浅野みどり  
小児専門病院における療養環境—病棟保育士に焦点を当てて—  
日本小児看護学会第 18 回学術集会，2008.7 (名古屋)

大橋幸美，浅野みどり  
育児期の親性と家族機能 FAI との関連—育敷きの親性尺度 Ver.1 を用いて—  
日本小児看護学会第 18 回学術集会，2008.7 (名古屋)

古澤亜矢子，浅野みどり，大橋幸美，吉田久美子，門間晶子

自閉症の子どもの行動特徴と母親の育児ストレス, QOL, 族機能との関連  
日本小児看護学会第 18 回学術集会, 2008.7 (名古屋)

浅野みどり

予防的育児支援の可能性と課題

日本小児看護学会第 18 回学術集会, 2008.7 (名古屋)

國府浩子, 竹井留美, 永井邦芳, 横内光子

乳がん患者の初期治療に関する意思決定過程の満足感への影響要因 (日本看護研究学会雑誌 31 (3), 321, 2008)

日本看護研究学会, 2008.7 (神戸)

勝田仁美, 内田雅代, 二宮啓子, 宮内 環, 奈良間美保, 鈴木真知子

特別支援学校で医療的ケアを実施する看護師の実態と課題 (4)—養護教諭への質問紙調査より— (抄録集 p 242-243, 2008)

第 18 回日本小児看護学会学術集会, 2008.7 (名古屋)

二宮啓子, 勝田仁美, 宮内 環, 奈良間美保, 内田雅代, 鈴木真知子

特別支援学校で医療的ケアを実施する看護師の実態と課題 (2)—看護師へのグループインタビューより— (講演集 p 170, 2008)

第 18 回日本小児看護学会学術集会, 2008.7 (名古屋)

宮内 環, 二宮啓子, 勝田仁美, 鈴木真知子, 奈良間美保, 内田雅代

特別支援学校で医療的ケアを実施する看護師の実態と課題 (1)—看護師への質問紙調査より— (講演集 p 168, 2008)

第 18 回日本小児看護学会学術集会, 2008.7 (名古屋)

奈良間美保, 勝田仁美, 宮内 環, 内田雅代, 二宮啓子, 鈴木真知子

特別支援学校で医療的ケアを実施する看護師の実態と課題 (3)—一般教諭への質問紙調査より— (講演集 p 167, 2008)

第 18 回日本小児看護学会学術集会, 2008.7 (名古屋)

新實夕香理, 堀 容子

在宅女性主介護者の BMI と介護状況および動脈硬化危険因子との関連に関する検討 (日本看護研究学会雑誌 31: p 312)

日本看護研究学会, 2008.7 (神戸)

山内一史, 太田勝正

アメリカ看護情報学の新戦略

第 9 回医療情報学会看護学術集会, 2008.7 (東京)

原田直子, 榊原久孝

地域在宅高齢者に対する地域交流に関する検討

第 54 回東海公衆衛生学会学術大会, 2008.7 (静岡)

西田友子, 榊原久孝, 島岡 清, 都竹茂樹, 梶岡多恵子, 上原江美, 釣佳代子, 水谷真美, 吉川 薫, 須藤陽子

生活習慣病予防を目的とした運動教室の健康関連 QOL への影響

第 54 回東海公衆衛生学会学術大会, 2008.7 (静岡)

浅野みどり

スペシャルニーズをもつ子どもと家族への予防的育児支援

第 18 回日本外来小児科学会 (招待講演), 2008.8 (名古屋)

河津芳子

看護基礎教育における「音楽」の変遷

第 18 回日本看護学教育学会学術集会, 2008.8 (筑波)

小笠原ゆかり, 小塩泰代, 世古美恵子, 河津芳子

基礎看護技術における口腔ケアの教育内容の現状—基礎看護技術テキストの口腔ケアの記述より—

第 39 回日本看護学会—看護教育, 2008.8 (岐阜)

河津芳子, 小笠原ゆかり, 小塩泰代, 世古美恵子

看護基礎教育における一般教育に関する考察

第 39 回日本看護学会—看護教育, 2008.8 (岐阜)

國府浩子, 竹井留美, 永井邦芳, 横内光子

乳がん患者の初期治療に関する意思決定過程の満足感への影響要因 (日本看護研究学会雑誌 31 (3): 321, 2008)

第 34 回日本看護研究学会学術集会, 2008.8 (神戸)

國府浩子, 竹井留美, 永井邦芳, 横内光子

乳がん患者の初期治療に関する意思決定過程の満足感への影響要因 (講演集 p 321)

第 34 回日本看護研究学会, 2008.8 (神戸)

田淵康子, 國府浩子, 熊谷有記

弾性ストッキング及び間欠的空気圧迫装置の理解度と装着感—手術を受けた高齢患者と壮年期患者の比較— (講演集 p 300)

第 34 回日本看護研究学会, 2008.8 (神戸)

松永侑美, 奈良間美保, 鈴木信子, 鈴木正利

1 歳児を持つ母親の不慮の事故防止に関する支援の現状・満足度・周囲のサポートの特徴

第 18 回日本外来小児科学会年次総会, 2008.8 (名古屋)

新實夕香理, 藤井徹也, 河野由理, 永谷幸子, 河津芳子

基礎看護学実習の展開方法に対する学生の受け止め—週 1 日型と連続型を比較して (講演集 p 145, 2008)

第 18 回日本看護学教育学会学術集会, 2008.8 (つくば)

前田樹海, 増田 綾, 北澤美佐緒, 太田勝正

わが国の助産師養成可能数に関する一考察

第 34 回日本看護研究学会学術集会, 2008.8 (神戸)

太田勝正, 井口弘子, 新實夕香理, 浅沼優子, 山内一史, 中村 恵, 前田樹海, 門井貴子, 藤井徹也, 鈴木千智

入院患者の情報プライバシーに対する認識の全国調査 (第 1 報)

第 34 回日本看護研究学会学術集会, 2008.8 (神戸)

伊藤千晴, 太田勝正

新人看護師が体験する倫理的ジレンマとその対処法について

第 34 回日本看護研究学会学術集会, 2008.8 (神戸)

国府弘子, 竹井留美, 横内光子

乳がん患者の初期治療に関する意思決定過程の満足感への影響要因

日本看護研究学会雑誌, 2008.8

門間晶子, 浅野みどり

自閉症の子どもを育てるシングルマザーの経験

日本家族看護学会第 15 回学術集会, 2008.9 (藤沢)

佐藤好恵, 藤井徹也, 小澤由紀, 中野 隆

中殿筋前方筋腹における筋肉内注射の安全性について

日本看護技術学会, 2008.9 (青森)

藤井徹也, 春田佳代, 佐藤好恵, 小澤由紀, 佐伯香織, 坂上明子, 中野 隆

フィジカルアセスメント能力向上に繋がる解剖セミナーの試み

日本看護技術学会, 2008.9 (青森)

小澤由紀, 藤井徹也, 佐藤好恵, 春田佳代, 佐伯香織, 中野 隆

看護学生のための短期集中型解剖セミナーの開講

日本看護技術学会, 2008.9 (青森)

SUZUKI Yoko, NONOGAKI Akiyo, MARUYAMA Satomi, HOSHINO Junko, AOYAMA Kyoko, **HORI Yoko**

Difference by the eating out /the prepared dishes use situation about consciousness for a meal and the ingestion situation —Basic survey for population approach —

15th International Congress of Dietetics 2008, 2008.9 (Yokohama)

國府浩子, 熊谷有記, 上野知子, 戸畑利香, 西 弘美, 阿部恭子

乳がん患者の初期治療選択に伴う葛藤 (抄録集 p 475)

第 16 回日本乳癌学会, 2008.9 (大阪)

篠崎恵美子, 山内豊明

2007 年度全国看護・看護系大学におけるフィジカルアセスメント教育の現状 (第 10 回日本看護医療学会学術集会 p 60)

第 10 回日本看護医療学会学術集会, 2008.9 (浜松)

山内豊明

Physical 呼吸のフィジカルアセスメント (第 10 回日本看護医療学会学術集会 p 21)

第 10 回日本看護医療学会学術集会, 2008.9 (浜松)

山内豊明

フィジカルアセスメントの考え方 (第 10 回日本看護医療学会学術集会 pp 12-20)

第 10 回日本看護医療学会学術集会, 2008.9 (浜松)

玉置淳子, 伊木雅之, 佐藤裕保, 梶田悦子, 鏡森定信, 香川芳子, 米島秀夫

若年女性, 特に低体重女性の喫煙は低骨量に関連する—JPOS Cohort Study—

第 67 回日本公衆衛生学会, 2008.10 (福岡)

中谷芳美, 梶田悦子, 小松美砂, 玉置淳子, 由良晶子, 伊木雅之

無作為割付比較試験による骨折・骨粗鬆症予防ガイドラインの有効性評価 (抄録集 p 424)

第 67 回日本公衆衛生学会, 2008.10 (福岡)

梶田悦子, 小松美砂, 武内さやか, 前田秀一, 三田村純枝, 阿部喜代子, 森田明美, 伊木雅之

中高年女性の 15 年間の腰椎骨密度変化と身体活動 (抄録集 p 423)

第 67 回日本公衆衛生学会, 2008.10 (福岡)

大森ゆみ子，増田美登里，河野由理，河野美智子  
看護師が仕事と家庭生活や育児を両立するための工夫と利用した支援 (抄録集 p105)  
第 39 回日本看護学会 看護管理 学術集会，2008.10 (熊本)

山内豊明  
急性期のフィジカルアセスメント (第 39 回日本看護学会-成人看護 I-学術集会 患者の力を活かす急性期看護 pp9-11, 2008)  
第 39 回日本看護学会-成人看護 I 学術集会，2008.10 (松山)

平松千晶，安藤詳子，澤井美穂，  
ホスピス緩和ケア病棟看護師の学習動機に関する調査 (第 32 回日本死の臨床研究会 予稿集 p272，2008)  
第 32 回日本死の臨床研究会，2008.10 (札幌)

長谷川素子，安藤詳子，澤井美穂，  
看護学生の死生観に関する学年変化 (第 32 回日本死の臨床研究会 予稿集 p282，2008)  
第 32 回日本死の臨床研究会，2008.10 (札幌)

石原亜紀，安藤詳子，澤井美穂，  
A 大学看護学生の補完・代替療法に関する認知度 (第 32 回日本死の臨床研究会 予稿集 p244，2008)  
第 32 回日本死の臨床研究会，2008.10 (札幌)

吉田直樹，因田恭也，神谷裕美，北村倫也，北村和久，鈴木博彦，山内正樹，内川智浩，辻 幸臣，平井眞理，室原豊明  
Maze 術後に両肺静脈を含めた左房後壁の BOX 内は心房細動，BOX 外では Irregular AT を呈した 1 例  
第 25 回日本心電学会，2008.11

神谷裕美，因田恭也，吉田直樹，内川智浩，山内正樹，北村倫也，北村和久，辻 幸臣，室原豊明，平井眞理  
ブルガダ症候群における QT-RR 関係による日内変動の検討  
第 25 回日本心電学会，2008.11

山内正樹，因田恭也，鈴木博彦，吉田直樹，神谷裕美，北村倫也，北村和久，内川智浩，室原豊明，平井眞理，辻 幸臣  
慢性心房細動患者における心房リモデリングの経時的変化 12 誘導心電図 Fourier transform (FFT) 解析を用いた検討  
第 25 回日本心電学会，2008.11

#### **IKEMATSU Yuko**

Nursing Ethics in Japan  
5th Annual Congress of the World Federation of Critical Care Nurses, 2008.11 (Mexico City, Mexico)

#### **IKEMATSU Yuko**

New Graduates in ICU in Japan  
5th Annual Congress of the World Federation of Critical Care Nurses, 2008.11 (Mexico City, Mexico)

奈良間美保，村上泰子，堀 妙子  
小児在宅ケアの包括的支援に向けたコーディネーター教育プログラムの開発  
第 57 回日本農村医学会学術総会，2008.11 (つくば)

佐藤真也，新實夕香理，太田勝正  
看護師が患者から情報収集する際の患者への利用目的の通知の現状について (第 28 回医療情報学連合大会 プログラム  
ム・抄録集 p104)  
医療情報学会，2008.11 (横浜)

MAEDA Jukai, SOHDE Harumi, MASUDA Aya, KITAZAWA Misao, **OTA Katsumasa**  
Differences in New Graduates Job-Hunting Behavior Between Nurses and Midwives of BScN Program  
International Conference Health and the Changing World in Thailand, 2008.11 (Bangkok, Thailand)

佐藤真也, 太田勝正, 新實夕香理, 井口弘子  
看護師が患者から情報収集する際の患者への利用目的の通知の現状について  
第 28 回医療情報学連合大会, 2008.11 (横浜)

原田直子, 榊原久孝  
地域在住高齢者における主観的健康観に関する検討  
第 67 回日本公衆衛生学会総会, 2008.11 (福岡)

藤井千恵, 榊原久孝  
児童生徒のインスリン抵抗性に関する研究  
第 67 回日本公衆衛生学会総会, 2008.11 (福岡)

西田友子, 榊原久孝, 島岡 清, 都竹茂樹, 梶岡多恵子  
生活習慣病予防のための運動教室の効果—生活の質についての検討—  
第 67 回日本公衆衛生学会総会, 2008.11 (福岡)

西谷直子, 榊原久孝, 秋山 泉  
肥満に関連する職場ストレス  
平成 20 年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2008.11 (津)

糟谷 歩, 榊原久孝  
男性労働者における BMI と睡眠時間との関連について  
平成 20 年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2008.11 (津)

藤丸郁代, 榊原久孝  
販売業男性労働者の抑うつ症状と労働負担との関連  
平成 20 年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2008.11 (津)

志澤美保, 伊藤尚子, 吉田久美子, 梶田悦子  
離乳期と 3 歳児の食行動の関連 (抄録集 55 (10) : p 444, 2008 55: p 444)  
第 67 回日本公衆衛生学会総会, 2008.11 (福岡)

高橋陽子, 横内光子  
子供の不慮の事故に対する保護者の対処行動 (日本救急看護学会雑誌 10 (2) : 184, 2008)  
第 10 回日本救急看護学会学術集会, 2008.11 (名古屋)

伊藤尚子  
在日コリアン高齢者 NPO 介護施設の機能 (抄録集 p 650p 1)  
日本公衆衛生学会, 2008.11 (福岡)

山内豊明  
互尊 (第 62 回国立病院総合医学会 講演抄録集 p 179, 2008)  
第 62 回国立病院総合医学会, 2008.11 (東京)



熊谷有記，堀井直子，國府浩子，安藤詳子，竹井留美，前川厚子  
がん患者と家族の Family APAGR とその関連要因 (講演集 p495)  
第 28 回日本看護科学学会，2008.12 (福岡)

野村雅子，太田勝正，新實夕香理，井口弘子  
ICNP (R) 看護実践国際分類を用いた看護行為の記録の可能性および問題に関する検討  
第 28 回日本看護科学学会学術集会，2008.12 (東京)

太田勝正，井口弘子，新實夕香理，中村 恵，浅沼優子，山内一史，唐澤由美子，前田樹海，門井貴子，鈴木千智，藤井徹也，松田正巳  
全国調査に基づく入院患者のプライバシー認識尺度 PIPS への影響要因の検討  
第 28 回日本看護科学学会学術集会，2008.12 (東京)

#### SAKAKIBARA Hisataka

New Trends in Vibration Control at Work in Japan  
the 3rd JNIOOSH International Workshop for Occupational Safety and Health Promotion (2008) —Preventing  
Strategy for Occupational Vibration Exposure at Work Based on EU Directives, 2008.12 (清瀬)

熊谷有記，堀井直子，國府浩子，安藤詳子，竹井留美，前川厚子  
がん患者と家族の Family APAGR とその関連要因 (講演集 p495, 2008)  
第 28 回日本看護科学学会学術集会，2008.12 (福岡)

平良美栄子，山内豊明  
臨床看護師の病棟別フィジカルアセスメント実践の実態調査 (プログラム p54, 2008)  
第 28 回日本看護科学学会学術集会，2008.12 (福岡)

篠崎恵美子，山内豊明  
臨床の看護実践家の考えるフィジカルアセスメント教育のミニマム・エッセンシャルズ (プログラム p54, 2008)  
第 28 回日本看護科学学会学術集会，2008.12 (福岡)

#### 〔公開講座・講演会〕

會田信子  
江戸時代の翁媪 (おうおう) に学ぶ能老人 (いいおいれ) の生活  
市民公開講座『サクセスフル・エイジング—健康で豊かに年を重ねるために—』，2008.10 (名古屋)

會田信子  
看護学とアンチエイジング  
日本抗加齢医学会専門医・指導士認定委員会主催，指導士用講習会，2008.11 (東京)

會田信子  
シームレスな医療・看護を目指して：心疾患代表  
第 5 回日本循環器看護学会学術集会，2008.10 (青森)

浅野みどり  
見守り訪問養成講座—乳児と暮らす家族と特徴と Oregon Healthy Start Program—  
蒲郡市「見守り訪問養成講座」，2008.7 (蒲郡)

浅野みどり



支援方法 strength based approach  
平成 20 年度看護実務研修会, 2008.12 (名古屋)

浅野みどり

妊娠期から始める予防的育児支援— Oregon Healthy Start Program から学ぶ—  
平成 20 年度豊川保健所地域保健福祉パイオニア育成研修会, 2008.10 (豊川)

堀 容子

笑いと生活習慣病予防  
第 18 回社会福祉協議会 熊之庄支部 福祉のつどい, 2008.11 (北名古屋)

奈良間美保

研修会のねらい—子ども・家族主体の在宅ケアを目指して—  
平成 20 年度第 1 回小児在宅ケアコーディネーター研修会, 2008.6 (名古屋)

太田勝正

臨床における倫理  
豊田地域医療センター講習会, 2008.2 (豊田)

榊原久孝

健康に サクセスフル・エイジング (幸福な老い)  
ライフトピア・シンポジウム「高齢期の生活習慣」, 2008.6 (名古屋)

榊原久孝

身体活動と健康生活  
羽島市チャレンジ・ヘルスアップカレッジ, 2008.8 (羽島)

榊原久孝

メタボリックシンドロームを予防しよう—いつまでもイキイキと元気なあなたで—  
四日市市生活習慣病予防公開講座, 2008.11 (四日市)

榊原久孝

介護予防とサクセスフル・エイジング  
平成 20 年度 名古屋大学医学部保健学科 市民公開講座, 2008.10 (名古屋)

鈴木和代

「いのちのはじまりとつながり—へそのおをたどってみよう—」  
名古屋市科学館だからからだゼミナール, 2008.3 (名古屋)

玉腰浩司

生活習慣病とその予防 (サクセスフル・エイジング—健康で豊かに年を重ねるために—)  
平成 20 年度 名古屋大学医学部保健学科 市民公開講座, 2008.10 (名古屋)

玉腰浩司

性に関する講演会  
, 2008.7 (名古屋)

堀 容子

看護診断を学ぶ

医療法人大雄会病院プライマリー研修会，2008.7～12（一宮市）

堀 容子，新實夕香理，永谷幸子  
基礎から学ぶ看護診断  
愛知県看護協会主催，2008.8（名古屋）

立岡弓子  
看護研究と倫理  
大同病院看護部教育委員会主催，2008.9

立岡弓子  
乳房トラブルの予防・対処法と母乳栄養の理解  
日総研セミナー，2008.11（福岡）

堀 容子，新實夕香理，永谷幸子  
実践に活かせる看護診断  
愛知県看護協会主催，2008.12（名古屋）



放射線技術科学専攻



## 2 放射線技術科学専攻

### 〔著書〕

石樽信人, 佐藤 薫, 栗原 治, 古池裕也, 木村仁宣, 波戸真治, 松本雅紀, 木名瀬栄, 高島房生, 高橋 聖, 伊藤公雄  
第1章 序論

『ICRP 新消化管モデル専門研究会報告書(1) Publ.100 の解説』(石樽信人, 伊藤公雄) 日本保健物理学会, 2008.  
pp 3-5

加藤克彦

第8部 第1章 甲状腺疾患の<sup>131</sup>I治療 第1節 甲状腺機能亢進症の<sup>131</sup>I治療

『核医学技術総論』(日本核医学技術学会編) 山代印刷, 2008, pp 461-463

小寺吉衛

卒後教育のありかた

『診療放射線技師プロフェッショナルガイド』(東村享治編) 文光堂, 2008. pp 24-31

小山修司

診療放射線技師が働く職場 研究所・教育機関での仕事

『診療放射線技師プロフェッショナルガイド』(東村享治編著) 文光堂, 2008. pp 132-137

### 〔原著論文〕

SEGUCHI Shigenobu, AOYAMA Takahiko, KOYAMA Shuji, KAWAURA Chiyo and FUJII Keisuke

Evaluation of exposure dose to patients undergoing catheter ablation procedures - a phantom study

Eur Radiol 18: 2559-2567, 2008

松岡祐樹, 西本卓矢, 森 政樹, 米田和夫, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代, 藤井啓輔

FPD搭載型血管撮影装置による頭部血管撮影検査の患者被ばく線量評価

日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 45, 2008

ISHIGAKI Satoko, ITOH Shinji, SUZUKI Kojiro, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo

Three-dimensional CT angiography of the pancreatic artery in 16-channel multislice CT: value of scanning with submillimetre collimation

Br J Radiol 81: 99-106, 2008

IWANO Shingo, NAKAMURA Tatsuya, KAMIOKA Yuko, IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo

Computer-aided differentiation of malignant from benign solitary pulmonary nodules imaged by high-resolution CT

Comput Med Imaging Graph 32: 416-422, 2008

MORITA Junya, MIWA Kazuhisa, KITASAKA Takayuki, MORI Kensaku, SUENAGA Yasuhito, IWANO Shingo, IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo

Interactions of perceptual and conceptual processing: Expertise in medical image diagnosis

Int J Human-Comp Stud 66: 370-390, 2008

KOMADA Tomohiro, NAGANAWA Shinji, OGAWA Hiroshi, MATSUSHIMA Masaya, KUBOTA Seiji, KAWAI Hisashi, FUKATSU Hiroshi, IKEDA Mitsuru, KAWAMURA Minako, SAKURAI Yasuo, MARUYAMA Katsuya

Contrast-enhanced MR imaging of metastatic brain tumor at 3 tesla: utility of T (1)-weighted SPACE compared

with 2D spin echo and 3D gradient echo sequence  
Magn Reson Med Sci 7: 13-21, 2008

藤原淳代, 池田 充, 今井國治, 人見理香, 松本麻衣子  
ウェーブレット解析に基づく FPD 画像の雑音除去法に関する考察  
第 27 回日本医用画像工学会大会抄録集, 2008

**IMAI Kuniharu**, **IKEDA Mitsuru**, ENCHI Yukihiro, NIIMI Takanaga  
Fractal-feature distance as a substitute for observer performance index in contrast-detail examination  
Eur J Radiol 67: 541-545, 2008

**IMAI Kuniharu**, **IKEDA Mitsuru**, ENCHI Yukihiro, NIIMI Takanaga  
Quantitative assessment of the influence of anatomic noise on the detection of subtle lung nodule in digital chest radiography using fractal-feature distance  
Eur J Radiol 68: 353-357, 2008

石山貴規, 今井國治, 池田 充, 遠地志太  
フラットパネル搭載型透視装置における透視画像のチラツキ評価  
第 27 回日本医用画像工学会大会抄録集, 2008

OGAWA Hiroshi, **ITOH Shigeki**, **IKEDA Mitsuru**, SUZUKI Kojiro, NAGANAWA Shinji  
Intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: assessment of the likelihood of invasiveness with multisection CT  
Radiology 248: 876-886, 2008

TACHI Yasushi, IWANO Shingo, **KATO Katsuhiko**, TADOKORO Masanori, NAGANAWA Shinji  
Diagnostic whole-body scanning before radioiodine therapy for pulmonary metastases of differentiated thyroid cancer: predictive value and recommendations  
Clin Nucl Med. 33: 845-851, 2008

KATO Wataru, USUI Akihiko, OSHIMA Hideki, SUZUKI Chikage, **KATO Katsuhiko**, UEDA Yuichi  
Primary aortic intimal sarcoma  
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 56: 236-238, 2008

KAWAI Yoshinari, SUENAGA Masaki, WATABABE Hirohisa, ITO Mizuki, **KATO Katsuhiko**, KATO Takashi, ITO Kengo, TANAKA Fumiaki, SOBUE Gen  
Prefrontal hypoperfusion and cognitive dysfunction correlates in spinocerebellar ataxia type 6  
J Neurol Sci 271: 68-74, 2008

KAWAI Yoshinari, SUENAGA Masaki, TAKEDA Akinori, ITO Mizuki, WATANABE Hirohisa, **KATO Katsuhiko**, FUKATSU Hiroshi, NAGANAWA Shinji, KATO Takashi, ITO Kengo, SOBUE Gen  
Cognitive impairments in multiple system atrophy: MSA-C vs MSA-P  
Neurology 70: 1390-1396, 2008

加藤克彦, 細野 眞, 伊藤健吾, 岡田真広, 米谷吉宏, 任 誠雲, 土屋典生, 鳥塚莞爾  
骨軟部腫瘍の診断における FDG-PET 検査の臨床的有用性—多施設アンケート調査による検討—  
Radioisotope 57: 13-23, 2008

**YAMAUCHI-KAWAURA Chiyo**, WATANABE Hitomi, NISHIMAKI Anna, MARUYAMA Haruhiko, YOSHIDA

Ayako , OHTA Nobuo

Goblet cell hyperplasia elicited by infection with an intestinal nematode ,*Strongyloides venezuelensis* , is not protective against goblet cell-sensitive *Nippostrongylus brasiliensis* in mice

Nagoya Med J 49: 119-129 , 2008

ICHIKAWA Katsuhiko , HASEGAWA Mikio , KIMURA Naohiro , KAWASHIMA Hiroko , **KODERA Yoshie**

A new resolution enhancement technology using the independent sub-pixel driving for the medical liquid crystal displays

Journal of Display Technology 4: 377-382 , 2008

YAMAZAKI Asumi , ICHIKAWA Katsuhiko , **KODERA Yoshie**

Investigation of physical image characteristics and phenomenon of edge enhancement by phase contrast using equipment typical for mammography

Med Phys 35: 5134-5150 , 2008

FUJITA Naotoshi , ICHIKAWA Katsuhiko , HARA Takanori , **KODERA Yoshie**

Comparison of MTFs in X-ray CT images between measured by current method and considered linearity in low contrast

Proc Soc Photo Opt Instrum Eng 6913: 69133O-1-69133O-8 , 2008

ICHIKAWA Katsuhiko , NISHI Yoshikazu , HAYASHI Shigeo , HASEGAWA Mikio , **KODERA Yoshie**

Noise Reduction Effect in Super-high Resolution LCDs using Independent Sub-pixel Driving Technology

Proc Soc Photo Opt Instrum Eng 6917: 69171F-1-69171F-8 , 2008

小田 敏弘 , 中島 博 , 安倍 治彦 , 小山 修司 , 掛田 伸吾 , 興 昭 征 典

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に対する診断 X 線の影響とその対策

日本放射線技術学会雑誌 64: 805-813 , 2008

岡野 恒一 , 松尾 綾江 , 後藤 賢一 , 横井 みどり , 蛭川 亜紀子 , 奥村 信次 , 小山 修司

歯科領域に於ける実効線量評価コーンビーム CT の唾液腺線量

日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 39 , 2008

森下 祐樹 , 小山 修司 , 内藤 宗孝 , 後藤 賢一 , 奥村 信次

Au グレインによる舌癌治療でのインプラントによる散乱線の検討

日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 56 , 2008

金田 達也 , 橋本 昌幸 , 松原 孝祐 , 越田 吉郎 , 小山 修司

OSL を利用した CT 線量計の評価と応用 OSL を利用した CT 線量計の評価と応用

日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 66 , 2008

岡野 恒一 , 松尾 綾江 , 後藤 賢一 , 横井 みどり , 蛭川 亜紀子 , 奥村 信次 , 小山 修司

歯科領域に於ける被曝線量評価-パノラマ装置による顎関節撮影-

日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 70 , 2008

緒方 良至 , 石 樽 信人 , 望月 真吾 , 伊藤 健吾 , 旗野 健太郎 , 阿部 潤一郎 , 宮原 洋

PET サイクロトロン設置室内外の中性子束

日本放射線安全管理学会誌 7: 35-40 , 2008

〔 総説 ・ 解説 ・ その他 〕



石樽信人

放射線防護に用いられる線量計測量

放影協ニュース 54: 7-9, 2008

末永正機, 川合圭成, 加賀友継, 千田 譲, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 渡邊宏久, 祖父江元, 加藤克彦, 長縄慎二  
筋萎縮性側索硬化症 (ALS) における認知機能障害と脳血流障害の特徴  
臨床神経学 1077, 2008

小寺吉衛

合理的なモニタ配置を考える 臨床的, 経営的な視点からの高精細モニタ配列を中心に  
新医療 405: 115-118, 2008

小山修司

X 線 CT の被曝

総合臨床 57: 766-768, 2008

小山修司

胸部 CT の被ばく線量-CT の線量特性と被ばく線量-

日本放射線技術学会東京部会雑誌 50-52, 2008

森千鶴夫, 緒方良至, 佐久間洋一

ガイ斯拉ー管とイメージングプレートを利用した簡易 X 線透過像撮影

Isotope News 25-30, 2008

森千鶴夫, 緒方良至, 佐久間洋一

ガイ斯拉ー管放電によるオーロラの模擬

Isotope News 29-34, 2008

津坂昌利

ネットワーク対応型 3D 画像処理サーバの動向

INNERVISION 23: 30-33, 2008

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (149) USB メモリに感染するコンピュータウイルス

臨床放射線 53: 1047-1051, 2008

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (150) 無線 LAN セキュリティ強化の必要性

臨床放射線 53: 1157-1159, 2008

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (151) UMPC (Ultra Mobile PC) の選択

臨床放射線 53: 1271-1274, 2008

武藤晃一, 江本 豊, 高橋正樹, 津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (152) オープンソースな DICOM サーバの使い方 (1)

臨床放射線 53: 1769-1775, 2008

武藤晃一，江本 豊，高橋正樹，津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，嶋 芳成，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (153) オープンソースな DICOM サーバの使い方 (2)  
臨床放射線 53: 1868-1878, 2008

嶋 芳成，長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (142) 病歴データの長期保存 クリニカル・データ・リポジトリ (1) 電子カルテの問題点  
臨床放射線 53: 254-256, 2008

嶋 芳成，長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (143) 病歴データの長期保存 クリニカル・データ・リポジトリ (2)  
臨床放射線 53: 370-373, 2008

嶋 芳成，長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (144) 病歴データの長期保存 クリニカル・データ・リポジトリ (3)  
臨床放射線 53: 488-494, 2008

長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，江本 豊，嶋 芳成，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (145) 緊急地震速報システム導入  
臨床放射線 53: 601-605, 2008

長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，江本 豊，嶋 芳成，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (146) E-Learning・自己学習用システムの開発  
臨床放射線 53: 715-718, 2008

江本 豊，武藤晃一，長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，嶋 芳成，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (147) CyberRad 2008 印象記  
臨床放射線 53: 835-839, 2008

長嶋宏和，高橋正樹，津坂昌利，市橋卓司，江本 豊，嶋 芳成，辻村善樹，古賀佑彦  
インターネット入門 (148) Introp Tokyo 2008 (ネットワーク機器展示会)  
臨床放射線 53: 943-946, 2008

〔その他の印刷物等〕

本間光彦  
第 27 回人体解剖トレーニングセミナーに参加して  
第 27 回人体解剖トレーニングセミナー (2007 年) 報告書 49, 2008

石樽信人  
石樽第 2 専門委員会委員の報告  
ICRP 調査・研究連絡会 平成 19 年度報告書放射線影響協会 89-109, 2008

〔学会発表〕

加藤克彦，阿部真治，中野 智，西野正成，二橋尚志，岩野信吾，山崎雅弘，松尾啓司，長縄慎二，伊藤信嗣，平澤直樹，伊藤茂樹，池田 充  
脾腫瘍の 18F-FDG PET/CT: 脾癌と脾炎の鑑別は可能か  
日本核医学会第 66 回中部地方会, 2008.2 (名古屋)

ICHIKAWA Katsuhiko , NISHI Yoshikazu , HAYASHI Shigeo , HASEGAWA Mikio , **KODERA Yoshie**  
Comparison of MTFs in X-ray CT images between measured by current method and considered linearity in low contrast (Proceedings of SPIE 2008: Medical Imaging 6917 , pp 69171F-1-69171F-8 , 2008 , CD-ROM)  
SPIE Medical Imaging 2008 , 2008.2 (San Diego , CA , USA)

YAMAZAKI Asumi , ICHIKAWA Katsuhiko , **KODERA Yoshie**  
Noise Reduction Effect in Super-high Resolution LCDs using Independent Sub-pixel Driving Technology (Proceedings of SPIE 2008: Medical Imaging 6913 , pp 69133O-1-69133O-8 , CD-ROM)  
SPIE Medical Imaging 2008 , 2008.2 (San Diego , CA , USA)

青山隆彦 , 小山修司 , 川浦稚代  
人体等価ファントムに埋め込んだフォトダイオードによる X 線医学検査時の患者被ばく線量計測 (要旨論文集 pp 13-14)  
研究会「放射線検出器とその応用」(第 22 回) , 2008.2 (つくば)

WATANABE Youhei , **TSUZAKA Masatoshi** , ISHIBASHI Kazuto , SAKURAI Yasuo  
Evaluation of the partial flip angle spin echo method to improve non-uniformity in T1-weighted imaging with the 3-tesla MRI.  
Proc. SPIE , 2008.2 (San Diego)

今井國治 , 池田 充 , 遠地志太 , 新美孝永  
フラクタル解析を用いた画質評価における複雑度の意味 (抄録集)  
電子情報通信学会 , 2008.3 (北九州)

KAWASE Setsuko , **KATO Katsuhiko** , ITO Shinji , SAWAKI Akiko , TADOKORO Masanori , MAKINO Naoki , NAGANAWA Shinji.  
F-18 FDG-PET of the thyroid glands: Comparison with ultrasound findings  
European Congress of Radiology 2008 , 2008.3 (Vienna , Austria)

佐久間洋一 , 緒方良至 , 秋山陽一 , 上松和義 , 太田雅壽 , 小林和容  
化学形弁別トリチウムモニター 2  
第 6 回同位体科学研究会 , 2008.3 (名古屋)

YOSHIMURA Kumiko , **SHIMAMOTO Kazuhiro** , NAGANAWA Shinji , Katsuhiko ICHIKAWA  
Soft-copy reading of brain CT: Comparative performance study between high-grade and low-grade LCD in the electronic medical charts  
ECR2008 , 19th European Congress of Radiology , 2008.3 (オーストリア)

**IKEDA Mitsuru** , HITOMI Rika , **IMAI Kuniharu** , MATSUMOTO Maiko , FUJIWARA Atsuyo , WADA Shinichi  
Image noise reduction based on wavelet transform maxima for CT image  
European Congress of Radiology 2008 , 2008.3 (Vienna , Austria)

OGAWA Hiroshi , **ITOH Shigeki** , **IKEDA Mitsuru** , SUZUKI Kojiro , NAGANAWA Shinji  
Intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: Assessment of the grade of dysplasia using multislice CT  
European Congress of Radiology 2008 , 2008.3 (Vienna , Austria)

MATSUSHIMA Masaya , NAGANAWA Shinji , OGAWA Hiroshi , KOMADA Tomohiro , ISHIGAKI Satoko , KAWAI Hisashi , SUZUKI Kojiro , SATAKE Hiroko , **ITOH Shigeki** , **IKEDA Mitsuru**  
Diagnostic value of SPIO-mediated breath-hold black blood fluid attenuated inversion recovery (BH-BB-FLAIR) imaging in patients with hepatocellular carcinomas

European Congress of Radiology 2008, 2008.3 (Vienna, Austria)

西本卓也, 森 政樹, 松岡 樹, 堤 貴紀, 植村武司, 阿知波正剛, 近藤 悟, 米田和夫, 今井國治, 池田 充  
FPD 搭載コーンビーム CT における頭蓋内の画質評価—画像ノイズ・アーチファクトの定量評価— (抄録集)  
日本放射線技術学会, 2008.4 (横浜)

藤田尚利, 市川勝弘, 原 孝則, 小寺吉衛  
非線形性に伴う CT 画像の空間分解能変化の検証 (予稿集 pp 236-237, 2008)  
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

布施明日香, 小寺吉衛, 山崎明日美, 藤田尚利  
デジタルマンモグラフィにおける最適管電圧の検討 (予稿集 p 112, 2008)  
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

藤田尚利, 西村裕子, 山崎明日美, 市川勝弘, 小寺吉衛  
デジタルマンモグラフィ画像の液晶ディスプレイにおける粒状性評価 (予稿集 p 116, 2008)  
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

岡野恒一, 松尾綾江, 後藤賢一, 嘩井みどり, 蛭川亜紀子, 奥村信次, 小山修司  
歯科領域に於ける被曝線量評価—パノラマ装置による顎関節撮影— (予稿集 p 213)  
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

森下祐樹, 小山修司, 内藤宗孝, 後藤賢一, 奥村信次  
Au グレインによる舌癌治療でのインプラントによる散乱線の検討 (予稿集 p 103)  
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

金田達也, 橋本昌幸, 松原孝祐, 越田吉郎, 小山修司  
OSL を利用した CT 線量計の評価と応用 OSL を利用した CT 線量計の評価と応用 (予稿集 p 211)  
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

吉村公美子, 島本佳寿広, 長縄慎二, 市川勝弘  
汎用液晶モニタの画像診断の信頼性の検討 —頭部 CT 画像によるカラー高精細モニタとの比較  
第 64 回日本放射線技術学会総合学術大会, 2008.4 (横浜)

西尾明子, 佐竹弘子, 石垣聡子, 川村麻里子, 長縄慎二, 島本佳寿広, 小田高二, 今井常夫, 荒井 修, 三竹 毅  
MRI を用いた乳腺 RVS の臨床使用試験 (抄録集 p 299)  
第 67 回日本医学放射線学会総会, 2008.4 (横浜)

島本佳寿広  
液晶モニタの基礎知識 (抄録集 p 412)  
第 67 回日本医学放射線学会総会, 2008.4 (横浜)

佐竹弘子, 西尾明子, 石垣聡子, 川村麻里子, 長縄慎二, 島本佳寿広, 小田高二, 今井常夫, 長坂徹郎  
乳房温存術の適応となった非触知石灰化乳癌の画像診断 (抄録集 p 106)  
第 67 回日本医学放射線学会総会, 2008.4 (横浜)

佐々木浩二, 青山裕一, 三宅良和, 米田和夫, 下郷智弘  
手術室内での IORT を目的とした電子線治療装置からの散乱線量の検討  
第 64 回日本放射線技術学会学術大会, 2008.4 (横浜)

山内 (川浦) 稚代, 丸山治彦

ヴェネズエラ糞線虫の運動能力変化を支配する栄養成分の追究 (抄録集 p 76)

第 77 回日本寄生虫学会大会, 2008.4 (長崎)

荒良木宏之, 福山篤司, 福山浩一

fast FLAIR 画像における Arterial hyper intensity に関する研究

日本放射線技術学会第 64 回総会学術大会, 2008.4 (横浜)

荒良木宏之, 福山篤司, 福山浩一

fast FLAIR 画像における Arterial hyper intensity に関する研究 (予稿集 p 136)

第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

永谷幸裕, 新田哲久, 高櫻竜太郎, 大谷秀司, 村上陽子, 池田 充, 田中豊彦, 北原 均, 高橋雅士, 村田喜代史

胸部 CT でのすりガラス陰影の単純 X 線での描出能: フラットパネルとフィルムスクリーン系の比較

第 67 回日本医学放射線学会総会, 2008.4 (横浜)

永谷幸裕, 新田哲久, 高櫻竜太郎, 大谷秀司, 村上陽子, 池田 充, 高橋雅士, 村田喜代史, 津田川勝

下肢静脈血栓探索プログラムの開発と初期検討

第 67 回日本医学放射線学会総会, 2008.4 (横浜)

杉浦有紀, 阿部真治, 中野 智, 櫻木庸博, 西野正成, 成田憲彦

階段状ファントムを用いた LEHR コリメータと LMEGP コリメータの低エネルギー各種に対する比較検討 (予稿集 p 149)

日本放射線技術学会, 2008.4 (横浜)

櫻木庸博, 阿部真治, 中野 智, 杉浦有紀, 西野正成, 成田憲彦

限定領域逆投影法を用いた SPECT 再構成法の基礎的検討 (予稿集 p 148)

日本放射線技術学会, 2008.4 (横浜)

渡辺洋平, 藤井正純, 津坂昌利, 簗 道子, 原ゆかり, 小原陽子, 吉田 純

脳外科術中用 MRI におけるシステム及び人為的に生じるナビゲーション誤差の検証

第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2008.4 (横浜)

立石敏樹, 赤木信裕, 高橋克彦, 小笠原桜子, 行方正紀, 木村雅寛, 津坂昌利

IPv4 と IPv6 網における 3 次元地域医療ネットワークシステムの検証

日本放射線技術学会総会学術大会 (第 64 回), 2008.4 (横浜)

木田浩介, 大岩成明, 若田鋭樹, 渡邊健二, 内田守彦, 山添 智, 津坂昌利

医療用加速器による植え込み型心臓ペースメーカーへの影響

日本放射線技術学会総会学術大会 (第 64 回), 2008.4 (横浜)

渡辺洋平, 藤井正純, 津坂昌利, 簗 道子, 原ゆかり, 小原陽子, 吉田 純

低磁場脳外科術中用 MRI における T2\*WI を用いた術後超急性期微小出血および血腫の描出

日本放射線技術学会総会学術大会 (第 64 回), 2008.4 (横浜)

簗 道子, 津坂昌利, 木村美由紀, 橋本憲幸, 平野 充

医療用および電子カルテ表示用液晶モニタのキャリブレーションシステムの検討

日本放射線技術学会総会学術大会 (第 64 回), 2008.4 (横浜)

藤井啓輔, 青山隆彦, 川浦稚代, 小山修司  
64 列 X 線 CT 装置を用いた成人及び小児 CT 検査における被ばく線量評価 (報文集 pp 240-241)  
第 95 回日本医学物理学会学術大会, 2008.4 (横浜)

阿部真治, 中野 智, 杉浦有紀, 櫻木庸博, 西野正成, 成田憲彦  
コリメータ開口径補正を用いた SPECT 画像の局所集積に関する基礎的検討 (予稿集 p304)  
日本放射線技術学会, 2008.4 (横浜)

**KATO Katsuhiko**, **SCHOBER Otmar**, **IKEDA Mitsuru**, **SCHÄFERS Michael**, **ISHIGAKI Takeo**, **NAGANAWA Shinji**, **STEGGER Lars**  
Evaluation and Comparison of 11C-Choline and 18F-FDG Uptake and Calcification in Aortic and Common Carotid Arterial Walls with Combined PET/CT  
14th Workshop of the Japanese-German Radiological Affiliation, 2008.5 (Dresden, Germany)

今西康裕, 藤田尚利, 小坂祐紀, 竹内 誠, 小寺吉衛  
拡大・縮小画像の液晶ディスプレイ (LCD) 表示時の画質特性の検討  
第 151 回日本医用画像情報学会平成 20 年度年次大会, 2008.5 (岐阜)

藤田尚利, 山崎明日美, 市川勝弘, 小寺吉衛  
高解像度デジタルカメラを用いた screen-film 系の MTF 算出法  
第 151 回日本医用画像情報学会平成 20 年度年次大会, 2008.5 (岐阜)

加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛  
位相コントラストマンモグラフィ (PCM) における SN 比の検討  
第 151 回日本医用画像情報学会平成 20 年度年次大会, 2008.5 (岐阜)

**KATO Katsuhiko**, **SCHOBER Otmar**, **IKEDA Mitsuru**, **SCHÄFERS Michael**, **ISHIGAKI Takeo**, **NAGANAWA Shinji**  
Evaluation and Comparison of 11C-Choline and 18F-FDG Uptake and Calcification in Aortic and Common Carotid Arterial Walls with Combined PET/CT  
14th Workshop of the Japanese-German Radiological Affiliation, 2008.5 (Dresden, Germany)

石樽信人, 池田真理  
創傷汚染 RI の体内動態が静脈注入モデルによって近似できる条件 (講演要旨集 p 112)  
第 42 回日本保健物理学会研究発表会, 2008.6 (宜野湾)

宮本真衣, 石樽信人, 緒方良至, 成田憲彦, 仲野高志  
ホールボディカウンタ校正に用いる密封シート線源の作成 (講演要旨集 p 137)  
第 42 回日本保健物理学会研究発表会, 2008.6 (宜野湾)

**KATO Katsuhiko**, **SATAKE Hiroko**, **ODAGAWA Tetsuro**, **Mitsuru IKEDA Mitsuru**, **NAGANAWA Shinji**  
Evaluation of SPECT for sentinel lymph nodes of breast carcinoma fused with 3-dimensional CT  
Society of Nuclear Medicine 55nd Annual Meeting, 2008.6 (New Orleans, USA)

FUJITA Naotoshi, NISHIMURA Yuko, YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiro, **KODERA Yoshie**  
Noise evaluation of medical liquid crystal display for digital mammography including x-ray quantum mottle  
23rd CARS 2008 International Congress and Exhibition, 2008.6 (Barcelona, Spain)

KATO Katsuhiko, SATAKE Hiroko, ODAGAWA Tetsuro, IKEDA Mitsuru, NAGANAWA Shinji  
Evaluation of SPECT for sentinel lymph nodes of breast carcinoma fused with 3-dimensional CT  
The 55th Annual Meeting of the Society of Nuclear Medicine, 2008.6 (New Orleans, LA)

藤井啓輔, 青山隆彦, 山内 (川浦) 稚代, 小山修司  
64 列 X 線 CT 装置を用いた成人, 小児 CT 検査における患者被ばく線量評価—4,16 列 CT 装置との比較— (講演要旨集 p38)  
日本保健物理学会第 42 回研究発表会, 2008.6 (宜野湾)

瀬口繁信, 藤井啓輔, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代  
経皮的カテーテル電気焼灼術における被ばく線量評価—冠動脈インターベンション術との比較— (講演要旨集 p37)  
日本保健物理学会第 42 回研究発表会, 2008.6 (宜野湾)

山内 (川浦) 稚代, 藤井啓輔, 山内雅人, 青山隆彦, 小山修司  
急性期脳卒中診断時 CT 検査における患者被ばく線量の評価 (抄録集 p36)  
日本保健物理学会第 42 回研究発表会, 2008.6 (沖縄)

佐久間洋一, 緒方良至, 秋山陽一, 上松和義, 太田雅壽, 小林和容  
トリチウムモニター 3 (要旨集 p88)  
第 42 回日本保健物理学会, 2008.6 (宜野湾)

岩野信吾, 二橋尚志, 長縄慎二, 加藤克彦  
分化型甲状腺癌の残存病巣における I-123 全身シンチグラフィと I-131 シンチグラフィの比較  
日本核医学会第 67 回中部地方会, 2008.7 (福井)

安藤嘉朗, 加藤克彦, 二橋尚志, 岩野信吾, 古池 亘, 太田尚寿, 河合雄一, 平野真希, 櫻井悠介, 駒田智大, 長縄慎二  
F-18 FDG PET/CT でびまん性集積亢進が見られた多発性骨髄腫の 1 例  
日本核医学会第 67 回中部地方会, 2008.7 (福井)

石原俊一, 伊藤淳二, 久保田誠司, 平澤直樹, 伊藤善之, 長縄慎二, 池田 充  
放射線治療を施行した転移性脳腫瘍の予後因子  
第 144 回日本医学放射線学会中部地方会, 2008.7 (福井)

渡辺洋平, 藤井 正純, 津坂昌利, 木村美由紀, 松本敏夫, 吉田 純  
画像誘導手術における QA (Quality Assurance) の有用性 (抄録集 p20, (2008))  
第 8 回日本脳神経外科術中画像研究会, 2008.7 (大阪)

藤原淳代, 池田 充, 今井國治, 人見理香, 松本麻衣子  
ウェーブレット解析に基づく FPD 画像の雑音除去法に関する考察 (抄録集)  
日本医用画像工学会, 2008.8 (東京)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市  
Gleitbuschel 沿面放電下における微小空隙内の残留電荷分布 (抄録集)  
電気学会, 2008.8 (千葉)

石山貴規, 今井國治, 池田 充, 遠地志太  
フラットパネル搭載型透視装置における透視画像のチラツキ評価 (抄録集)  
日本医用画像工学会, 2008.8 (東京)



中川拓哉, 小山修司

臓器線量測定時における線量計配置の EGS5 による最適化 (アブストラクト集 p18)

第 15 回 EGS 研究会, 2008.8 (つくば)

江本裕樹, 小山修司

頭部血管造影検査における患者被曝線量の解析 (アブストラクト集 p17)

第 15 回 EGS 研究会, 2008.8 (つくば)

川浪亮太, 下郷智弘, 捫垣智博, 安井啓祐, 羽原幸作, 小幡康範

2 種類の治療用フィルムを用いて取得した PDD と EGS5 による計算結果との比較 (Proceedings pp 76-80 2008)

第 15 回 EGS 研究会, 2008.8 (筑波)

安井啓祐, 下郷智弘, 川浪亮太, 羽原幸作, 大島隆嗣, 柴田洋希, 小幡康範

体内金属が放射線治療計画装置 XiO の線量計算精度に与える影響とそれに対する検討 (Proceedings pp 61-66 2008)

第 15 回 EGS 研究会, 2008.8 (筑波)

大島隆嗣, 青山裕一, 下郷智弘, 柴田洋希, 川浪亮太, 羽原幸作, 安井啓祐, 小幡康範, 田伏勝義

乳癌の術中電子線照射における正常組織への線量低減に用いるプレートの改良 (Proceedings pp 67-75 2008)

第 15 回 EGS 研究会, 2008.8 (筑波)

藤原敦代, 池田 充, 今井國治, 人見理香, 松本麻衣子

ウェーブレット解析に基づいた FPD 画像の画像処理法に関する検討

第 27 回日本医用画像工学会大会, 2008.8 (東京)

石山貴規, 今井國治, 池田 充

フラットパネル搭載型透視装置における透視像のチラツキ評価

第 27 回日本医用画像工学会大会, 2008.8 (東京)

新美孝永, 杉本美津夫, 七里 守, 前田尚利, 今井國治, 池田 充, 遠地志太

2次元流体方程式を用いた局所心機能解析の臨床的有用性

第 27 回日本医用画像工学会大会, 2008.8 (東京)

石山貴規, 西村憲治, 永井宏樹, 今井國治, 池田 充

X線デジタル画像のカオス性に基づく画質評価法の考案 (抄録集)

日本生体医工学会, 2008.9 (名古屋)

河村真吾, 伊藤 彰, 今井國治, 池田 充

改良型アーチファクト定量評価法及びアーチファクトを含まない画像ノイズ評価法の考案 (抄録集)

日本生体医工学会, 2008.9 (名古屋)

KATO Yuri, FUJITA Naotoshi, **KODERA Yoshie**

Study of signal-to-noise ratio in digital mammography

5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, 2008.9 (Jeju, Korea)

FUJITA Naotoshi, YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**

A simple method for measuring the Wiener spectrum of screen-film system using a high-resolution digital camera

5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, 2008.9 (Jeju, Korea)

NAKAGAWA Takuya, **KOYAMA Shuji**



Optimization of installation of dosimeters in measuring organ dose in anthropomorphic phantom (Proceedings p211)  
5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, 2008.9 (Jeju, KOREA)

佐竹弘子, 西尾明子, 石垣聡子, 川村麻里子, 島本佳寿広, 川井 恒, 長縄慎二, 小田高二, 今井常夫  
乳腺領域における 3TMRI の現状と展望  
第 16 回乳癌学会学術総会, 2008.9 (大阪)

西尾明子, 佐竹弘子, 石垣聡子, 川村麻里子, 長縄慎二, 島本佳寿広, 小田高二, 今井常夫  
乳腺 RVS (real-time virtual sonography): 3T MRI と US の比較  
第 16 回乳癌学会学術総会, 2008.9 (大阪)

秋山陽一, 上松和義, 佐久間洋一, 緒方良至, 小林和容, 太田雅壽  
化学形弁別トリチウムモニターの開発 (予稿集 No.1, p112)  
第 69 回応用物理学会, 2008.9 (春日井市)

緒方良至, 石樽信人, 望月真吾, 伊藤健吾, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 榎本和義, 中村 一, 松村 宏, 伊藤由磨  
ピスの放射能分析による PET サイクロトロン室内中性子束の推定 (予稿集 No.1, p124)  
第 69 回応用物理学会, 2008.9 (春日井市)

佐久間洋一, 緒方良至  
液シンカウンターによる環境水中トリチウム濃度測定 of 簡素化 (要旨集 p31)  
2009 年日本放射化学会, 2008.9 (広島)

緒方良至, 石樽信人, 望月真吾, 伊藤健吾, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 榎本和義, 中村 一, 松村 宏, 伊藤由磨  
ピスの線分析を用いたサイクロトロン室内中性子束推定 (要旨集 p108)  
2009 年日本放射化学会, 2008.9 (広島)

**KATO Katsuhiko**, **NIHASHI Takashi**, **IKEDA Mitsuru**, **ITO Shigeki**, **ISHIGAKI Takeo**, **NAGANAWA Shinji**  
Is the differential diagnosis between pancreatic cancer and mass-forming pancreatitis possible?  
Annual congress of the European Association of Nuclear Medicine 2008, 2008.10 (Munich, Germany)

加藤克彦, 二橋尚志, 伊藤信嗣, 阿部真治, 西野正成, 岩野信吾, 伊藤茂樹, 池田 充, 長縄慎二  
膵腫瘍の F-18 FDG PET/CT: 膵癌と膵炎の鑑別は可能か  
第 48 回日本核医学会学術総会, 2008.10 (千葉)

岩野信吾, 加藤克彦, 二橋尚志, 長縄慎二  
分化型甲状腺癌の残存病巣検出における I-123 全身シンチの診断能  
第 48 回日本核医学会学術総会, 2008.10 (千葉)

澤田昌樹, 柴田真一, 安江 敬, 榎原章浩, 河野通浩, 横田憲二, 松本高明, 富田 靖, 加藤克彦, 長坂徹郎  
名古屋大学皮膚科で施行した悪性黒色腫患者に対するセンチネルリンパ節生検の検証  
第 59 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2008.10 (名古屋)

**KODERA Yoshie**, **FUJITA Naotoshi**, **YAMAZAKI Asumi**, **ICHIKAWA Katsuhiro**  
Proposal of a simple method to evaluate image quality of screen-film system by using a high-performance digital camera  
8th ASIA — OCEANIA CONGRESS OF MEDICAL PHYSICS and 6th SOUTH-EAST ASIAN CONGRESS OF MEDICAL PHYSICS, 2008.10 (Ho Chi Minh city, Vietnam)

今西康裕, 藤田尚利, 小坂祐紀, 竹内 誠, 小寺吉衛  
拡大・縮小画像の液晶ディスプレイ (LCD) 表示時の画質特性の検討 (日本放射線技術学会雑誌 64 (9):1092, 2008)  
第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.10 (軽井沢)

加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛  
デジタルマンモグラフィにおける SNR の検討 (日本放射線技術学会雑誌 64 (9):1093, 2008)  
第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.10 (軽井沢)

藤田尚利, 市川勝弘, 原 孝則, 小寺吉衛  
高解像度強調関数使用時における CT 画像のアンダーシュート抑制処理 (日本放射線技術学会雑誌 64 (9):1081-1082, 2008)  
第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.10 (軽井沢)

EMOTO Yuki, **KOYAMA Shuji**  
Evaluation of patient dose in cerebral angiography examinations  
Proceedings of the Fifteenth EGS Users ' Meeting in Japan, 2008.10

NAKAGAWA Takuya, **KOYAMA Shuji**  
Validation of point dosimetry in organ dose estimation in anthropomorphic phantom (Proceedings of the Fifteenth EGS Users ' Meeting in Japan)  
Fifteenth EGS Users ' Meeting in Japan, 2008.10

OSHIMA Takashi, AOYAMA Yuichi, **SHIMOZATO Tomohiro**, **OBATA Yasunori**, TABUSHI Katsunori  
Improvement of attenuation plates used in intraoperative electron beam radiotherapy for breast cancer  
5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, 2008.10 (韓国・濟州島)

河村真吾, 伊藤 彰, 今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永  
改良型アーチファクト定量評価法及びアーチファクトを含まない画像ノイズ評価法の考案  
平成 20 年度日本生体医工学会東海支部大会, 2008.10 (名古屋)

石山貴規, 西村憲治, 永井宏樹, 今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永  
X 線デジタル画像のカオス性に基づく画質評価法の考案  
平成 20 年度日本生体医工学会東海支部大会, 2008.10 (名古屋)

松崎 創, 武藤綾花, 寺本篤司, 村越貴行, 津坂昌利, 藤田広志  
X 線 FPD における欠落画素の非線形補正手法  
電気関連学会東海支部連合大会, 2008.10 (名古屋)

三井貴司, 津坂昌利, 中島由加里, 寺本篤司  
電子カルテ画像表示用液晶モニタの輝度特性評価 (予稿集, p35)  
平成 20 年度日本生体医工学会東海支部学術集会, 2008.10 (名古屋)

赤木信裕, 津坂昌利, 玉川千勢  
3D 画像処理ソフトによる心臓 CT データの画像処理実習 (予稿集, p35)  
平成 20 年度日本生体医工学会東海支部学術集会, 2008.10 (名古屋)

木田浩介, 柴田永利子, 大岩成明, 若田鋭樹, 山添 智, 津坂昌利  
埋込型ペースメーカーに対する医療用直線加速器 X 線の影響 (予稿集, p13)  
平成 20 年度日本生体医工学会東海支部学術集会, 2008.10 (名古屋)

渡辺洋平, 藤井正純, 津坂昌利, 木村美由紀, 若林俊彦  
画像誘導手術における術中レジストレーション法の検討 (予稿集, p 34)  
平成 20 年度日本生体医工学会東海支部学術集会, 2008.10 (名古屋)

**KATO Katsuhiko**, **NIHASHI Takashi**, **IKEDA Mitsuru**, **ITOH Shigeki**, **ISHIGAKI Takeo**, **NAGANAWA Shinji**

18F-FDG PET/CT in pancreatic tumors: Is the differential diagnosis between pancreatic cancer and mass-forming pancreatitis possible?

Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine 2008, 2008.10 (Munich, Germany)

石原俊一, 伊藤淳二, 久保田誠司, 平澤直樹, 伊藤善之, 長縄慎二, 池田 充

放射線治療を施行した転移性脳腫瘍の予後因子

日本放射線腫瘍学会第 21 回学術大会, 2008.10 (札幌)

**SAKUMA Yoichi**, **OGATA Yoshimune**, **AKIYAMA Yoichi**, **OHTA Masatoshi**, **UEMURA Kazuyoshi**

Development of a Low-Level Tritium Monitor (Abstract p 217-218)

12th International Congress of the International Radiation Protection Association, 2008.10 (Buenos Aires, Argentina)

**OGATA Yoshimune**, **ISHIGURE Nobuhito**, **MOCHIZUKI Shingo**, **ITO Kengo**, **HATANO Kentaro**, **ABE Junichiro**, **MIYAHARA Hiroshi**, **MASUMOTO Kazuyoshi**, **NAKAMURA Hajime**, **MATSUMURA Hiroshi**

Estimation of the Thermal Neutron Flux in a PET Cyclotron Room via Radioactive Analysis of the Bolts of a Wall Socket in the Room (Abstract p 401)

12th International Congress of the International Radiation Protection Association, 2008.10 (Buenos Aires, Argentina)

加藤克彦, 二橋尚志, 伊藤信嗣, 阿部真治, 西野正成, 岩野信吾, 伊藤茂樹, 池田 充, 長縄慎二

膵腫瘍の F-18 FDG PET/CT: 膵癌と膵炎の鑑別は可能か

第 48 回日本核医学会学術総会, 2008.10 (千葉)

渡辺洋平, 藤井正純, 木村美由紀, 津坂昌利, 籾 道子, 若林俊彦

術中におけるレジストレーション法の検討 (日本コンピュータ外科学会誌 10 (3), p 407-408, (2008))

日本コンピュータ外科学会 (第 17 回), 2008.10 (東京)

西本卓也, 森 政樹, 近藤 悟, 米田和夫, 今井國治, 池田 充

血管撮影装置コーンビーム CT における頭蓋内の画質評価—画像ノイズ・アーチファクトの定量評価— (抄録集)

日本脳神経血管内治療学会, 2008.11 (名古屋)

中曾裕子, 藤田咲貴, 小山修司, 小柳仁美, 黒田ひとみ, 堀田勝平, 高村美穂

デジタルマンモグラフィにおける適正な画質と線量の検討 (予稿集 p 57)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

森下祐樹, 小山修司, 内藤宗孝, 後藤賢一, 奥村信次

舌癌小線源治療における歯科用インプラント周辺の散乱線のシミュレーション (予稿集 p 53)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

藤田咲貴, 中曾裕子, 小山修司, 小柳仁美, 黒田ひとみ, 堀田勝平, 高村美穂

デジタルマンモグラフィにおける線質特性の検討 (予稿集 p 57)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

堤 貴紀, 松岡祐樹, 植村武司, 西本卓矢, 近藤 悟, 米田和夫, 江本裕樹, 小山修司, 青山隆彦, 宮地 茂  
新生児の脳血管内治療における被ばく線量評価-ガレン大静脈瘤に対する新生児期の血管内治療例の検討  
第 24 回日本脳神経血管内治療学会総会, 2008.11 (名古屋)

江本裕樹, 小山修司

モンテカルロシミュレーションによる日本人標準体型ファントムと MIRd ファントムの臓器線量の比較検討 (日本放射線技術学会雑誌 64(9) pp 1131-1132)

第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.11 (軽井沢)

服部真澄, 棚田信春, 小山修司

3D MR myelography 表示時の基礎的検 (日本放射線技術学会雑誌第 64 巻 9 号 p 1147)

第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.11 (軽井沢)

松尾綾江, 岡野恒一, 後藤賢一, 横井みどり, 蛭川亜紀子, 奥村信次, 小山修司

被曝線量からみたパノラマ撮影装置による顎関節撮影の有用性 (日本放射線技術学会雑誌 64(9) p 1099)

第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.11 (軽井沢)

中川拓哉, 小山修司

モンテカルロシミュレーションを用いた人体ファントム内臓器線量測定時の線量計配置に関する検討 (日本放射線技術学会雑誌 64(9) p 1131)

第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2008.11 (軽井沢)

松崎創, 武藤綾花, 寺本篤司, 津坂昌利, 原 武史, 藤田広志

高分解能 FPD の画質に関する物理的評価 (抄録 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

寺本篤司, 津坂昌利, 原 武史, 藤田広志

胸部 CT 像における孤立性結節陰影の検出—MIP 像を利用した 3 次元結節強調フィルタの高速化— (抄録, 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

三井貴司, 津坂昌利, 中島由加里, 寺本篤司

電子カルテ画像表示用液晶モニタの輝度特性評価 (抄録 p 51, 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

木田浩介, 柴田永利子, 若田鋭樹, 平子貴雄, 渡邊健二, 内田守彦, 津坂昌利

高エネルギー放射線が植込み型除細動器に与える影響 (抄録 p 52, 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

渡辺洋平, 藤井正純, 津坂昌利, 木村美由紀, 若林俊彦

画像誘導手術における re-registration の有用性 (抄録 p 34, 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

村井康史, 渡辺洋平, 津坂昌利, 藤井正純, 若林俊彦

画像誘導手術におけるレジストレーション法の検討 (抄録 p 35, 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

木村美由紀, 渡辺洋平, 小原陽子, 八杉幸浩, 津坂昌利, 藤井正純, 若林俊彦

脳外科低磁場術中 MRI における歪みの評価 (抄録 p 31, 2008)

第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

渡辺洋平, 林雄一郎, 津坂昌利, 藤井正純, 木村美由紀, 若林俊彦  
精度管理プログラムを用いたナビゲーションの QA (Quality Assurance) (抄録 p 34, 2008)  
第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

武藤綾花, 松崎 創, 寺本篤司, 津坂昌利, 原 武史, 藤田広志  
胸部 CT 像における孤立性結節陰影の検出—LIDC 画像を用いた一次検出処理の比較— (抄録, 2008)  
第 1 回中部放射線医療技術学術大会, 2008.11 (福井)

宮本真衣, 石樽信人  
Cs-137 の体内動態によるホールボディカウンタの計数効率の変動 (予稿集 p 8)  
第 2 回日本保健物理学会学生発表会, 2008.12 (東京)

加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛  
デジタルマンモグラフィにおける信号対雑音比 (SNR) の検討 (日本乳癌検診学会誌 17(3):421, 2008)  
第 18 回日本乳癌検診学会総会, 2008.12 (名古屋)

中曾裕子, 藤田咲貴, 小山修司, 小柳仁美, 黒田ひとみ, 堀田勝平  
デジタルマンモグラフィにおける適正な画質と線量の検討 (日本乳癌検診学会誌 17(3): p 415)  
第 18 回日本乳癌検診学会総会, 2008.12 (名古屋)

藤田咲貴, 中曾裕子, 小山修司, 小柳仁美, 黒田ひとみ, 堀田勝平  
デジタルマンモグラフィの適正な撮影条件の検討 (日本乳癌検診学会誌 17(3): p 414)  
第 18 回日本乳癌検診学会総会, 2008.12 (名古屋)

後藤賢一, 小山修司, 森下祐樹, 内藤宗孝, 有地榮一郎, 奥村信次, 松尾綾江, 蛭川亜紀子, 横井みどり  
放射線治療におけるインプラントからの散乱線のシミュレーション  
第 208 回日本歯科放射線学会関東地方会, 2008.12 (東京)

森下祐樹, 小山修司, 内藤宗孝, 後藤賢一, 奥村信次  
Au グレインによる舌癌小線源治療での歯科用インプラント周辺の散乱線のシミュレーション  
第 2 回日本保健物理学会学生発表会, 2008.12 (東京)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永  
CT 画像信号下におけるストリークアーチファクトの推定法とそれを含まない画像ノイズ評価法の考案  
電子情報通信学会医用画像研究会, 2009.1 (国立台湾大学, 台湾)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永  
カオス理論に基づく医用画像の画質評価法の考案  
電子情報通信学会 2009 総合大会, 2009.3 (松山)

〔公開講座・講演会〕

本間光彦  
カウンセリング演習指導  
日本放射線カウンセリング学会第 11 回カウンセリングセミナー, 2008.11 (東京)

本間光彦  
カウンセリング演習指導

日本放射線カウンセリング学会平成 19 年度学術大会，2008.7 (札幌)

池田 充

放射線画像における雑音

第 10 回放射線研究セミナー，2008.4 (名古屋)

石樽信人

第 2 専門委員会タスクグループにおける議論について

第 14 回 ICRP 調査・研究連絡会，2008.7 (東京)

石樽信人

ICRP 第 2 専門委員会の活動

第 20 回放射線審議会基本部会，2008.5 (東京)

石樽信人

第 2 専門委員会報告

平成 20 年度第 3 回 ICRP 調査研究連絡会報告会，2008.12 (東京)

加藤克彦

研究成果と抱負：悪性腫瘍と動脈硬化の核医学診断を中心として

第 10 回放射線研究セミナー，2008.4 (名古屋)

小寺吉衛

明日の診療放射線技師教育を考える

第 1 回中部放射線医療技術学術大会，2008.11 (福井)

小寺吉衛

ボランティア被曝の現状

第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会第 27 回放射線防護分科会パネルディスカッション「患者以外の医療被曝を考える」，2008.10 (軽井沢)

小寺吉衛

普及に向けた日本放射線技術学会の取り組み (予稿集 p71, 2008)

第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会シンポジウム「デジタルマンモグラフィ検査の精度向上に関する取組」，2008.4 (横浜)

小山修司

X 線 CT の被ばく

ラジオ NIKKEI「医学の焦点」，2008.10

小山修司

X 線 CT 撮影時の被曝線量評価の実際

第 17 回日本放射線技術学会医療被ばく測定セミナー，2008.8 (出雲)

小山修司

X 線 CT 撮影時の被曝線量評価の実際

第 18 回日本放射線技術学会医療被ばく測定セミナー，2008.8 (福岡)

小山修司

X線 CT 撮影時の被曝線量評価の実際

第 2 回国立病院療養所近畿放射線技師会医療被曝線量測定セミナー，2008.7 (大阪)

小山修司

医療診断 X 線の計測とシミュレーション

第 2 回日本保健物理学会学生発表会基調講演，2008.12 (東京)

小山修司

X 線 CT 撮影時の被ばく線量評価の実際

第 61 回日本放射線技術学会東京部会セミナー，2008.2 (東京)

小山修司

身の回りの放射線と放射線の人体に与える影響

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院平成 20 年度第 1 回放射線防護講習会，2008.7 (名古屋)

小山修司

医療における放射線被ばくについて

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院平成 20 年度第 2 回放射線防護講習会，2008.7 (名古屋)

緒方良至

放射線業務従事者のための再教育 (放射線の安全管理と測定技術)

第 20 回教育訓練講習会 (日本アイソトープ協会)，2008.5 (名古屋)

緒方良至

非密封 RI の安全取扱の要点

第 20 回教育訓練講習会 (日本アイソトープ協会)，2008.5 (名古屋)

緒方良至

高校生のための放射線実習セミナー講師 (静岡県立榛原高校)

日本原子力文化振興財団，2008.12 (牧之原)

緒方良至

放射線業務従事者のための再教育 (関係法令)

名古屋市立大学 放射線業務従事者のための再教育，2008.5 (名古屋)

下郷智弘

放射線治療専門放射線技師 (補) とがんプロ

第 13 回中部放射線治療技師勉強会，2008.5 (名古屋)

下郷智弘

治療装置の品質管理

第 1 回 日本放射線治療専門技師機構統一講習会 (東海ブロック)，2008.3 (名古屋)

下郷智弘

放射線治療の発展 — 一般治療から高精度治療まで —

平成 20 年度第 3 回がんを生き抜くライフトピアスクール，2008.11 (名古屋)

検査技術科学専攻





### 3 検査技術科学専攻

〔著書〕

古池保雄

起立性低血圧,・無汗症

『わかりやすい内科学(第3版)』文光堂, 2008. pp 1341-1344

小嶋哲人

凝固系制御機構

『講義録 血液・造血管疾患学』株式会社メディカルビュー社, 2008. pp 32-35, pp 70-71

小嶋哲人

ヘパリン, 低分子量ヘパリン

『抗凝固薬の適正な使い方(第2版)』医歯薬出版株式会社, 2008. pp 267-284

KOJIMA Tetsuhito, SAITO Hidehiko

Hypercoagulable States

"Recent Advances in Thrombosis and Hemostasis 2008." Springer, 2008. pp 507-520

永田浩三, 小畑孝二, 許 京欄, 加藤まゆ子, 宮地正朗, 矢澤宏樹, 坪井公司, 山田高資, 西澤孝夫, 野田明子, 成憲武, 井澤英夫, 室原豊明, 古池保雄, 横田充弘

ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の低アルドステロン性高血圧ラットにおける心肥大・心不全抑制効果

『不整脈予防における ARB, ACE 阻害薬とアルドステロン拮抗薬』ライフメディコム, 2008. pp 63-78

野田明子

第1章 総説 評価法

『睡眠・覚醒障害』(大川匡子編集)最新医学社, 2008. pp 52-68

〔原著論文〕

HAYASHI Keiko, KIMATA Hiroataka, OBATA Koji, MATSUSHITA Aya, FUKATA Ayako, **HASHIMOTO Katsunori**, **NODA Akiko**, IWASE Mitsunori, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro, **NAGATA Kohzo**

Xanthine oxidase inhibition improves left ventricular dysfunction in dilated cardiomyopathic hamsters.

J Card Fail 14: 238-244, 2008

KOYAMA Yoshie, NARUO Hideaki, YOSHITOMI Yasuo, MUNESUE Seiichi, KIYONO Shinsuke, KUSANO Yuri, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, NAKANISHI Hayao, SHIMIZU Satoru, OKAYAMA Minoru, OGURI Kayoko

Matrix Metalloproteinase-9 Associated with Heparan Sulfate Chains of GPI-anchored Cell Surface

Journal of Biochemistry 143: 581-592, 2008

HARA Toshiaki, OGASAWARA Nanako, AKIMOTO Hidetoshi, TAKIKAWA Osamu, HIRAMATSU Rie, **KAWABE Tsutomu**, ISOBE Ken-ichi, **NAGASE Fumihiko**

High-affinity uptake of kynurenine and nitric oxide-mediated inhibition of indoleamine 2,3-dioxygenase in bone marrow-derived myeloid dendritic cells

Immunol Lett 116(1): 95-102, 2008

HARA Toshiaki, YAMAKURA Fumiyuki, TAKIKAWA Osamu, HIRAMATSU Rie, **KAWABE Tsutomu**, ISOBE Ken-ichi, **NAGASE Fumihiko**

Diazotization of kynurenine by acidified nitrite secreted from indoleamine 2,3-dioxygenase-expressing myeloid dendritic cells

J Immunol Meth 332(1-2): 162-169 , 2008

HIRAMATSU Rie, HARA Toshiaki, AKIMOTO Hidetoshi, TAKIKAWA Osamu, **KAWABE Tsutomu** , ISOBE Ken-ichi, **NAGASE Fumihiko**

Cinnabarinic acid generated from 3-hydroxyanthranilic acid strongly induces apoptosis in thymocytes through the generation of reactive oxygen species and the induction of caspase

J Cell Biochem 103(1): 42-53 , 2008

落合 淳, 竹内有子, 馬淵干之, 古池保雄

てんかん重積をきたし PLED を呈したアルツハイマー病の 2 症例

臨床脳波 50: 54-57 , 1899

IWASAKI Toshihiro, KATSUMI Akira, KIYOI Hitoshi, TANIZAKI Ryohei, ISHIKAWA Yuichi, OZEKI Kazutaka, KOBAYASHI Miki, ABE Akihiro, MATSUSHITA Tadashi, WATANABE Takashi, AMANO Mutsuki, **KOJIMA Tetsuhito** , KAIBUCHI Kozo, NAOE Tomoki

Prognostic implication and biological roles of RhoH in acute myeloid leukaemia

Eur J Haematol 81: 454-460 , 2008

TANIZAKI Ryohei, KATSUMI Akira, KIYOI Hitoshi, KUNISHIMA Shinji, IWASAKI Toshihiro, ISHIKAWA Yuichi, KOBAYASHI Miki, ABE Akihiro, MATSUSHITA Tadashi, WATANABE Takashi, **KOJIMA Tetsuhito**, KAIBUCHI Kozo, KOJIMA Seiji, NAOE Tomoki

Mutational analysis of SOS1 in acute myeloid leukemia

Int J Hematol 88: 1607-1617 , 2008

OZLU Ferda, KYOTANI Mayu, TASKIN Erdal, OZENAN Kenan, **KOJIMA Tetsuhito** , MATSUSHITA Tadashi, YAPICIĞLU Hacer, **TAKAGI Akira** , SAŞMAZ İlgen, SATAR Mehmet, NARLI Nejat

A neonate with homozygous protein C deficiency with a homozygous Arg178Trp mutation

J Pediatr Hematol Oncol 30: 608-611 , 2008

NAKAYAMA Takayuki, MATSUSHITA Tadashi, YAMAMOTO Koji, MUTSUGA Noriko, **KOJIMA Tetsuhito** , KATSUMI Akira, NAKAO Norihiko, SADLER J. Evan, NAOE Tomoki, SAITO Hidehiko

Identification of amino acid residues responsible for von Willebrand factor binding to sulfatide by charged-to-alanine-scanning mutagenesis

Int J Hematol 87: 363-370 , 2008

KON Shigeyuki, IKESUE Masahiro, KIMURA Chiemi, AOKI Momoe, NAKAYAMA Yosuke, SAITO Yoshinari, KURITAKI Daisuke, DAIO Hongyan, MATSUI Yutaka, SEGAWA Tatsuya, MAEDA Masahiro, **KOJIMA Tetsuhito** , UEDE Toshimitsu

Syndecan-4 protects against osteopontin-mediated acute hepatic injury by masking functional domains of osteopontin

J Exp Med 205: 25-33 , 2008

**KAWAMURA-SATO Kumiko**, WACHINO Jun-ichi, **KONDO Takaaki**, **ITO Hideo** , ARAKAWA Yoshichika

Reduction of disinfectant bactericidal activities in clinically isolated Acinetobacter species in the presence of organic material

J Antimicrob Chemother 61: 568-576 , 2008

IKEHARA Satoyo, ISO Hiroyasu, TOYOSHIMA Hideki, DATE Date, YAMAMOTO Akio, KIKUCHI Shogo, **KONDO**

**Takaaki** , WATANABE Yoshiyuki, KOIZUMI Akio, WADA Yasuhiko, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko  
Alcohol consumption and mortality from stroke and coronary heart disease among Japanese men and women: The JACC Study  
Stroke 39: 2936-2942 , 2008

UMESAWA Mitsumasa, ISO Hiroyasu, DATE Chigusa, YAMAMOTO Akio, TOYOSHIMA Hideaki, WATANABE Yoshiyuki, KIKUCHI Shogo, KOIZUMU Akio, **KONDO Takaaki** , INABA Yutaka, TANABE Naohito, TAMAKOSHI Akiko  
Relationship between dietary sodium and potassium intake with mortality from cardiovascular disease: The JACC Study  
Am J Clin Nutr 88: 195-202 , 2008

NISHIO Kazuko, GOTO Yashuyuki, **KONDO Takaaki** , ITO Sshimon, ISHIDA Yoshiko, KAWAI Sayo, NAITO Mariko, WAKAI Kenji, HAMAJIMA Nobuyuki  
Serum folate and methylenetetrahydrofolate reductase (MTHFR) C677T polymorphism adjusted for folate intake  
J Epidemiol 18: 125-131 , 2008

NODA Hiroyuki, ISO Hiroyasu, TOYOSHIMA Hideaki, DATE Chigusa, YAMAMOTO Akio, KIKUCHI Shogo, KOIZUMI Akio, **KONDO Takaaki** , WATANABE Yoshiyuki, WADA Yasuhiko, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko  
Smoking status, sports participation and mortality from coronary heart disease  
Heart 94: 471-475 , 2008

**KONDO Takaaki**, UHEYAMA Jun , KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, FUKAYA Yukio  
Acute effect of exercise on blood pressure among fitness facility users, with special reference to influence of body mass index  
Bull Aichi Bunkyo Women's Coll (29): 27-37 , 2008

**KONDO Takaaki** , YAMAMOTO Kanami, KIMATA Akiko, UHEYAMA Jun , HORI Yoko, **TAKAGI Kenji**  
Association of glycemic profiles with whole blood polyamine among middle-aged Japanese men: colorimetric assay using oat and barley seedling polyamine oxidase  
Environ Health Prev Med 13: 43-51 , 2008

BANNO Yoshiko, NEMOTO Susumu, MURAKAMI Masashi, KIMURA Minoru, UENO Yoshio, OHGUCHI Kenji, HARA Akira, OKANO Yukio, KITADE Yukio, ONOZUKA Minoru, **MURATE Takashi** , NOZAWA Yoshinori.  
Depolarization-induced differentiation of PC12 cells is mediated by phospholipase D2 through the transcription factor CREB pathway  
J Neurochem 104: 1372-1386 , 2008

KYOGASHIMA Mamoru, TADANO-ARITOMI Keiko, AOYAMA Toshifumi, YUSA Akiko, GOTO Yoshiko, TAMIYA-KOIZUMI Keiko, ITO Hiromi, **MURATE Takashi** , KANNAGI Reiji, HARA Atsushi  
Chemical and apoptotic properties of hydroxy-ceramides containing long-chain bases with usual alkyl chain lengths  
J Biochem 144: 95-106 , 2008

IWASAKI Takashi, MURAKAMI Masashi, SUGISAKI Chiho, SOBUE Sayaka, OHASHI Haruhiko, ASANO Haruhiko, SUZUKI Motoshi, NAKAMURA Shigeo, ITO Masafumi, **MURATE Takashi**  
Characterization of myelodysplastic syndrome and aplastic anemia by immunostaining of p53 and hemoglobin F and karyotype analysis  
Pathol Int 58: 353-360 , 2008

CHENG Xian Wu, MUROHARA Toyoaki, KUZUYA Masafumi, IZAWA Hideo, SASAKI Takeshi, OBATA Koji, **NAGATA Kohzo**, NISHIZAWA Takao, KOBAYASHI Masakazu, YAMADA Takashi, KIM Weon, SATO Kohji, SHI Guo-Ping, OKUMURA Kenji, YOKOTA Mitsuhiro

Superoxide-dependent cathepsin activation is associated with hypertensive myocardial remodeling and represents a target for angiotensin II type 1 receptor blocker treatment.

Am J Pathol 173: 358-369, 2008

小林正和, 井澤英夫, 成憲 武, 浅野展行, 平敷安希博, 山田高資, 原田 憲, 村瀬洋介, 海野一雅, 舟橋栄人, 西澤孝夫, 磯部 智, 永田浩三, 室原豊明, 横田充弘

拡張型心筋症における, ドブタミン負荷に対する心筋収縮特性応答低下の分子病態生理学的機序の解明

心臓 47: 16-18, 2008

永田浩三, 小畑孝二, 許 京欄, 加藤まゆ子, 宮地正朗, 矢澤宏樹, 坪井公司, 山田高資, 西澤孝夫, 野田明子, 成憲 武, 井澤英夫, 室原豊明, 古池保雄, 横田充弘

ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の低アルドステロン性高血圧ラットにおける心肥大・心不全抑制効果

心電図 28: 41-52, 2008

KATO Tomoko S, IZAWA Hideo, KOMAMURA Kazuo, **NODA Akiko**, ASANO Hiroyuki, **NAGATA Kohzo**, HASHIMOTO Shuji, ODA Noboru, KAMIYA Chizuko, KANZAKI Hideaki, HASHIMURA Kazuhiko, NAKATANI Takeshi, UEDA Hatsue Ishibashi, MUROHARA Toyoaki, KITAKAZE Masafumi, YOKOTA Mitsuhiro

Heterogeneity of regional systolic function detected by tissue Doppler imaging is linked to impaired global left ventricular relaxation in hypertrophic cardiomyopathy.

Heart 94: 1302-1306, 2008

杉浦真理, 野田明子, 後藤由実, 美濃島慎, 原 祐樹, 宮田聖子, 伊藤理恵子, 飯野重夫, 永田浩三, 古池保雄  
3次元心エコー法による健常人における運動時の左心機能評価

Jpn J Med Ultrasonics 35: 409-414, 2008

KOBAYASHI Masakazu, IZAWA Hideo, CHENG Xian Wu, ASANO Hiroyuki, HIRASHIKI Akihiro, UNO Kazumasa, OHSHIMA Satoru, YAMADA Takashi, MURASE Yosuke, KATO Tomoko, OBATA Koji, **NODA Akiko**, NISHIZAWA Takao ISOBE Satoshi, **NAGATA Kohzo**, MATSUBARA Tatsuaki, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro.

Contractile reserve revealed by  $\beta_1$ -adrenergic stimulation as a predictor of altered myocardial expression of contractile regulatory protein genes in mildly symptomatic patients with dilated cardiomyopathy in sinus rhythm.

J Am Coll Cardiol Cardiovasc Imaging 2008; 1: 718-726

KATO Mayuko F, SHIBATA Rei, OBATA Koji, MIYACHI Masaaki, YAZAWA Hiroki, TSUBOI Koji, YAMADA Takashi, NISHIZAWA Takao, **NODA Akiko**, CHENG Xian Wu, **MURATE Takashi**, **KOIKE Yasuo**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro, **NAGATA Kohzo**

Pioglitazone attenuates cardiac hypertrophy in rats with salt-sensitive hypertension: role of activation of AMP-activated protein kinase and inhibition of Akt.

J Hypertens 26: 1669-1676, 2008

MIYAO Etsuko, **NODA Akiko**, MIYAO Masaru, YASUMA Fumihiko, INAFUKU Shigeru

The role of malocclusion in non-obese patients with obstructive sleep apnea syndrome

Intern Med 47: 1573-1578, 2008

SUKRGAWA Mayo, **NODA Akiko**, SOGA Taro, ADACHI Yuki, TSURUTA Yoshinari, **KOIKE Yasuo**

Comparison of sleep disordered breathing and heart rate variability between hemodialysis and non-hemodialysis days in hemodialysis patients

Nagoya J Medicine Science 70: 83-88 , 2008

IWAMOTO Kunihiro, TAKAHASHI Masahiro, NAKAMURA Yukako, KAWAMURA Yukiko, ISHIHARA Ryoko, UCHIYA Yuji, EBE Kazutoshi, **NODA Akiko** , NODA Yukihiko, YOSHIDA Keizo, IIDAKA Tetsuya, Ozaki Norio

The effects of acute treatment with paroxetine amitriptyline, and placebo on driving performance and cognitive function in healthy Japanese subjects: a double-blind crossover trial

Hum Psychopharmacol 23: 399-407 , 2008

**NODA Akiko** , NAKATA Seiichi, FUKATSU Hiroshi, MIYAO Etsuko, MIYATA Seiko, YASUMA Fumihiko, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro, **KOIKE Yasuo**

Aortic pressure augmentation as a marker of cardiovascular risk in obstructive sleep apnea syndrome

Hypertens Res 31: 1109-1114 , 2008

NAKATA Seiichi, **NODA Akiko** , YASUMA Fumihiko, MORINAGA Mami, SUGIURA Makoto, KATAYAMA Naomi, SAWAKI Mine, TERANISHI Masaaki, NAKASHIMA Tsutomu

Effects of nasal surgery on sleep quality in obstructive sleep apnea syndrome with nasal obstruction

Am J Rhinol 22: 59-63 , 2008

FUJIMORI Yuta, OKIMATSU Hidemi, KASHIWAGI Takahiro, SANDA Naomi, OKUMURA Kaoru, **TAKAGI Akira**, **NAGATA Kohzo**, **MURATE Takashi** , UCHIDA Aya, NODE Koichi, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**

Molecular defects associated with antithrombin deficiency and dilated cardiomyopathy in a Japanese patient.

Intern Med 47: 925-931 , 2008

SOBUE Sayaka, MURAKAMI Masashi, BANNO Yoshiko, ITO Hiromi, KIMURA Ami, GAO Siqiang, FURUHATA Aya, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito** , SUZUKI Motoshi, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

v-Src oncogene product increases sphingosine kinase 1 expression through mRNA stabilization: alteration of AU-rich element-binding proteins

Oncogene 27: 6023-6033 , 2008

OKUMURA Kaoru, FUJIMORI Yuta, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi** , OZEKI Michio, YAMAMOTO Koji, KATSUMI Akira, MATSUSHITA Tadashi, NAOE Tomoki, **KOJIMA Tetsuhito**

Skewed X chromosome inactivation in fraternal female twins results in moderately severe and mild haemophilia B

Haemophilia 14: 1088-1093 , 2008

KASHIWAGI Takahiro, MATSUSHITA Tadashi, ITO Yasutomo, HIRASIMA Kanji, SANDA Naomi, FUJIMORI Yuta, YAMADA Takayuki, OKUMURA Kaoru, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi** , KATSUMI Akira, TAKAMATSU Junki, YAMAMOTO Koji, NAOE Tomoki, **KOJIMA Tetsuhito**

L1503R is a member of group I mutation and has dominant-negative effect on secretion of full-length VWF multimers: an analysis of two patients with type 2A von Willebrand disease

Haemophilia 14: 556-563 , 2008

SOBUE Sayaka, NEMOTO Satoshi, MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, KIMURA Ami, GAO Siqiang, FURUHATA Aya, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito** , NAKAMURA Mitsuhiro, ITO Masafumi, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Implications of sphingosine kinase 1 expression level for the cellular sphingolipid rheostat: relevance as a marker for daunorubicin sensitivity of leukemia cells

Int J Hematol 87: 266-275 , 2008

LIN Yingsong, KIKUCHI Shogo , TAMAKOSHI Koji , WAKAI Kenji, **KONDO Takaaki** , NIWA Yoshimitsu, YATSUYA Hiroshi, NISHIO Kazuko, SUZUKI Sadao, TOKUDOME S, YAMAMOTO A, TOYOSHIMA Hideaki, MORI M, TAMAKOSHI Akiko

Active smoking, passive smoking and breast cancer risk: findings from the Japan Collaborative Cohort Study for Evaluation of Cancer Risk

J Epidemiol 18: 77-83 , 2008

**UEYAMA Jun** , KAMIJIMA Michihiro, ASAI Kazumi, MOCHIZUKI Aiko, WANG Dong, **KONDO Takaaki** , SUZUKI Toshiaki, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo** , KANAZAWA Hiroaki, MIYAMOTO Ken-ichi, **WAKUSAWA Shinya** , HASEGAWA Takaaki.

Effect of the organophosphorus pesticide diazinon on glucose tolerance in type 2 diabetic rats.

Toxicol Lett 182: 42-47 , 2008

KAMEYAMA Natsumi, ARISAWA Sakiko, **UEYAMA Jun** , KAGOTA Satomi, SHINOZUKA Kazumasa, HATTORI Ai, TATSUMI Y, HAYASHI Hisao, **TAKAGI Kenji**, **WAKUSAWA Shinya**

Increase in P-glycoprotein accompanied by activation of protein kinase Calpha and NF-kappaB p65 in the livers of rats with streptozotocin-induced diabetes.

Biochim Biophys Acta 1782: 355-360 , 2008

ABE Fumie, **UEYAMA Jun** , KAWASUMI Noriyo, NADAI Masayuki, HAYASHI Tamon, KATO Miki, OHNISHI Masafumi, SAITO Hiroko, TAKEYAMA Naoshi, HASEGAWA Takaaki

Role of Plasma Proteins in Pharmacokinetics of Micafungin, an Antifungal Antibiotic, in Analbuminemic Rats

Antimicrob Agents Chemother 52: 3454-3456 , 2008

**UEYAMA Jun**, **WAKUSAWA Shinya** , FUKAYA Yukio, HASEGAWA Takaaki

Involvement of pro-inflammatory mediators in endotoxin-induced overproduction of inducible nitric oxide synthase and decrease in expression of hepatic cytochrome P450

Bull Aich Bunkyo Women's Coll 29: 39-49 , 2008

ZHANG Shu-Yun, **UEYAMA Jun** , ITO Yuki, YANAGIBA Yukie, OKAMURA Ai, KAMIJIMA Michihiro, NAKAJIMA Tamie

Permethrin may induce adult male mouse reproductive toxicity due to cis isomer not trans isomer

Toxicology 248: 136-141 , 2008

ABE Fumie, **UEYAMA Jun** , KIMATA Akiko, KATO Miki, HAYASHI Tamon, NADAI Masayuki, SAITO Hiroko, TAKEYAMA Naoshi, NOGUCHI Hiroshi, HASEGAWA Takaaki

Involvement of multidrug resistance-associated protein 2 (ABCC2/Mrp2) in biliary excretion of micafungin in rats

Life Sci 83: 229-235 , 2008

**UEYAMA Jun** , NADAI Masayuki, ZHAO Yin Lan, KANAZAWA Hiroaki, **TAKAGI Kenji**, **KONDO Takaaki**, **TAKAGI Kenzo**, **WAKUSAWA Shinya** , ABE Fumie, SAITO Hiroko, MIYAMOTO Ken-ichi, HASEGAWA Takaaki

Effect of thalidomide on endotoxin-Induced decreases in activity and expression of hepatic cytochrome P450 3A2

Biol Pharm Bull 31: 1596-1600 , 2008

**UEYAMA Jun**, **KONDO Takaaki** , IMAI Royta, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, SUZUKI Koji, INOUE Takashi, ITO Yoshinori, MIYAMOTO Ken-ichi, HASEGAWA Takaaki, HAMAJIMA Nobuyuki

Association of serum NOx level with clustering of metabolic syndrome components in middle-aged and elderly general population in Japan

Environ Health Prev Med 13: 36-42, 2008

SUMIDA Atsushi, HASEGAWA Yoshinori, OKAMOTO Masakazu, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, YATSUYA Hiroshi, **YOKOI Toyoharu, TAKAGI Kenzo**, SHIMOKATA Kaoru, **KAWABE Tsutomu**

Th1/Th2 immune response in lung fibroblasts in interstitial lung disease

Arch Med Res 39: 503-510, 2008

〔総説・解説・その他〕

川部 勤

III 閉塞性肺疾患，気管支の異常 B. 嚢胞性肺疾患，気管支異常 気管支原性嚢

日本臨牀社 741-744, 2008

小嶋哲人

凝固制御

臨床検査 52: 1575-1579, 2008

鈴木伸明，小嶋哲人

血栓傾向患者へのアプローチ

meditina 45: 2225-2227, 2008

**NAGATA Kohzo**

Mineralocorticoid antagonism and cardiac hypertrophy.

Curr Hypertens Rep 40: 216-221, 2008

安田宣成，松尾清一，野田明子

CKD の腎画像診断の考え方

成人病と生活習慣病 38: 855-860, 2008

野田明子

心身の健康と睡眠

健康文化振興財団紀要 43: 58-62, 2008

野田明子，古池保雄

睡眠の生体計測技術

終夜睡眠ポリグラフィ 46: 134-143, 2008

高木健三，馬場研二，長谷川高明

テオフィリンの薬物代謝

アレルギー・免疫 15: 1662-1668, 2008

〔科研費・班研究等〕

小嶋哲人

門脈血栓発症症例における JAK2V617F 変異解析

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 門脈血行異常症に関する調査研究 平成 19 年度研究報告書九州大学大学院医学医学研究院災害・救急医学 41-44, 2008



小嶋哲人

日本人静脈血栓症患者の遺伝的バックグラウンドに関する調査研究

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 血液凝固異常症に関する調査研究 平成 17～19 年度総合研究報告書慶應義塾大学医学部内科学 45-52, 2008

小嶋哲人

先天性血栓性素因・PC 欠損症の遺伝子解析

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 血液凝固異常症に関する調査研究 平成 19 年度総括・分担研究報告書慶應義塾大学医学部内科学 141-144, 2008

近藤高明, 玉腰暁子, 小笹晃太郎

出生年代別肺がんリスクに関する研究

厚生労働科学研究費補助金平成 19 年度総括・分担研究報告書 たばこに関する科学的知見の収集に係る研究, 2008

〔学会発表〕

川村久美子, 大竹祐介, 吉田理紗, 伊藤秀郎, 荒川宜親

Triclosan 存在下に出現する *Staphylococcus aureus* の small-colony variants の解析 (日本臨床微生物学会雑誌 17: p 98) 第 19 回 日本臨床微生物学会, 2008.1 (東京)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 粥川久美子, 長澤伸江, 丹羽さゆり, 岡本和土, 前川厚子, 榊原久孝

在宅要介護者を介護する女性介護者における高血圧関連要因の検討 (第二報) 一般住民健診参加者との比較から (抄録集 p 133, 2008)

第 18 回日本疫学会学術集会, 2008.1 (東京)

江口英孝, 西山正彦, 近藤高明, 後藤康幸, 西尾和子, 浜島信之

ODC G317A 遺伝子多型と血漿 TNF $\alpha$  レベルは *Helicobacter pylori* 感染者における胃粘膜萎縮の発生と関連する (抄録集 p 201, 2008)

第 18 回日本疫学会学術集会, 2008.1 (東京)

鈴木貞夫, 徳留信寛, 小嶋雅代, 若井建志, 近藤高明, 玉腰浩司, 八谷 寛, 玉腰暁子

BMI と体重変化が全がん罹患に及ぼす影響—日本人大規模コホートによる検討—(抄録集 p 163, 2008)

第 18 回日本疫学会学術集会, 2008.1 (東京)

近藤高明, 堀 容子, 西尾和子, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 平井眞理, 榊原久孝, 濱嶋信之

運動前後の血圧変化に与える要因と NOS3 遺伝子型との交互作用 (抄録集 p 62, 2008)

第 18 回日本疫学会学術集会, 2008.1 (東京)

永井邦芳, 堀 容子, 近藤高明, 星野純子, 前川厚子, 榊原久孝, 丹羽さゆり

在宅療養を支える男性主介護者の健康状態と生活習慣に関する研究 (第一報) —生体学的検査データを用いた記述疫学的検討—(抄録集 p 132, 2008)

第 18 回日本疫学会学術集会, 2008.1 (東京)

YAZAWA Hiroki, MIYACHI Masaaki, KATO Mayuko, FUKATA Ayako, TSUBOI Koji, KASAI Yurie, KATO Yuriko, NISHIZAWA Takao, HASHIMOTO Katsunori, NODA Akiko, KOIKE Yasuo, YOKOTA Mitsuhiro, NAGATA Kohzo

Angiotensin-Converting Enzyme Inhibition Promotes Myocardial Capillary Growth in the Failing Heart of Dahl Salt-

Sensitive Hypertensive Rats.

第 72 回日本循環器学会総会・学術集会, 2008.3 (福岡)

MIYACHI Masaaki, YAZAWA Hiroki, KATO Mayuko, FUKATA Ayako, TSUBOI Koji, KASAI Yurie, KATO Yuriko, NISHIZAWA Takao, **HASHIMOTO Katsunori**, **NODA Akiko**, **KOIKE Yasuo**, **YOKOTA Mitsuhiro**, **NAGATA Kohzo**

Exercise Training Alters Left Ventricular Geometry and Improves Heart Failure in Dahl Salt-Sensitive Hypertensive Rats: Possible Role of Coronary Angiogenesis.

第 72 回日本循環器学会総会・学術集会, 2008.3 (福岡)

橋本克訓, 岩田英紘, 佐藤 翠, 石井辰弥, 山本浩二, 横井豊治

医療における細胞診の意義とあり方に関する細胞検査士へのアンケート調査(その1)(プログラムおよび抄録集 p16)

第 27 回日本臨床細胞学会東海連合会総会ならびに学術集会, 2008.3 (名古屋)

太田裕以, 川部 勤, 松島充代子, 廣瀬悦子, 高木健三

heme oxygenase(HO)-1 誘導を介したミリスチンによる脱顆粒の抑制

第 128 回日本薬学会, 2008.3 (横浜)

内藤淳平, 式田光宏, 川部 勤, 林 悠太, 横田拓央, 譚 智勇, 佐藤一雄

経気管支的に気道内肺機能測定を目指したカテーテル実装型流量センサの開発

平成 20 年電気学会全国大会, 2008.3 (福岡)

太田裕以, 川部 勤, 松島充代子, 廣瀬悦子, 高木健三

heme oxygenase(HO)-1 誘導を介したミリスチンによる脱顆粒の抑制

第 128 回日本薬学会, 2008.3 (横浜)

松島充代子, 川部 勤, 廣瀬悦子, 太田裕以, 平山達也, 高木健三

肥満細胞におけるケルセチンの抗アレルギー作用機序の検討.

第 128 回日本薬学会, 2008.3 (横浜)

CHENG Xian Wu, OKUMURA Kenji, OBATA Koji, HIRASHIKI Akihiro, ASANO Hiroyuki, KOBAYASHI Masakazu, YAMADA Takashi, HARADA Ken, MURASE Yosuke, NISHIZAWA Takao, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, KUZUYA Masafumi, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

A Elastolytic Cathepsin Induction/Activation System Exists in the Rat and Human Myocardium and is Upregulated in Hypertensive Heart Failure.

第 72 回日本循環器学会総会・学術集会, 2008.3 (福岡)

HARADA Masahide, YASUI Kenji, HOJO Mayumi, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, KAMIYA Kaichiro, KODAMA Itsuo

Overexpression of Calmodulin Induces Transcriptional Down-regulation of Kv4.2 and KChIP2 Channel Subunits in the Transgenic Mouse Heart.

第 72 回日本循環器学会総会・学術集会, 2008.3 (福岡)

亀山なつみ, 有沢早葵子, 佐野雅幸, 石田空美季, 上山 純, 高木健次, 涌澤伸哉

streptozotocin 誘発性糖尿病ラットでの P 糖蛋白誘導に伴う PKCa および NF- $\kappa$ B の発現変化

第 128 回日本薬学会, 2008.3 (横浜)

石田空美季, 佐野雅幸, 亀山なつみ, 有沢早葵子, 上山 純, 高木健次, 涌澤伸哉

HepG2 細胞における doxorubicin の P-glycoprotein 発現誘導に与える epigallocatechin gallate の影響

第 128 回日本薬学会, 2008.3 (横浜)

横井豊治, 岩田英紘, 佐藤 翠, 石井辰弥, 山本浩二, 橋本克訓

医療における細胞診の意義とあり方に関する細胞検査士へのアンケート調査 (その 2) (プログラムおよび抄録集 p16)  
第 27 回日本臨床細胞学会東海連合会総会ならびに学術集会, 2008.3 (名古屋)

柏木隆宏, 松下 正, 伊藤康友, 平島寛司, 三田直美, 藤森祐多, 山田貴之, 奥村 薫, 岩崎年宏, 勝見 章, 山本晃士,  
高松純樹, 齋藤英彦, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人

本邦における VWD type2A の解析

第 47 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会, 2008.3 (富山)

張 淑芸, 伊藤由起, 柳場由絵, 上山 純, 岡村 愛, 上島道浩, 那須民江

合成ピレスロイド系殺虫剤ベルメトリン (trans;cis 体) のマウス生殖毒性に関する研究 (抄録集 p551)

第 78 回日本衛生学会総会, 2008.3 (熊本)

安部文江, 上山 純, 加藤美樹, 灘井雅行, 川澄紀代, 木村匡男, 斉藤寛子, 武山直志, 野口 宏, 長谷川高明

ラットにおけるミカファンギンの胆汁排泄における Mrp2 および P 糖タンパク質の関与 (抄録集 p189)

日本薬学会第 128 年会, 2008.3 (横浜)

有沢早葵子, 亀山なつみ, 佐野雅幸, 石田空美季, 上山 純, 篠塚和正, 涌澤伸哉

生活習慣病モデルラット SHR/NDmcr-cp および SHRSP.ZF の肝臓における薬物トランスポーターの発現解析 (抄録集  
p189)

日本薬学会第 128 年会, 2008.3 (横浜)

望月愛子, 上山 純, 浅井佳寿美, 王 棟, 安部文江, 長谷川高明, 近藤高明, 高木健三, 高木健次, 涌澤伸哉

ウェスタンブロット法の内部標準物質に及ぼすエンドトキシンの影響 (抄録集 p44, 2008)

日本薬学会第 128 年会, 2008.3 (横浜)

浅井佳寿美, 上山 純, 望月愛子, 三河由佳, 王 棟, 上島通浩, 近藤高明, 長谷川高明, 高木健次, 高木健三, 涌澤  
伸哉

有機リン系殺虫剤ダイアジノンが及ぼす 2 型糖尿病モデルラットの耐糖能への影響 (抄録集 p198, 2008)

日本薬学会第 128 年会, 2008.3 (横浜)

上山 純, 上島通浩, 小笠原将人, 木全明子, 近藤高明, 高木健三, 宮本謙一, 長谷川高明, 佐藤哲男, 齋藤 勲, 高  
木健次, 涌澤伸哉

職業的有機リン系殺虫剤曝露が及ぼす血漿中 グルクロニダーゼ活性値への影響 (抄録集 p198, 2008)

日本薬学会第 128 年会, 2008.3 (横浜)

山本佳那実, 近藤高明, 木全明子, 高木健次

男性健常成人集団における血中 polyamine 値の分布と metabolic risk factor との関連性 (抄録集 p342, 2008)

第 78 回日本衛生学会総会, 2008.3 (熊本)

近藤高明, 上山 純, 吉武順子, 木全明子, 山本佳那実, 鈴木康司, 井上 孝, 伊藤宜則, 浜島信之

健常成人集団での CETP TaqIB 遺伝多型と血管内皮由来 NO 濃度との関連性 (抄録集 p431, 2008)

第 78 回日本衛生学会総会, 2008.3 (熊本)

岡村 愛, 上島通浩, 斉藤 勲, 市原 学, 伊藤由起, 五藤雅博, 柴田英治, 高木健次, 近藤高明, 上山 純, 那須民江  
ガスクロマトグラフ質量分析計によるフェニトロチオンの特異的尿中代謝物 3-メチル-4-ニトロフェノールの高感度モ  
ニタリング法の開発 (抄録集 p550, 2008)

第 78 回日本衛生学会総会，2008.3 (熊本)

木全明子，上山 純，近藤高明，山本佳那実，高木健次，五藤雅博，柴田英治，深谷幸生，上島通浩，那須民江，齋藤 勲

一般生活者集団および殺虫剤散布職域集団における尿中 3-フェノキシ安息香酸量の比較検討 (抄録集 p 368，2008)

第 78 回日本衛生学会総会，2008.3 (熊本)

永田浩三

拡張期心不全ラットモデルにおけるニフェジピンの心筋リモデリング抑制効果

ACR 研究会 2008，2008.4 (東京)

HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, MATSUO Masaki, HASHIMOTO Izumi, HONDA Toyohiro, ITO Satoru, KONDOH Masashi, KUME Hiroaki, **KAWABE Tsutomu**, **YOKOI Toyoharu**, HASEGAWA Yoshinori  
Induction of CXCR4 surface expression on microvascular endothelial cells by fourteen-membered ring microlides  
American Lung Association/American Thoracic Society，2008.5 (Tronto, Canada)

HONDA Toyohiro, IMAIZUMI Kazuyoshi, HASHIMOTO Izumi, HASHIMOTO Naozumi, MATSUO Masaki, ITO Satoru, KONDOH Masashi, KUME Hiroaki, **KAWABE Tsutomu**, **YOKOI Toyoharu**, HASEGAWA Yoshinori  
Different Expression Profile of Th1 and Th2 Chemokines in UIP and NSIP  
American Lung Association/American Thoracic Society，2008.5 (Tronto, Canada)

吉川枝里，加地範匡，川村久美子，太田美智男，渡慶次学，馬場嘉信

マイクロチップ電気泳動によるニューキノロン系耐性菌の SNPs 解析 (抄録集 p 361: p 36)

化学とマイクロ・ナノシステム研究会 (17th CHEMINAS)，2008.5 (福岡)

新美由紀，土井英樹，三輪 茂，笹 敏，山名知子，古池保雄，長谷川康博

パーキンソン病における起立性低血圧・起立性高血圧と食事性低血圧

第 49 回日本神経学会，2008.5 (横浜)

**NAGATA Kohzo**

Mineralocorticoid receptor blockade attenuates cardiac hypertrophy and failure in low-renin, low-aldosterone hypertensive rats.

1st IAF-J，2008.5 (Tokyo)

鈴木洋子，堀 容子，星野純子，榊原久孝，近藤高明，長澤伸江

女性家族介護者の生活習慣病罹患の認知状況による食習慣の特徴 (抄録集 p 50，2008)

第 44 回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会，2008.5 (松山)

古畑彩子，岩崎卓織，祖父江沙矢加，村上真史，伊藤裕美，木村有美，高 四強，吉田佳世，高木 明，小嶋哲人，安部明弘，直江知樹，村手 隆

白血病における WT1 発現機序の解析 (愛知県医学検査学会誌 59 (学会抄録号): p 55)

第 9 回愛知県医学検査学会，2008.5 (豊橋)

宮脇由理，鈴木敦夫，田中亮子，中島大輔，藤森祐多，山田貴之，奥村 薫，高木 明，村手 隆，松下 正，高松純樹，小嶋哲人

女性血友病 A の 1 例 (愛知県医学検査学会 59 (学会抄録号): p 52)

第 9 回愛知県医学検査学会，2008.5 (豊橋)

太田裕以，川部 勤，松島充代子，平山達也，高木健三

ミリセチンの抗アレルギー作用機序の検討. (抄録集 p 411)  
第 20 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2008.6 (東京)

助川真代, 野田明子, 安田宣成, 中田誠一, 中島 務, 古池保雄  
食道内圧測定と微小覚醒反応との関係 (抄録集 p 119)  
日本睡眠学会第 33 回定期学術集会, 2008.6 (福島)

本多久美子, 野田明子, 助川真代, 小島 準, 奥田将人, 望月雅弘, 山黒 顕, 佐藤 耕, 古池保雄  
呼吸による簡易入眠判定 (抄録集 p 111)  
日本睡眠学会第 33 回定期学術集会, 2008.6 (福島)

野田明子  
過眠症検査の現状と今後 シンボジウム PSG 標準化に向けて (抄録集 p 82)  
日本睡眠学会第 33 回定期学術集会, 2008.6 (福島)

野田明子, 原 祐樹, 尾崎紀夫, 中田誠一, 小島 準, 大嶽正文, 奥田将人, 宮田聖子, 本多久美子, 森永麻美, 中島 務, 古池保雄  
閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における生活パフォーマンスと認知機能評価 (抄録集 p 142)  
日本睡眠学会第 33 回定期学術集会, 2008.6 (福島)

**YOKOI Toyoharu**, **SUZUKI Toshiaki**, **HASHIMOTO Katsunori**, **KAWABE Tsutomu**, **IMAIZUMI Kazuyoshi**,  
**HASEGAWA Yoshinori**, **NAKAMURA Shigeo**  
Immunohistochemical profiles of interstitial pneumonias focusing on differentiation of UIP and NSIP  
4th Annual Scientific Meeting of Asia Pacific Society of Molecular and Immunohistology, 2008.6 (Penang, Malaysia)

上山 純, 木全明子, 上島通浩, 斎藤 勲, 高木健次, 涌澤伸哉, 高木健三, 宮本謙一, 長谷川高明, 近藤高明  
一般生活者集団における合成ピレスロイド系化合物の尿中代謝物濃度 (抄録集 p 165, 2008)  
第 35 回日本トキシコロジー学会学術年会, 2008.6 (東京)

太田裕以, 川部 勤, 松島充代子, 廣瀬悦子, 平山達也, 高木健三  
ケンフェロールの抗アレルギー活性発現における HO-1 の役割. (抄録集 p 43)  
第 39 回日本職業・環境アレルギー学会, 2008.7 (東京)

浜島信之, 後藤康幸, 川合紗世, 倉田美穂, 近藤高明, 神谷悦功  
CYP2C19 遺伝子型を用いたピロリ菌除菌自由診療: 第 4 報 除菌率 (抄録集 p 38, 2008)  
第 54 回東海公衆衛生学会学術大会, 2008.7 (静岡)

小嶋哲人  
シンポジウム 2 「血栓性素因の病態と診断の進歩」: 血栓性素因のとしての AT と PC 異常 (学会抄録号): p S50)  
第 9 回日本検査血液学会学術集会, 2008.7 (津)

藤森祐多, 山田貴之, 奥村 薫, 田中亮子, 中島大輔, 鈴木敦夫, 宮脇由理, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人  
第 VIII 因子遺伝子のイントロン 22 逆位解析法—DNA ポリメラーゼの比較—(学会抄録号): p S72)  
第 9 回日本検査血液学会学術集会, 2008.7 (津)

岩田英紘, 石井辰弥, 佐藤 翠, 山本浩二, 橋本克訓, 川部 勤, 横井豊治  
細胞検査士養成のアンケート調査  
第 3 回日本臨床検査学教育学会, 2008.8 (福岡)

本多裕之, 加藤竜司, 竹下敏一, 大河内美奈, 川部 勤, 松島充代子, 松本 直樹, 坂本龍雄, 廣瀬悦子, 川瀬三雄, 吉田安子, 高瀬智和, 小川昭子

ミルクアレルギー診断のための高集密ペプチドアレイの作製と解析

化学工学会第 40 回秋季大会, 2008.9 (仙台)

YOSHIKAWA Eri, KAJI Noritada, YOSHIDA Risa, **KAWAMURA-SATO Kumiko**, TOKESHI Manabu, OHTA Michio, BABA Yoshinobu

A rapid and easy detection of quinolone-resistant Escherichia coli by microchip gel electrophoresis (Abstracts P. 531: p 53)

American Academy of Nanomedicine 2008 conference, 2008.9 (Washington DC, USA)

石川 寛, 野田明子, 山田 晶, 小島 隼, 柄野小百合, 磯部 智, 平敷安希博, 永田浩三, 室原豊明, 古池保雄  
健常者における心臓弁逆流発生頻度 (抄録集 p 20)

日本超音波医学会第 27 回中部地方会, 2008.9 (浜松)

柄野小百合, 野田明子, 小島 隼, 石川 寛, 奥田将人, 森永麻美, 中田誠一, 平敷安希博, 永田浩三, 古池保雄  
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における血管機能評価 (抄録集 p 22)

日本超音波医学会第 27 回中部地方会, 2008.9 (浜松)

小島 隼, 野田明子, 大嶽正文, 西澤孝夫, 平敷安希博, 石川 寛, 柄野小百合, 永田浩三, 室原豊明, 古池保雄  
2D speckle tracking 法を用いた肥大型心筋症患者における左心機能評価 (抄録集 p 28)

日本超音波医学会第 27 回中部地方会, 2008.9 (浜松)

奥田将人, 野田明子, 本多久美子, 小島 隼

2007 年 AASM 提唱の睡眠判定と入眠判定の検討 (抄録集 p 3)

第 19 回東海睡眠呼吸障害研究会, 2008.9 (名古屋)

吉田理紗, 川村久美子

尿路病原性大腸菌におけるフルオロキノロン耐性と病原因子保有率との関連性 (抄録集 p 411: p 41)

第 51 回 日本感染症学会 中日本地方会学術集会, 2008.10 (大阪)

井上千沙, 加藤まゆ子, 坪井公司, 水野良昭, 山田雄一郎, 大嶽正文, 古池保雄, 永田浩三

食塩感受性高血圧ラットにおいてテルミサルタンによる心線維化抑制および拡張機能障害の改善には PPAR- $\gamma$  が関与する

第 31 回日本高血圧学会総会, 2008.10 (札幌)

加藤まゆ子, 柴田 玲, 坪井公司, 山田雄一郎, 井上千沙, 大嶽正文, 室原豊明, 古池保雄, 永田浩三

ピオグリタゾンは Dahl 食塩感受性ラットの不全心において冠血管形成を促進し, 拡張期心不全を改善する。(高得点演題)

第 31 回日本高血圧学会総会, 2008.10 (札幌)

CHENG Xian Wu, OKUMURA Kenji, KUZUYA Masafumi, INOUE Aiko, SASAKI Takeshi, NAKAMURA Kae, SONG Haizhen, LI Ping, **NAGATA Kohzo**, SATO Kohji, MUROHARA Toyoaki

Azelidipine enhances beneficial effects of olmesartan on left ventricular remodeling during the development of hypertension-induced heart failure.

第 31 回日本高血圧学会総会 China-Japan Joint Symposium on Hypertension, 2008.10 (札幌)

LI Ping, SHIBATA Rei, SHIMANO Masayuki, KIHARA Shinji, OUCHI Noriyuki, **NAGATA Kohzo**, CHENG Xian Wu, MUROHARA Toyoaki



Pioglitazone attenuates angiotensin II-induced cardiac hypertrophy and fibrosis through stimulation of adiponectin secretion.

第 31 回日本高血圧学会総会 China-Japan Joint Symposium on Hypertension, 2008.10 (札幌)

山田雄一郎, 坪井公司, 加藤まゆ子, 井上千沙, 大嶽正文, 市川由紀子, 小川有里子, 見崎奈都美, 野田明子, 西澤孝夫, 横田充弘, 古池保雄, 永田浩三

Dahl 食塩感受性高血圧ラットにおけるロサルタンとヒドロクロロチアジドの併用療法の降圧及び心筋保護効果に関する検討

第 31 回日本高血圧学会総会, 2008.10 (札幌)

坪井公司, 加藤まゆ子, 山田雄一郎, 井上千沙, 大嶽正文, 野田明子, 西澤孝夫, 横田充弘, 古池保雄, 永田浩三

Dahl 食塩感受性ラットの不全心におけるロサルタンとヒドロクロロチアジドの心筋局所レニン・アンジオテンシン系に及ぼす効果の検討

第 31 回日本高血圧学会総会, 2008.10 (札幌)

江口英孝, 西山正彦, 近藤高明, 後藤康幸, 浜島信之

日本人 Helicobacter pylori 感染者における胃粘膜萎縮の発生と ODC G317A 遺伝子多型ならびに血漿 TNF $\alpha$  レベルとの関連 (抄録集 p, 2008)

第 6 回 RCGM フロンティア国際シンポジウム, 2008.10 (埼玉)

宮田敏行, 川崎富夫, 辻 肇, 窓岩清治, 坂田洋一, 小嶋哲人, 村田 満, 阪田敏幸, 竹下 聡, 小久保喜弘, 小亀浩一, 岡田裕美, 池田康夫

日本人の血栓症の遺伝的背景に関する調査研究 (日本血液学会誌 49: pp 1208-PS-3-215)

第 70 回日本血液学会総会, 2008.10 (京都)

藤森祐多, 奥村 薫, 山田貴之, 田中亮子, 中島大輔, 鈴木敦夫, 宮脇由理, 村手 隆, 高木 明, 小嶋哲人

日本人における血栓性素因遺伝子変異データベースの作成 (日本血液学会誌 49: pp 1208-PS-3-216)

第 70 回日本血液学会総会, 2008.10 (京都)

柏木隆宏, 松下 正, 伊藤康友, 高木 明, 村手 隆, 勝見 章, 平島寛司, 直江知樹, 小嶋哲人

新規 Group I 変異 L1503R の vonWillebrand 病 type 2A 発症における役割 (日本血液学会総会 49: pp 1153-PS-3-51)

第 70 回日本血液学会総会, 2008.10 (京都)

古畑彩子, 村上真史, 高 四強, 木村有美, 伊藤裕美, 高木 明, 小嶋哲人, 安部明弘, 直江知樹, 村手 隆

GATA-1, GATA-2 による WT1 発現調節の解析 (第 70 回日本血液学会総会 49: pp 992-PS-1-167)

第 70 回日本血液学会総会, 2008.10 (京都)

FUJIMORI Yuta, OKUMURA Kaoru, YAMADA Takayuki, TANAGYoko Tanaka, NAKASHIMA Daisuke, SUZUKI Atsuo, MIYAWAKI Yuhri, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**  
Molecular Basis for Antithrombin Deficiency and Dilated Cardiomyopathy in a Japanese Patient.

XXXIInd World Congress of The International Society of Hematology, 2008.10 (Bangkok, Thailand)

川部 勤, 松島充代子, 松本直樹, 伊藤浩明, 坂本龍雄

ミルクアレルギー患者の IgE 認識エピトープの高集密ペプチドアレイによる検討 (抄録集 p 1440)

第 58 回日本アレルギー学会総会, 2008.11 (東京)

平山達也, 川部 勤, 松島充代子, 太田裕以, 高木健三

グレリンによる肥満細胞活性化機序の検討 (抄録集 p 1460)

第 58 回日本アレルギー学会総会, 2008.11 (東京)

伊藤浩明, 二村昌樹, 平山美香, 尾辻健太, 坂本龍雄, 川部 勤  
牛乳成分特異的 IgE 抗体価と牛乳アレルギー  
第 58 回日本アレルギー学会総会, 2008.11 (東京)

太田裕以, 川部 勤, 松島充代子, 平山達也, 高木健三  
構造によるフラボノイドの抗アレルギー作用の検討 (抄録集 p1461)  
第 58 回日本アレルギー学会総会, 2008.11 (東京)

吉川枝里・加地範匡・吉田理紗・川村久美子・渡慶次学・太田美智男・馬場嘉信  
マイクロチップ電気泳動によるキノロン耐性大腸菌の SNPs 解析 (抄録集 p2031: p203)  
第 39 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2008.11 (名古屋)

新美由紀, 長谷川康博, 古池保雄, 高橋 昭  
パーキンソン病における起立性低血圧・起立性高血圧と食事性低血圧  
第 61 回に本自律神経学会, 2008.11 (横浜)

LI Ping, SHIBATA Rei, SHIMANO Masayuki, KATO Mayuko F, OHASHI Taiki, CHENG Xian Wu, WANG Kai,  
**NAGATA Kohzo**, OUCHI Noriyuki, MUROHARA Toyoaki  
Pioglitazone Attenuates Angiotensin II-Induced Cardiac Hypertrophy and Fibrosis Through Stimulation of Adiponectin  
Secretion.  
AHA2008, 2008.11 (New Orleans, U.S.A)

**NAGATA Kohzo**, MIYACHI Masaaki, KATO Mayuko F, YAZAWA Hiroki, OHTAKE Masafumi, TSUBOI Koji,  
YAMADA Yuichiro, INOUE Chisa, HATTORI Takuya, MURASE Tamayo, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI  
Toyoharu**, **KOIKE Yasuo**  
Exercise Training Alters Left Ventricular Geometry and Improves Heart Failure in Dahl Salt-Sensitive Hypertensive  
Rats: Role of PI3K p110 $\alpha$ / $\gamma$ -Akt-mTOR-Mediated Activation of Proangiogenic Signaling.  
AHA2008, 2008.11 (New Orleans, U.S.A)

UNNO Kazumasa, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, CHENG Xian Wu, KOBAYASHI Masakazu, HIRASHIKI Akihiro,  
MURASE Yosuke, ASANO Hiroyuki, YAMADA Takashi, OHSHIMA Satoru, NISHIZAWA Takao, **NODA Akiko**,  
**NAGATA Kohzo**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro  
Relation of Functional and Morphological Changes in Mitochondria to Myocardial Contractile and Relaxation Re-  
serves in Asymptomatic to Mildly Symptomatic Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy.  
AHA2008, 2008.11 (New Orleans, U.S.A)

YAMADA Yuichiro, TSUBOI Koji, KATO Mayuko F, INOUE Chisa, OHTAKE Masafumi, HATTORI Takuya,  
MURASE Tamayo, **NODA Akiko**, NISHIZAWA Takao, YOKOTA Mitsuhiro, **KOIKE Yasuo**, **NAGATA Kohzo**  
Combined Effects of Losartan and Hydrochlorothiazide on Cardiac Remodeling and Function in Dahl Salt-Sensitive  
Hypertensive Rats.  
American Heart Association 2008, 2008.11 (New Orleans, U.S.A)

奥田将人, 野田明子, 本多久美子, 石川 寛, 柄野小百合, 小島 隼, 古池保雄  
2007 年 American Academy of Sleep Medicine 提唱の睡眠判定の検討 (抄録集 p54 )  
第 45 回日本臨床生理学会, 2008.11 (東京)

YAMADA Akira, **NODA Akiko**, OZAKI Yukio  
Adverse effects of low-dose pergolide on cardiac function in patients with Parkinson 's disease



American Heart Association 2008, 2008.11 (New Orleans, U.S.A)

大賀英史, 大森豊緑, 近藤高明

ソーシャルキャピタルにおける近隣との人間関係と居住環境との関連 (抄録集 p 290, 2008)

第 67 回日本公衆衛生学会総会, 2008.11 (福岡)

橋本克訓, 新田憲司, 水嶋祥栄, 長田裕之, 瀬古周子, 加藤正和, 青木光治, 前田永子, 都築豊徳, 横井豊治

液状処理細胞診を用いた甲状腺病変の免疫細胞化学的, 形態計測的鑑別診断の基礎的研究 (日本臨床細胞学会雑誌 47(Suppl.2), p 467, 2008)

第 47 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2008.11 (東京)

MORIMOTO Ayumi, HASHIMOTO Katsunori, MARUYAMA Fusae, SAKAI Miho, IKEIDO Shigehiro, OGISO Takamura, **YOKOI Toyoharu**

Morphometric and FISH Analysis of Mesothelial Cells and Adenocarcinoma Using LBC

The 15th Japan-Thai International Cytology Workshop, 2008.11 (Tokyo, Japan)

小嶋哲人

関連学会ジョイントシンポジウム 日本循環器学会「抗血栓薬の最近の進歩」(日本血栓止血学会誌 19: p 612)

第 31 回日本血栓止血学会学術集会, 2008.11 (大阪)

平島寛司, 柏木隆宏, 松下 正, 伊藤康友, 高木 明, 村手 隆, 勝見 章, 直江知樹, 小嶋哲人

新規 GroupI 変異 L1503R の von Willebrand 病 type2A 発症における役割 (日本血栓止血学会誌 19: p 679)

第 31 回日本血栓止血学会学術集会, 2008.11 (大阪)

田中亮子, 中島大輔, 鈴木敦夫, 宮脇由理, 藤森祐多, 山田貴之, 奥村 薫, 勝見 章, 山本晃士, 松下 正, 高松純樹, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人

先天性凝固第 VII 因子欠損症の分子病態解析 (日本血栓止血学会誌 19: p 680)

第 31 回日本血栓止血学会学術集会, 2008.11 (大阪)

宮脇由理, 鈴木敦夫, 田中亮子, 中島大輔, 藤森祐多, 山田貴之, 奥村 薫, 高木 明, 村手 隆, 松下 正, 高松純樹, 小嶋哲人

女性血友病 A の分子病態解析 (日本血栓止血学会誌 19: p 654)

第 31 回日本血栓止血学会学術集会, 2008.11 (大阪)

成田尚未, 橋本克訓, 武田朝美, 両角國男, 都築豊徳, 横井豊治

ABO 血液型不適合生体腎移植における血液型抗原の発現の免疫組織化学的検討 (臨床病理 56 補冊 p 248, 2008)

第 55 回日本臨床検査医学会学術集会, 2008.11 (名古屋)

王 棟, 上島道浩, 岡村 愛, 伊藤由起, 柳場由絵, 上山 純, 那須民江

ダイアジノンと cis-ペルメトリンの混合曝露によるマウス精巣への影響

平成 20 年日本産業衛生学会東海地方学会, 2008.11 (三重)

横井豊治

社会人大学院生から学ぶこと (シンポジウム: 多様化する臨床検査技師大学院教育)

第 55 回日本臨床検査医学会, 2008.11 (名古屋)

YOSHIKAWA Eri, KAJI Noritada, YOSHIDA Risa, **KAWAMURA-SATO Kumiko**, OKAMOTO Yukihiro, TOKESHI Manabu, OHTA Michio, BABA Yoshinobu

A rapid and easy detection of quinolone-resistant *Escherichia coli* by microchip gel electrophoresis(Abstracts P. 2111:

p 211)

The 33rd International Symposium on High Performance Liquid Phase Separations and Related Techniques (HPLC 2008 Kyoto), 2008.12 (Kyoto, JAPAN)

太田裕以, 松島充代子, 平山達也, 川部 勤

Myricetin involved heme oxygenase-1 in its anti-allergic actions (抄録集 p 45)

第 38 回日本免疫学会, 2008.12 (京都)

小笠原名奈子, 小黒崇史, 坂部肇胤, 松島充代子, 長瀬文彦

Induction of the indoleamine 2,3-dioxygenase expression in myeloid dendritic cells stimulated with hemoglobin (抄録集 p 118)

第 38 回日本免疫学会, 2008.12 (京都)

小笠原名奈子, 小黒崇司, 坂部肇胤, 松島充代子, 滝川 修, 長瀬文彦

ヘモグロビンによる indoleamine 2,3-dioxygenase の骨髄系 樹状細胞における発現の誘導機構 (講演要旨集 pp 12)

日本トリプトファン研究会第 30 回学術集会, 2008.12 (倉敷市)

RAJAPAKSE BN, SATO T, UHEYAMA Jun, MOHAMED F, BUCKLEY NA

Patterns of Beta-glucuronidase in pesticide self-poisoning

7th Asia Pacific Association of Medical Toxicolog, 2008.12 (India, Chandigarh)

GAO Siqiang, ITO Hiromi, MURAKAMI Masashi, FURUHATA Ayako, YOSHIDA Kayo, TAGAWA Yoko, SOBUE Sayaka, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Mutated Ras-induced phospholipase D1 transcript in a human colon adenocarcinoma cell line, DLD-1.

第 31 回日本分子生物学会, 2008.12 (神戸)

祖父江沙矢加, 村上真史, 坂野喜子, 伊藤裕美, 高 四強, 古畑彩子, 高木 明, 小嶋哲人, 野澤義則, 村手 隆, 市原正智

v-Src による SPHK1 mRNA 安定化と発現増強

第 31 回日本分子生物学会, 2008.12 (神戸)

MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, GAO Siqiang, FURUHATA Ayako, YOSHIDA Kayo, TAGAWA Yoko, SOBUE Sayaka, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

ATRA inhibits ceramide kinase transcription through an ATRA-related transcription factor, COU-TF1, in a human neuroblastoma cell line, SH-SY5Y cells

第 31 回日本分子生物学会, 2008.12 (神戸)

ITO Hiromi, MURAKAMI Masashi, GAO Siqiang, FURUHATA Ayako, YOSHIDA Kayo, TAGAWA Yoko, SOBUE Sayaka, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, KOIZUMI Keiko, **MURATE Takashi**

Regulatory mechanism of neutral sphingomyelinase 2 gene expression by daunorubicin in MCF-7 cells

第 31 回日本分子生物学会, 2008.12 (神戸)

WANG Dong, KAMIJIMA Michihiro, OKAMURA Ai, ITO Yuki, YANAGIBA Yukie, **UEYAMA Jun**, NAKAJIMA Tamie

Testicular toxicity in mice after combined exposure to pyrethroid and organophosphorus insecticides

第 11 回環境ホルモン学会研究発表会, 2008.12 (東京)

〔公開講座・講演会〕

川部 勤

アレルギー疾患の高精度診断法

科学技術振興調整費 先端融合領域イノベーション創出拠点の形成 名古屋大学「分析・診断医工学による予防早期医療の創成」 第2回シンポジウム, 2008.1 (東京)

近藤高明

健診結果の見方とこれからの健康管理

女性の健康診査・健康づくり教室, 2008.12 (尾張旭市)

近藤高明

メタボリックシンドロームを予防しよう

メタボリック予防講演会, 2008.10 (岩倉市)

近藤高明

脂質異常症

愛知県職員健康教室, 2008.1 (名古屋)

永田浩三

選択的アルドステロンブロッカーの降圧効果と臓器保護効果

木曜サロン(桑名医師会, いなべ医師会), 2008.2 (桑名)

永田浩三

日本人の高血圧に最適な治療法を求めて

第3回名大臨床検査フォーラム, 2008.2 (名古屋)

永田浩三

運動負荷試験実習 2コース編成によるローテーション

第110回健康運動指導士養成講習会(愛知会場), 2008.2 (日進市)

永田浩三

選択的アルドステロンブロッカーの降圧効果と臓器保護効果

中川区臨床懇話会総会, 2008.1 (名古屋)

横井豊治

スクリーニング解説

日本臨床細胞学会東海連合会細胞診実技講習会, 2008.11 (豊明市)

横井豊治

びまん性肺疾患の病理の基礎講座

第8回名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナー, 2008.10 (名古屋)

横井豊治

呼吸器細胞診(その他の病変)

日本臨床細胞学会東海連合会細胞診基礎講習会, 2008.6 (名古屋)

野田明子

快適睡眠を考える

甚目寺町中央公民館生涯学習講座「婦人会委託講座」(海部郡) 2008.7

野田明子

SAS とその関連疾患へのアプローチ

第三回日本睡眠学会・生涯教育セミナー 2008.9 (東京)

野田明子

睡眠時無呼吸症候群と高血圧・心不全

第1回 睡眠医療戦略研究会 2008.9 (宇都宮)

野田明子

第6回高槻マルチプルリスクファクター研究会

睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患 2008.11 (高槻)



理学療法学専攻



## 4 理学療法学専攻

[著書]

林 久恵

末梢循環障害

『内部障害理学療法学テキスト』(山崎裕司 他編) 南江堂, 2008. pp 104-114

内山 靖

エビデンスに基づく理学療法-現状と課題

『エビデンスに基づく理学療法』(内山 靖) 医歯薬出版, 2008. pp 1-16

鈴木重行

軟部組織異常

『疼痛の理学療法 第2版』(鈴木重行責任編集) 三輪書店, 2008. pp 96-113

鈴木重行

疼痛

, 2008. pp 270-279

内山 靖

リハビリテーション領域と工学との融合

『二関節筋 運動制御とリハビリテーション』(熊本水頼) 医学書院, 2008. pp 11-17

内山 靖

総論

『理学療法フィールドノート1 脳血管障害・神経疾患』(石川 朗・内山 靖・新田 収) 南江堂, 2008. pp 1-16

内山 靖

総論

『理学療法フィールドノート2 運動器疾患』(石川 朗・内山 靖・新田 収) 南江堂, 2008. pp 1-11

[原著論文]

MIYASHITA Koji, URABE Yukio, KOBAYASHI Hirokazu, YOKOE Kiyoshi, KOSHIDA S., **KAWAMURA Morio**,  
IDA Kunio

The role of shoulder maximum external rotation during throwing for elbow injury prevention in baseball players  
J Sports Sci Med 7 (2), 2008. pp 223-228

MIYASHITA Koji, URABE Yukio, KOBAYASHI Hirokazu, YOKOE Kiyoshi, KOSHIDA S., **KAWAMURA Morio**,  
IDA Kunio

Relationship between maximum shoulder external rotation angle during throwing and physical variables  
J Sports Sci Med 7 (1), 2008. pp 47-53

宮下浩二・浦辺幸夫・小林寛和・横江清司・河村守雄・猪田邦雄

投球動作の肩最大外旋角度に相関する要因

体力科学 57 (1), 2008. pp 141-150

**HAYASHI Hisae**, **YAMADA Sumio**, KUMADA Yoshitaka, MATSUO Hiroshi, TORIYAMA Takanobu, KAWA-  
HARA Hirohisa

Immersing feet in carbon dioxide -enriched water prevents expansion and formation of ischemic ulcers after surgical



revascularization in diabetic patients with critical limb ischemia.

Ann Vasc Dis 1 (2): 111-117, 2008

**KATO Chikako**, IDA Kunio, **KAWAMURA Morio**, NAGAYA Masahiro, TOKUDA Haruhiko, TAMAKOSHI Akiko, HARADA Atsushi

Relation of falls efficacy scale (FES) to quality of life among nursing home female residents with comparatively intact cognitive function in Japan.

Nagoya J Med Sci 70: 19-27, 2008

加藤智香子, 猪田邦雄, 長屋政博, 徳田治彦, 奥泉宏康, 原田 敦

介護施設女性高齢者の転倒自己効力感尺度 ( Falls Efficacy Scale : FES ) に関連する要因

運動療法と物理療法 19: 315-321, 2008

SIGWARD M. Susan, **OTA Susumu**, POWERS M Christopher

Predictors of Frontal Plane Knee Excursion During a Drop Land in Young Female Soccer Players

J Orthop Sports Phys Ther. 38 (11): 661-667, 2008

**OTA Susumu**, NAKASHIMA Takeshi, MORISAKA Ayako, IDA Kunio, **KAWAMURA Morio**

Comparison of Patellar Mobility in Female Adults With and Without Patellofemoral Pain.

J Orthop Sports Phys Ther. 38 (7): 396-402, 2008

鈴木重行

療法の考察 : 痛み系と運動系のつながりからみた運動療法の可能性

理学療法 25 (10): 1458-1465, 2008

KURAHASHI Masaaki, NIWA Yasumasa, CHENG Jyu, OHSAKI Yuki, FUJITA Akikazu, GOTO Hidemi, FUJIMOTO Toyoshi, **TORIHASHI Shigeko**

PDGF signals play crucial roles in differentiation of longitudinal smooth muscle cells in mouse embryonic gut

Neurogastroenterol Motil 20 (5): 521-531, 2008

樋口大輔, 新谷和文, 内山 靖

椎弓切除術が適応された頸髄症における機能障害・機能的制限・活動制限の術後1ヶ月の回復過程

理学療法学 35 (5): 245-253, 2008

SUZUKI Makoto, **YAMADA Sumio**, OMORI Mikayo, HATAKEYAMA Mayumi, SUGIMURA Yuko, MATSUSHITA Kazuhiko, TAGAWA Yoshikatsu

Development of the Upper-Body Dressing Scale for a Buttoned Shirt: Preliminary Correlational Study

Am J Phys Med Rehabil 87 (9): 740-749, 2008

平敷安希博, 井澤英夫, 清水優子, 河野裕治, 原田 憲, 小林正和, 因田恭也, 山田純生, 横田充弘, 室原豊明

若年の肺動脈性高血圧症に対する運動療法の効果を検討した2症例

心臓リハビリテーション 13 (1): 72-77, 2008

〔総説・解説・その他〕

山田優子, 牧野恵理子, 林 久恵

閉塞性動脈硬化症に対する理学療法実施上の要点

理学療法 25: 1657-1665, 2008

牧野恵理子, 林 久恵.  
末梢循環障害に対する物理療法の EBPT 実践モデル  
理学療法 25: 636-641, 2008

熊田佳孝, 林 久恵.  
理学療法: 運動療法, 物理療法.  
カレントセラピー 26: 763-767, 2008

林 久恵  
リハビリテーションとフットケア  
地域リハビリテーション 3: 41-43, 2008

石田和人  
理学療法への挑戦, そして広がる夢 神経系・基礎系  
理学療法福井 12: 11-15, 2008

鈴木敏和, 平野幸伸, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 手指筋  
理学療法 25 (4): 610-615, 2008

鈴木重行  
慢性痛に対する理学療法アセスメントの解剖・生理学的根拠 軟部組織異常  
理学療法 MOOK3 疼痛の理学療法 96-113, 2008

鈴木敏和, 鈴木重行, 平野幸伸  
慢性腰痛のストレッチング  
理学療法 MOOK14 腰痛の理学療法 188-200, 2008

平野幸伸, 沖田幸治, 高橋健太郎, 鈴木敏和, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 骨盤・大腿筋 (2)  
理学療法 25 (8): 1130-1135, 2008

平野幸伸, 沖田幸治, 高橋健太郎, 鈴木敏和, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 骨盤・大腿筋 (3)  
理学療法 25 (9): 1242-1245, 2008

平野幸伸, 沖田幸治, 高橋健太郎, 鈴木敏和, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 骨盤・大腿筋 (4)  
理学療法 25 (10): 1371-1375, 2008

平野幸伸, 沖田幸治, 高橋健太郎, 鈴木敏和, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 骨盤・大腿筋 (5)  
理学療法 25 (11): 1492-1495, 2008

鈴木敏和, 平野幸伸, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 膝関節  
理学療法 25 (12): 1594-1599, 2008

平野幸伸, 鈴木敏和, 高橋健太郎, 鈴木重行

理学療法に必要な触診技術 骨盤ランドマーク(1)  
理学療法 25 (5): 739-743, 2008

平野幸伸, 高橋健太郎, 鈴木敏和, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 骨盤ランドマーク(2)  
理学療法 25 (6): 867-871, 2008

平野幸伸, 高橋健太郎, 鈴木敏和, 鈴木重行  
理学療法に必要な触診技術 骨盤・大腿筋(1)  
理学療法 25 (7): 1002-1007, 2008

天野 修, 千田隆夫, 鳥橋茂子  
人体解剖カラーリングブック  
丸善株式会社, 2008

内山 靖  
脊髄小脳変性症のバランス障害と運動療法  
MB Med Reha 93: 1-8, 2008

内山 靖  
協調運動の障害に対する理学療法のポイント  
総合リハ 36 (2): 133-139, 2008

山田純生, 清水優子  
心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの有効性, 実施方法, 注意点  
Heart View 12 (5): 89-93, 2008

杉橋啓子, 山田純生, 水間正澄, 西岡葉子  
実践介護食事論 介護福祉施設と在宅介護のための食事ケア  
第一出版, 2008

河野裕治, 山田純生  
睡眠時呼吸症候群(SAS)  
内部障害編 考える理学療法 評価から治療手技の選択(丸山仁司ほか), 2008

[ 科研費・班研究等 ]

原田 敦, 徳田治彦, 長屋政博, 奥泉宏康, 加藤智香子  
大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和, 生活機能及び QOL の維持・向上に関する研究  
厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業平成 18 - 20 年度総合研究報告書 1-17, 2008

加藤智香子, 猪田邦雄(研究協力者)  
骨折予防技術の QOL に関する効果  
平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業総括研究報告書 33-41, 2008

宮津真寿美, 村上太郎, 長谷川 昇, 河上敬介, 笹井宣昌  
摂食タイミングが, 伸張刺激による筋萎縮抑制効果を高めるか?  
平成 19 年度 平成 20 年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書, 2008

小林邦彦, 長谷和徳, 河上敬介, 宮津真寿美  
世界初徒手筋力検査学習用の患者シミュレーションロボットの開発  
平成 19 年度 平成 20 年度科学研究費補助金 (萌芽研究) 研究成果報告書, 2008

〔学会発表〕

太田 進, 上田 誠, 相本啓太, 鈴木康雄, 木村宏樹, 元田英一  
歩行時における足関節背屈制限が膝関節に及ぼす影響について (抄録集 pp 30-32, 2008)  
臨床歩行分析研究会, 2008.2 (札幌)

鳥橋茂子, 倉橋正明  
消化管平滑筋の発生に関わる BMP シグナル (抄録集 p 120)  
113 回日本解剖学会総会, 2008.3 (大分)

水野陽太, 鈴木麻友, 八木 保, 蜷川菜々, 鳥橋茂子  
マウス ES 細胞の骨格筋細胞への分化 (抄録集 p 152)  
7 回日本再生医療学会, 2008.3 (名古屋)

上坂 建太, 山田純生, 河野裕治, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄  
軽症脳梗塞患者の回復期の再発危険因子は脳卒中再発予防ガイドライン数値に達していない (抄録集 30 (2):p 352)  
第 33 回日本脳卒中学会, 2008.3 (京都)

河野裕治, 山田純生, 坂 建太, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄  
軽症脳梗塞患者の疾病管理はライフスタイルと関連する (抄録集 30 (2):p 352)  
第 33 回日本脳卒中学会, 2008.3 (京都)

石田章真, 飛田秀樹, 高松泰行, 石田和人  
片側前肢使用制限による運動機能および中枢神経組織への影響  
第 85 回日本生理学会大会, 2008.3 (東京)

高松泰行, 石田章真, 吉田達志, 濱川みちる, 飛田秀樹, 石田和人  
脳出血モデルにおける急性期の脳組織学的変化 —dark neuron に着目して—  
第 13 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2008.5 (福岡)

蜷川菜々, 八木 保, 鈴木麻友, 水野陽太, 鈴木重行, 鳥橋茂子  
Es 細胞を用いた間葉系幹細胞の形成と脂肪・骨細胞への分化誘導 (抄録集 p 37)  
第 43 回日本理学療法士学術大会, 2008.5 (福岡)

水野陽太, 鈴木麻友, 蜷川菜々, 八木 保, 鈴木重行, 鳥橋茂子  
Es 細胞は継代の回数により骨格筋細胞への分化傾向が異なる (抄録集 p 36)  
第 43 回日本理学療法士学術大会, 2008.5 (福岡)

坂野裕洋, 沖田 実, 井上貴行, 鈴木重行, 小林由衣, 高浪美香, 林 綾子, 吉田奈央  
プレコンディショニングとしての温熱負荷がキギブス固定後のラットヒラメ筋の筋線維損傷におよぼす影響 (抄録集  
p 539)  
第 43 回日本理学療法士学術大会, 2008.5 (福岡)

坂本 圭, 金子雄紀, 石田和人, 鈴木重行  
高脂肪食とストレプトゾトシン投与を併用した 2 型糖尿病モデルの作製 (抄録集 p 144)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

岩田金広, 早川公英, 村上太郎, 鈴木重行

培養骨格筋細胞の糖の取込み促進における IGF-1 刺激と伸張刺激の併用効果 (抄録集 p144)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

**TORIHASHI Shigeko**, HATTORI Takako, HASEGAW Hirotaka, OGAERI Tkuori, KURAHASHI Massaki

Expression pattern of BMP signaling in the mouse embryonic gut and their roles in the smooth muscle differentiation. (抄録集 p172)

第 41 回日本発生生物学会, 2008.5 (徳島)

井上貴行, 萩原竜佑, 鈴木重行

ギプス固定除去後のラットヒラメ筋における heat shock protein72・25 の発現と伸張運動の影響 (抄録集 p138)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

樋口大輔, 内山 靖

頸髄症における術後早期の機能障害の回復と術後 1ヶ月の機能的制限の改善との関係

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

栗原慶太, 内山 靖

1 回のバランス練習での短期介入効果

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

橋立博幸, 内山 靖

歩行の予備能は高齢者の転倒と密接な関係がある

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

清水美帆, 山田純生, 上坂建太, 河野裕治, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄

脳梗塞患者の減塩行動関連要因を評価する質問紙開発 (学会誌 43 (1):p41)

日本循環器病予防学会, 2008.5 (秋田)

山田純生, PTMaTCH 研究グループ

高齢慢性心不全の運動と生活機能: リハビリテーションコホート研究 (抄録集 35)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

神谷訓康, 山田純生, 清水優子, 小林聖典, 清水美帆, 中島将宏, 鈴木 誠, 上坂建太, 河野裕治, 作井大介

質問紙表を用いた評価では抑うつが交絡要因となる (抄録集 35 (Suppl.2):p637)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

中島将宏, 山田純生, 清水優子, 上坂建太, 河野裕治, 神谷訓康, 小林聖典, 清水美帆, 作井大介

地域在住高齢者における骨盤傾斜角は歩行能力の規定因子に影響する (抄録集 35:)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

小林聖典, 山田純生, 清水優子, 神谷訓康, 清水美帆, 中島将宏, 上坂建太, 河野裕治, 作井大介

低体力者における症状と下腿周囲径は関連している (抄録集 35 (Suppl.2):p645)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

田中裕子, 山田純生, 中島将宏, 神谷訓康, 小林聖典, 河野裕治, 作井大介, 上坂建太, 清水優子

効率的な脂肪燃焼を目的とした温熱刺激と運動の併用効果に関する研究 (抄録集 35 (Suppl.2):p538)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

石田章真, 石田和人, 磯部芳明, 古山富士弥, 飛田秀樹

一側前肢の使用制限が中枢神経組織および神経新生に及ぼす影響 (Restraint effect of unilateral forelimb on histological changes and neurogenesis in central nervous system in rats).

第 31 回日本神経科学会, 2008.7 (東京)

渡邊裕介, 石田章真, 高松泰行, 吉田達志, 濱川みちる, 石田和人

脳出血モデルラットに対する早期トレッドミル運動の効果 運動時期による効果の違い

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

石田和人, ARFAJ A, YATES C, GARRISON K, SKINNER RD, GARCIA-RILL E

脊髄損傷モデルラットにおける自転車式他動運動の後肢過反射抑制効果.

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

太箸俊宏, 大西圭一, 菅原 仁, 磯貝 香, 長谷和徳, 小林邦彦, 河上敬介

徒手筋力検査実施時における理学療法士と学生の抵抗の加え方特性の比較 (理学療法学 2008 年 35 (2):p 702)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

酒瀬川恵美, 小林由美, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

除神経筋に対する伸張刺激はアポトーシスを抑制しない (理学療法学 2008 年 35 (2):p 799)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

小林由美, 酒瀬川恵美, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

筋萎縮モデルの種類と筋核のアポトーシス発生頻度の関係 (理学療法学 2008 年 35 (2):p 772)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

西出圭吾, 辻 一真, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 村上太郎, 河上敬介

周期的伸張刺激による筋萎縮抑制効果は摂食タイミングで変わる (理学療法学 2008 年 35 (2):p 698)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

竹中裕人, 岡元信弥, 伊東佑太, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

ウェイトトレーニングモデルラットの作製と筋肥大効果の検証 (理学療法学 2008 年 35 (2):p 258)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

笹井宣昌, 縣 信秀, 宮津真寿美, 早川公英, 河上敬介

自己・傍分泌を介さない伸張刺激による培養骨格筋細胞の肥大 (理学療法学 2008 年 35 (2):p 255)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

周期的伸張刺激で除神経筋に発生する特異筋線維の特徴 (理学療法学 2008 年 35 (2):p 697)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

川島隆史, 縣 信秀, 宮津真寿美, 山本創太, 河上敬介

除神経ラットに対する他動的足関節背屈トルクとヒラメ筋萎縮抑制効果の関係 (理学療法学 2008 年 35 (2):p 355)

第 43 回日本理学療法学会大会, 2008.5 (福岡)

石田章真, 飛田秀樹, 高松泰行, 石田和人

一側前肢の使用制限が中枢神経組織および神経新生に及ぼす影響.

第 13 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2008.5 (福岡)

石田和人

刺激入力の継続と脳機能再生に関する動物モデルによる研究.

第 13 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2008.5 (福岡)

牧野恵理子, 渡井陽子, 林 久恵, 熊田佳孝, 古橋究一, 鳥山高伸, 川原弘久

当院における大腿—膝窩動脈バイパス術後の在院日数と離床経過

第 53 回日本透析医学会, 2008.6 (神戸)

坂本圭, 金子雄紀, 石田和人, 鈴木重行

ストレッチ前の等尺性収縮が筋・筋膜に与える効果 —健常者を対象にして— (抄録集 p3)

第 4 回ペインリリース研究会学術集会, 2008.6 (名古屋)

松尾真吾, 鈴木重行

再荷重によって起こる筋線維損傷に対するプレコンディショニングとしての温熱負荷の効果 後肢ギプス固定モデルラットを用いての検討 (抄録集 p2)

第 4 回日本ペインリリース研究会学術集会, 2008.6 (名古屋)

SATONAKA Ayako, SUZUKI Nobuharu, **KAWAMURA Morio**

Physical fitness and motivation based Classification of physical activities in challenged people.

7th World Congress on Aging and Physical Activity, 2008.7 (Tukuba, Japan)

SHIMIZU Yuko, **YAMADA Sumio**, SUZUKI Makoto, KAMIYA K, KOBAYASHI K, SHIMIZU Miho, NAKASHIMA Masahiro, KAMISAKA Kenta, KOUNO Yuji, SAKUI Daisuke

Development of a simple measure based on limitation in activities of daily living to assess physical fitness for the elderly (16 (Suppl):ppS157-S158)

The 7th World Congress on Aging and Physical Activity, 2008.7 (Tsukuba)

飯田有輝, 山田純生, 伊藤武久, 上田有紀, 志水貴之, 西田 修

冠動脈バイパス術後における肺拡散脳に関連因子に関する検討

第 14 回日本心臓リハビリテーション学会, 2008.7 (大阪)

松岡立哉, 伊藤悦子, 松岡昭仁, 祖父江俊和, 山田純生, 加藤倫也

慢性心不全フォロー中に急性心筋梗塞 (AMI) を併発した症例を経験して学んだこと

第 14 回日本心臓リハビリテーション学会, 2008.7 (大阪)

伊藤悦子, 松岡昭仁, 松岡立哉, 祖父江俊和, 清水優子, 山田純生, 加藤倫也

回復期心臓リハビリテーションに対する抑うつの影響

第 14 回日本心臓リハビリテーション学会, 2008.7 (大阪)

山田純生・PTMaTCH 研究グループ

慢性心不全の生活機能と運動: リハビリテーションコホート研究

第 14 回日本心臓リハビリテーション学会, 2008.7 (大阪)

山田純生, 鈴木 誠, 清水優子, 河野裕治, 大宮一人, 平敷安希博, 井澤英夫, 室原豊明

慢性心不全患者における生活機能尺度の開発

第 14 回日本心臓リハビリテーション学会, 2008.7 (大阪)



清水優子, 山田純生, 鈴木 誠, 神谷訓康, 小林聖典, 三好都子, 河野裕治, 上坂 建太, 井澤英夫, 祖父江俊和, 加藤林也, 室原豊明

慢性心不全患者における日常生活能力尺度簡易版の作成と妥当性の検討  
第 14 回日本心臓リハビリテーション学会, 2008.7 (大阪)

石田章真, 石田和人, 磯部芳明, 古山富士弥, 飛田秀樹  
ラットにおける前肢使用制限が運動機能および海馬の神経新生に及ぼす影響.  
第 55 回中部生理学会, 2008.7 (長久手)

SATONAKA Ayako, SUZUKI Nobuharu, **KAWAMURA Morio**  
Skewness of frequency distribution of continuous heart rates and maximal oxygen uptake in people with cerebral palsy.

The 10th ACPT, 2008.8 (Makuhari, Japan)

梶 大介, 長谷和徳, 太田 進  
ポールウォーキングの効果の運動機能学的検討  
第 62 回日本人類学会大会, 2008.8 (名古屋)

KUMADA Yoshitaka, **HAYASHI Hisae**  
Clinical application of artificial  $\text{CO}_2$ -hotspring bath.  
18th International Congress of Biometeorology, 2008.9 (Tokyo)

岩田全広, 井上貴行, 鈴木重行  
伸張刺激による糖の取込み促進は IGF-1 刺激とは異なる機序を介して引き起こされる (抄録集 p955)  
第 63 回日本体力医学会大会, 2008.9 (大分)

大野善隆, 山田純生, 後藤勝正, 杉浦崇夫, 大平充宣, 吉岡利忠  
温熱ストレスによる骨格筋の肥大—成熟期マウスを用いた検討—  
第 63 回日本体力医学会大会, 2008.9 (大分)

田中裕子 山田純生, 中島将宏, 神谷訓康, 小林聖典  
効率的な脂肪燃焼を目的とした温熱刺激と運動の併用効果に関する研究 (57 (6):p 773)  
第 63 回日本体力医学会大会, 2008.9 (大分)

川村皓生, 加藤智香子  
地域在住女性高齢者の健康関連 QOL に関連する因子の検討 (第 24 回東海北陸理学療法学会誌: 66, 2008:p 1)  
第 24 回東海北陸理学療法学会, 2008.10 (金沢)

内藤善規, 加藤智香子  
地域在住高齢者の骨密度に関連する要因の検討 (第 24 回東海北陸理学療法学会誌: 92, 2008:p 1)  
第 24 回東海北陸理学療法学会, 2008.10 (金沢)

加藤智香子, 猪田邦雄, 長屋政博, 徳田治彦, 奥泉宏康, 原田 敦  
ヒッププロテクター使用による介護施設女性高齢者の転倒恐怖, Quality of Life (QOL) の変化 (抄録集 pp 79, 2008:p 1)  
第 5 回転倒予防医学研究会研究集会, 2008.10 (東京)

里中綾子, 鈴木伸治, 河村守雄  
 $\text{VO}_2\text{max}$  を予測する心拍数  $\text{beats} \cdot \text{min}^{-1}$  における運動負荷量  
第 24 回東海北陸理学療法学会, 2008.10 (金沢)



松尾真吾, 下和 弘, 岩田全広, 城 由起子, 松原貴子, 鈴木重行  
頰痛に対する超音波画像診断の試み (抄録集 p13)  
第 12 回痛みを基礎から臨床まで考える会学術集会, 2008.10 (大阪)

蜷川菜々, 八木 保, 鳥橋茂子  
マウス ES 細胞を用いた間葉系幹細胞の形成と収集 (抄録集 p19p1)  
第 68 回日本解剖学会中部地方会, 2008.10 (名古屋)

小林聖典, 山田純生, 河野裕治, 神谷訓康, 新渡戸沙都, 田中裕子, 清水美帆, 中島將宏, 清水優子  
地域在住高齢者では起立性低血圧に下腿周囲径が関連する (38 (5):)  
第 38 回 日本臨床生理学会, 2008.10 (東京)

太田大樹, 妹尾詩織, 水村和枝, 鈴木重行.  
遅発性筋痛における COX-1 および EP 受容体の関与について (日本生理学雑誌第 71 巻 5 号 2009 p201)  
第 55 回中部日本生理学会, 2008.10 (名古屋)

URAKAWA S, NISHIJO H, **ISHIDA Kazuto**, NISHINO H  
Environmental enrichment enhances the neurogenesis following brain lesions in rats  
10<sup>th</sup> International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy (ACPT), 2008.10 (Makuhari, Chiba)

ISHIDA Akimasa, **ISHIDA Kazuto**, HIDA Hideki  
Effects of forced-disuse by constraint-induced movement therapy on the normal function: minor damages in the hippocampus with decreases of VEGF and GDNF  
Society for Neuroscience 38rd annual meeting (Neuroscience 2008), 2008.11 (Washington, DC)

GARRISON MK, YATE C, **ISHIDA Kazuto**, YUEN B, SKINNER RD, GARCIA-RILL E  
Passive exercise alters stretch reflex properties in rats with spinal cord transection  
Society for Neuroscience 38rd annual meeting (Neuroscience 2008), 2008.11 (Washington, DC)

**HAYASHI Hisae**, KUMADAYoshitaka, FURUHASHI Kyuichi, TAKAHASHI Hiroshi, TORIYAMA Takanobu, ISHII Hideki, **YAMADA Sumio**, MUROHARA Toyoaki.  
Immersing feet in  $CO_2$ -rich water-bath improves ulcer healing on ischemic limb after infrainguinal bypass surgery. (Circulation, 118S, pp 1053, 2008)  
AHA scientific session 2008, 2008.11 (New Orleans, USA)

山本 実, 内藤幸子, 佐藤仁俊, 内藤幸子, 太田 進  
大腿骨頸部骨折保存療法症例の理学療法の経験  
愛知県理学療法士学会, 2008.11 (名古屋)

牧野恵理子, 渡井陽子, 鷺見理香, 伊藤沙夜香, 石川貴子, 林 歩洋, 河野健一, 石井達也, 中島真治, 市江浩明, 川口洋子, 河原智美, 林 久恵, 熊田佳孝, 古橋究一, 鳥山高伸  
閉塞性動脈硬化症における人工炭酸泉片側足浴時の皮膚微循環動態の変化  
人工炭酸泉研究会, 2008.12 (東京)

林 久恵, 山田純生, 熊田佳孝, 松尾 汎, 古橋究一, 中島晴伸, 鷺見理香, 伊藤沙夜香, 渡井陽子, 牧野恵理子, 鳥山高伸, 川原弘久  
下肢動脈外科の血行再建術後の虚血性潰瘍増悪・新規形成予防に対する人工炭酸泉足浴の効果  
人工炭酸泉研究会, 2008.12 (東京)

〔公開講座・講演会〕

林 久恵

糖尿病・透析患者が抱える足の問題と理学療法  
ジーン, 2008.7 (名古屋)

林 久恵

温熱療法の現状  
愛知県科学技術交流財団, 2008.11 (名古屋)

林 久恵

高齢者が抱える足の問題とその対策  
転ばん大幸教室, 2008.3 (名古屋)

林 久恵

透析患者が抱える足の問題とその対策  
徳島透析フットケア研究会, 2008.2 (徳島)

石田和人

認知症の治療②: 脳のトレーニング.  
NHK 文化センター名古屋大学提携: 支えるご家族のための認知症講座— 認知症と向き合って生きる, 2008.7 (名古屋)

石田和人

理学療法への挑戦, そして広がる夢 神経系・基礎系 .  
第 12 回福井県理学療法士学会, 2008.3 (福井)

加藤智香子

骨粗鬆症について  
平成 19 年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」再会教室, 2008.9 (名古屋)

加藤智香子, 猪田邦雄

転倒予防について  
平成 20 年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」, 2008.8 (名古屋)

河上敬介

運動器を三次元で捉えるための解剖観察  
第 45 回社団法人大分県理学療法士協会研修会, 2008.2 (大分)

河村守雄

運動療法とリハビリテーション  
日本医師会健康スポーツ医研修会 (4), 2008.9 (名古屋)

河村守雄

運動プログラムの管理 (腰痛症合併の場合)  
(財)健康・体力づくり事業財団講演, 2008.2 (日進市)

太田 進

整形外科疾患のリハビリテーション — 臨床のヒント —

エナジー研究会，2008.12 (豊橋)

太田 進

膝・肩関節のリハビリテーション —臨床のヒント—  
名古屋理学療法研究会，2008.11 (名古屋)

山田純生

Care prevention and health promotion for mild stroke  
Focus symposium on health promotion in the asia-pacific region.6th Panpacific conference on rehabilitation，2008.10  
(香港)

山田純生

いつも運動しよう  
第45回日本臨床生理学会市民公開講座，2008.11 (東京)

山田純生

慢性心不全に対する運動介入は病態進行のカウンターメジャーとなるか  
上飯田リハビリテーション研究会，2008.2 (名古屋)

山田純生

慢性心不全に対する運動介入  
北海道心臓リハビリテーション研究会，2008.3 (札幌)

山田純生

慢性心不全に対する運動介入  
日本理学療法士協会内部障害専門領域研究会循環器基礎講習会，2008.6 (神戸)

山田純生

心臓の病気とリハビリテーション  
東名古屋病院「健康と病気に関する講演会」，2008.6 (名古屋)

山田純生

運動中の主観的疲労度をどう読むか  
日本理学療法士協会内部障害専門領域研究会循環器基礎講習会，2008.6 (名古屋)

山田純生

慢性心不全-予後予測因子からリハ介入のゴールと課題を考える  
東海心臓リハビリテーション研究会，2008.7 (名古屋)

山田純生

血管からみる加齢と健康  
ライフトピア講演会，2008.8 (名古屋)

山田純生

予後因子から慢性心不全の心リハ医療のゴールを考える  
兵庫心臓リハビリテーション研究会，2008.9 (神戸)

山田純生

軽症脳梗塞の再発予防-リハビリテーションからライフスタイル介入へ

愛知県厚生連，2008.9 (名古屋)



作業療法学専攻



## 5 作業療法学専攻

〔著書〕

ITO Emi, NAGAHARA Naoko, KANARI Ayano, IWAHARA Akihiko, HATTA Taketoshi

The verbal fluency tasks in the Japanese population

『Contemporary issue of brain , communication and education in psychology: The science of mind 』 (YOSHIZAKI Kazuhito, OHNISHI Hisao) Union Press , 2008. pp123-144

辛島千恵子

発達障害をもつ子どもと成人家族のための ADL(単著)

『発達障害をもつ子どもと成人家族のための ADL』 三輪書店, 2008. 1 冊

辛島千恵子, 黒澤淳二, 小松則登, 高島紀美子, 渡辺 誠, 他

最重度知的障害をもつ成人の CADL 支援-生活のなかで育む非言語的表示-

『発達障害をもつ子どもと成人家族のための ADL-実践編-』 (辛島千恵子) 三輪書店, 2008. pp226-231

辛島千恵子, 黒澤淳二, 小松則登, 高島紀美子, 渡辺 誠, 他

福祉施設における個別支援計画と ADL 支援

『発達障害をもつ子どもと成人家族のための ADL-実践編-』 (辛島千恵子) 三輪書店, 2008. pp234-239

辛島千恵子, 黒澤淳二, 小松則登, 高島紀美子, 渡辺 誠, 他

分娩麻痺をもつ子どもの 0 歳からの支援

『発達障害をもつ子どもと成人家族のための ADL-実践編-』 (辛島千恵子) 三輪書店, 2008. pp250-253

辛島千恵子, 黒澤淳二, 小松則登, 高島紀美子, 渡辺 誠, 他

二分脊椎をもつ子どもの排泄トレーニングが地域生活を支える

『発達障害をもつ子どもと成人家族のための ADL-実践編-』 (辛島千恵子) 三輪書店, 2008. pp254-255

〔原著論文〕

NAKATA Hideki, TAMURA Yohei, SAKAMOTO Kiwako, AKATSUKA Kosuke, HIRAI Makoto, INUI Koji,

**HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

Evoked magnetic fields following noxious laser stimulation of the thigh in humans

NeuroImage 42: 858-868 , 2008

ALTMANN Christian, NAKATA Hideki, NOGUCHI Yasuyuki, INUI Koji, **HOSHIYAMA Minoru**, KANEOKI

Yoshiki, KAKIGI Ryusuke

Temporal dynamics of adaptation to natural sounds in the human auditory cortex

Cereb Cortex 18: 1350-1360 , 2008

SUYAMA Natsuka, **HOSHIYAMA Minoru** , **SHIMIZU Hideki**, SAITO Hirofumi

Event-related potentials for gender discrimination: an examination between differences in gender discrimination between males and females

Int J Neurosci 118: 1227-1237 , 2008

HASEGAWA Junko, **HOSHIYAMA Minoru**

Attention deficits of patients with chronic-stage traumatic brain injury: a behavioral study involving a dual visuo-spatial task

J Clin Neuropsychol 31: 292-301 , 2008



美和千尋, 水口初代, 久野裕子, 山内邦夫, 坂本 浩, 佐藤嘉晃, 森 明子  
愛知県新人教育プログラム受講者の意識調査  
20: 3-6, 2008

慶野宏臣, 慶野裕美, 川喜田健司, 美和千尋, 舟橋 厚  
広汎性発達障害のある子どもたちが乗馬活動をすることによる療育支援効果発現とその経過  
20: 74-81, 2008

美和千尋, 立松麻記子, 林 昌吾, 小西一馬, 河村留美香  
精神科急性期治療病棟入院患者において3ヶ月間で退院できなかった理由と対策  
27: 654-661, 2008

美和千尋, 清水英樹, 伊藤恵美, 竇珠山 稔  
基本移動動作時間を用いたスモン患者の転倒予測  
36: 873-876, 2008

ITO Hiroshi, SAITO Hirofumi, SHIRAISHI Tomoko, **SHIMIZU Hideki**, YAMAMOTO Yuji  
Brain responses to meaningless postures as measured by near-infrared spectroscopy  
Neuroreport 19: 1411-1415, 2008

〔総説・解説・その他〕

辛島千恵子  
実践学としての作業療法のエビデンス  
三輪書店 42: 1232-1237, 2008

辛島千恵子  
インテーク面接のコツ:発達障害  
三輪書店 42: 320-325, 2008

鈴木國文  
若年事例の親への支援  
精神科治療学 23: 1171-1172, 2008

鈴木國文  
統合失調症の素因, 前駆期, 発症 広汎性発達障害との比較  
精神科治療学 23: 191-212, 2008

中安信夫, 杉山登志郎, 本田秀夫, 加藤 敏, 鈴木國文  
アスペルガー症候群と統合失調症周辺群  
精神科治療学 23: 213-228, 2008

鈴木國文  
「うつ病」という診断と生活史 治療文化としての「神経症」, 「広汎性発達障害」  
精神科治療学 23: 673-678, 2008

鈴木國文  
「芸術療法」という言葉, 使い心地が悪くないか 精神を病むこと, 「芸術」そしてゴミ

日本系術療法学会誌 38: 59-68, 2008

鈴木國文

[うつ病]の外延 正常な憂うつ, 正常な疲労

臨床精神医学 37: 1163-1166, 2008

鈴木國文

広汎性発達障害概念が統合失調症の病理学にもたらしたもの—Infantia 概念を通して見る精神活動

臨床精神病理誌 29: 305-317, 2008

[ 科研費・班研究等 ]

美和千尋, 伊藤恵美, 清水英樹, 上村純一, 後藤真也, 寶珠山 稔

スモン患者の基本移動動作

平成 19 年度 厚生労働科学研究費補助金 ( 難治性疾患克服事業 ) スモンに関する調査研究班 総括・分担研究報告書  
79-83, 2008

[ その他の印刷物等 ]

鶴田和美, 杉村和美, 津田 均, 古橋忠晃, 田中伸明, 李 明喜, 加藤大樹, 鶴田静代, 神村静恵, 小川豊昭, 鈴木國文

名古屋大学における学修支援の現状と課題

名古屋大学学生相談総合センター紀要: 3-13, 2008

[ 学会発表 ]

**SUZUKI Kunifumi**

Agression et société L'agressivité dans la société japonaise d'aujourd'hui

international symposium of Maison d'adolescent, 2008.2 (Paris, France)

古池雅代, 福井絵理, 河合伸哉, 藤田聖純, 堀北友絵, 清水英樹

当院における入浴動作介入の特徴 (抄録集 p 1461:p 1)

全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 11 回 研究大会, 2008.2 (名古屋)

國廣亜未, 杉村実希, 清水英樹

歩行自立間際の患者様へのマーキングによる病棟スタッフ及び理学療法士の意識変化—歩行補助具に若葉マークを付ける  
試み—(抄録集 p 1751:p 1)

全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 12 回 研究大会, 2008.2 (名古屋)

岩原昭彦, 永原直子, 伊藤恵美, 八田武俊, 八田武志

中高齢者の高次脳機能と生活習慣 情報通信機器の使用状況が高次脳機能に与える影響 (学会抄録集 p 1141)

第 72 回日本心理学会, 2008.3 (札幌)

大山香織, 美和千尋

老人保健施設通所リハビリ者を対象とした人形劇と紙芝居の反応の違い (抄録集 p 17)

第 16 回愛知県作業療法学会, 2008.4 (名古屋)

鈴村恵理, 出口 晃, 浜口 均, 川村陽一, 田中紀行, 中村 覚, 川村直人, 杉村公也, 川村憲市, 美和千尋

医学的治療に加え温泉環境が肥満治療に著効した一例 (症例報告) (抄録集 p 50)

第 73 回日本温泉気候物理医学会, 2008.5 (宮城県大崎市)

美和千尋，島崎博也，田中紀行，出口 晃，川村陽一，杉村公也，川村憲市  
足浴が認知症患者の酸素摂取量と認知機能に及ぼす影響 (抄録集 p46)  
第 73 回日本温泉気候物理医学会，2008.5 (宮城県大崎市)

辛島千恵子，中野やよい  
視覚障害をもつ脳性麻痺者の社会生活を考える (学会誌 0129，2008)  
第 42 回日本作業療法学会，2008.6 (長崎)

船橋吉美，辛島千恵子  
通常学級における座位援助の効果 (学会誌 0121，2008)  
第 42 回日本作業療法学会，2008.6 (長崎)

小西一馬，森 和輝，美和千尋，林 昌吾，立松麻記子  
精神科病院における就労支援プログラム参加者の職業興味 (学会誌 p102)  
第 42 回日本作業療法学会，2008.6 (長崎市)

立松麻記子，田中祐子，神保早希，大森志穂，美和千尋  
精神科病院における生活改善プログラム実施 (学会誌 p99)  
第 42 回日本作業療法学会，2008.6 (長崎市)

美和千尋，稲垣 毅，森 明子，堀木留美子  
名古屋大学卒業生における動向と学校の役割 (学会誌 p88)  
第 42 回日本作業療法学会，2008.6 (長崎市)

岩原昭彦，永原直子，伊藤恵美，八田武志  
中高年齢者の認知機能の低下防止に関する研究—自己効力感と前頭葉機能との関連について— (学会抄録集 p619)  
第 50 回教育心理学会，2008.9 (小金井)

金成綾乃，八田武志，伊藤恵美  
言語流暢性検査における脳活動について—使用方略の違いによる検討— (学会抄録集 p646)  
第 72 回日本心理学会，2008.9 (札幌)

八田武俊，八田武志，岩原昭彦，永原直子，伊藤恵美，八田純子  
中高年女性の化粧行動と高次脳機能 (学会抄録集 p137)  
第 72 回日本心理学会，2008.9 (札幌)

鈴木國文  
精神医学における近代 (la modernité) と神経症概念  
日本精神医学史学会，2008.10 (長久手)

鈴木國文  
フランス精神医学の中の精神分析 受容と変容  
日本精神病理・精神療法学会，2008.10 (東京)

喜畑京士，美和千尋  
2 週間の作業課題継続が身体および主観的变化に及ぼす影響 (学会誌 p116)  
第 8 回東海北陸作業療法学会，2008.11 (岐阜市)

林 昌吾，立松麻記子，小西一馬，神保早希，美和千尋  
精神科早期作業療法の効果—統合失調症患者に ISDA と SMSF の評価尺度から考える—(学会誌 p102)  
第 8 回東海北陸作業療法学会，2008.11 (岐阜市)

表奈津樹，森 和輝，小西一馬，美和千尋  
精神科病院におけるパワーリハビリテーションの実践(学会誌 p101)  
第 8 回東海北陸作業療法学会，2008.11 (岐阜市)

出岡三季，毛利和美，小林大史，小黑敬之，稲垣美帆，美和千尋  
患者との協業を重視したアルコール依存症患者の一例(学会誌 p80)  
第 8 回東海北陸作業療法学会，2008.11 (岐阜市)

美和千尋，伊藤恵美，清水英樹，竇珠山 稔  
スモン患者の転倒危険因子と転倒対策について—転倒チェックリストを用いて—(学会誌 p74)  
第 8 回東海北陸作業療法学会，2008.11 (岐阜市)

〔公開講座・講演会〕

辛島千恵子  
発達が目がかりな子どもと家族のための日常生活活動  
NPO 法人子育て支援センター，2008.11 (名古屋)

辛島千恵子  
発達障害をもつ子どもの ADL  
岡山県作業療法士会，2008.2 (岡山)

辛島千恵子  
発達障害をもつ子どもの ADL  
岡山県作業療法士会，2008.7 (岡山)

辛島千恵子  
学校生活に不適應をきたす子どもへの対応  
名古屋市子ども適應相談センター，2008.8 (名古屋)

辛島千恵子  
特別支援教育と作業療法  
名古屋市特別支援教育研究会，2008.8 (名古屋)



## 編集後記

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第12巻を発刊しました。ご協力を頂きました皆様には感謝を申し上げます。平成20年度（2008年度）の各専攻の教育・研究活動の報告と保健学科の公開講座、2008年（1月から12月）の各教員の教育・研究業績を掲載しました。

第1巻から第12巻までの研究・業績は以下の通りです。

	第1巻	第2巻	第3巻	第4巻	第5巻	第6巻	第7巻	第8巻	第9巻	第10巻	第11巻	第12巻
	(1997年)	(1998年)	(1999年)	(2000年)	(2001年)	(2002年)	(2003年)	(2004年)	(2005年)	(2006年)	(2007年)	(2008年)
著書	17	39	55	56	38	33	74	70	90	100	107	83
原著論文	58	123	141	163	137	175	138	156	153	219	157	143
総説・解説・その他	64	61	92	106	58	76	81	39	98	100	86	102
科研費・班研究	6	12	10	26	23	19	28	27	30	34	31	25
その他印刷物等	10	14	26	18	13	9	20	20	11	18	14	17
学会発表	115	173	252	268	246	287	341	376	380	380	418	446
公開講座・講演会	45	73	96	102	70	72	86	99	85	78	102	90
計	315	495	672	739	585	671	768	787	847	929	915	906

全体を眺めてみますと、多少の増減はあるものの、多くの項目が右肩上がり増加傾向を示しております。先輩方の並々ならぬ努力の成果と思われれます。地道な努力だとは思いますが、今後是非この傾向を継続し、保健学科の発展に繋がっていけばよいと考えます。

本年報が保健学科の皆様の自己評価の一つの指標となり、教育・研究のさらなる発展に寄与していくことを希望します。

本年報の編集作業にご尽力を頂いた保健学科情報掛の皆様には厚く御礼を申し上げます。

平成22年3月  
年報編集委員長 加藤克彦

### 年報編集委員

看護学専攻	會田信子
検査技術学専攻	高木健三
理学療法学専攻	加藤智香子
作業療法学専攻	浅野京子
放射線技術学専攻	加藤克彦

---

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第12巻

2010年 月 日 発行

発 行 名古屋大学医学部保健学科

〒461 8673 名古屋市東区大幸南一丁目 1 番20号

TEL(052)719 1504

印 刷 (株)荒川印刷

〒460 0012 名古屋市中区千代田二丁目16番38号

TEL(052)262 1006 (代表)

---